設定を始める前に
ファクス機能
スキャン機能
プリント機能
認証、集計機能

ApeosPort-V
DocuCentre-V



設定がわかる本

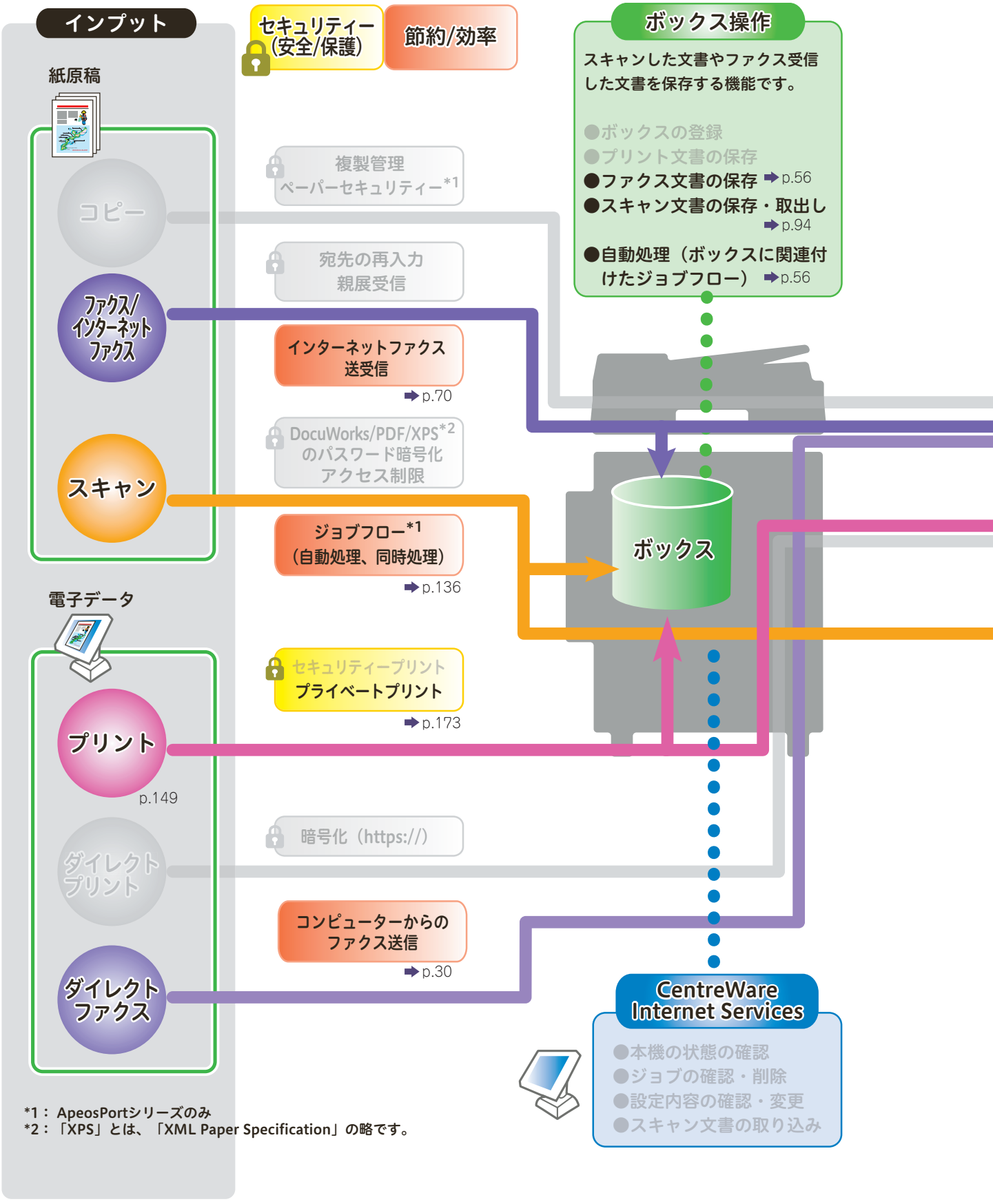
設定から基本的な操作までを、
一連の流れで説明している本です。

やりたいことから探して設定方法がわかります。

FUJI Xerox

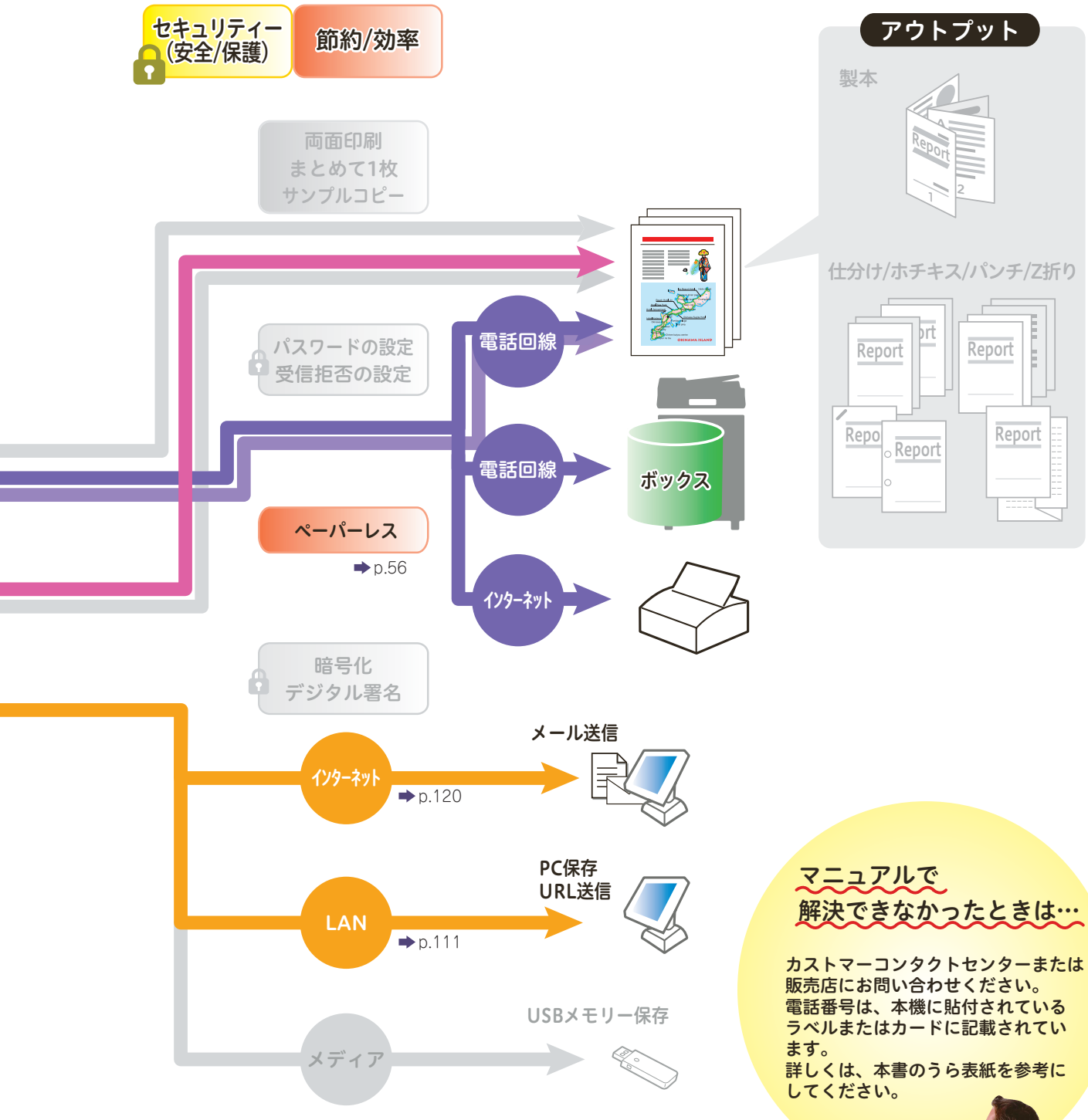
こんな機能の設定方法を説明します

ApeosPort-V、DocuCentre-V は、オフィス内のドキュメント出力や活用を、安全で効果的に実現するために、さまざまな機能を用意しています。
本書では、問い合わせが多い機能について、ApeosPort-V、DocuCentre-V とコンピューターで必要となる設定手順を説明します。ページ番号が付いている機能は、本書で説明している機能です。



*1：ApeosPortシリーズのみ
*2：「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。

機種によっては、オプションが必要な機能があります。オプションについては、弊社の営業担当者にお尋ねください。



認証、集計管理

- 本体認証
- 枚数制限、利用制限
- 集計管理レポートの出力

➡p.190

ジョブフロー*1

デバイス設定ツールなどで複数の処理を組み合わせ、自動に実行する機能です。

- スキャンした文書の転送

➡p.136

マニュアルで解決できなかったときは…

カストマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。
電話番号は、本機に貼付されているラベルまたはカードに記載されています。
詳しくは、本書のうら表紙を参考にしてください。



もくじ

もくじ 4
はじめに 7
マニュアル体系 8
本書の使い方 11
本書の表記 12

設定を始める前に 15

設定を始める前に 16
本機の情報 16
コンピューターの情報 20
本機を設定するときに必要な情報 28

ファクス機能 29

Windows からファクス送信する（ダイレクトファクス） 30
ダイレクトファクスを使えるように設定する 30
ファクス送信用の標準ドライバーをインストールする 32
コンピューターからファクス送信する 36
コンピューターでファクス送信できたか確認する 37
Mac OS X からファクス送信する（ダイレクトファクス） 40
ダイレクトファクスを使えるように設定する 40
ファクス送信用の標準ドライバーをインストールする 42
ファクスを追加する 46
コンピューターからファクス送信する 50
コンピューターでファクス送信できたか確認する 53
ファクス受信した文書を、ジョブフローを使って
コンピューターに振り分ける（ペーパーレスファクス受信） 56
ジョブフローを登録する 57
ボックスを登録し、ジョブフローと関連付ける 63
ボックスを電話回線で振り分け設定する 65
受信レポートをプリントしないように設定する 68
コンピューターでファクス受信できたか確認する 69
インターネットでファクス送受信する
（インターネットファクスダイレクト） 70
本機を設定する 71
インターネットファクスダイレクトでファクス送信する 79
ファクス送信できたか確認する 81
本機の宛先表を取り込み、ダイレクトファクスで利用する 83
本機に登録されている宛先表を取り出す 83
ファクス宛先表ツールの宛先表に保存する 84
宛先表を参照してダイレクトファクスを送信する 87
コンピューターでファクス送信できたか確認する 90

スキャン機能 93

スキャンした文書をボックスに保存し、コンピューターから取り出す（ボックス保存）..... 94

ボックスを登録する 95
必要なアプリケーションソフトウエアをインストールする 96
文書をスキャンして、ボックスに保存する 106
スキャンした文書が保存されたか確認する 108
スキャンした文書をコンピューターで取り込む 109
取り込んだスキャン文書をコンピューターで確認する 110

スキャンした文書をコンピューターに転送する（PC 保存）..... 111

コンピューターの保存先を、本機の宛先表に登録する 112
文書をスキャンして、コンピューターに保存する 117
スキャンした文書がコンピューターに送られたか確認する 118
保存した文書をコンピューターで確認する 119

スキャンした文書をメールに添付して送信する（メール送信）..... 120

本機を設定する 120
本機の宛先表にメールアドレスを登録する 129
スキャンした文書をメール送信する 131
メールが送信されたかを確認する 134
受信した文書をコンピューターで確認する 135

スキャンした文書を処理するとき、メール送信と PC 保存を同時に実行する（ジョブフロー）..... 136

Device Setup（デバイス設定ツール）をインストールする 137
Device Setup（デバイス設定ツール）に本機を登録する 141
ジョブフローを作成して本機に登録する 142
ジョブフローを使う 147
共有フォルダーに保存できたか確認する 148

プリント機能 149

Windows からプリントする 150

プリント用の標準ドライバーをダウンロードする 151
プリント用の標準ドライバーをインストールする 154
カスタムセットアップでプリンターをインストールする 160
コンピューターからプリントを指示する 161

Mac OS X からプリントする 163

プリント用の標準ドライバーをインストールする 163
プリンターを追加する 167
コンピューターからプリントを指示する 171

プライベートプリントでプリントする（プライベートプリント）..... 173

本機の認証を「本体認証」に設定する 173
パスワードを運用する 175
本機にユーザーを登録する 176
本機でプライベートプリントを設定する 178
［プライベートプリント］ボタンを表示するように設定する 180
コンピューターを設定する 182
コンピューターからプリントを指示する 184
本機からプリントする 185

認証、集計機能 189

ユーザーごとに枚数管理、機能利用制限を設定する
（集計管理 / ユーザー登録 / 利用制限の設定） 190

本体認証を設定する 192
パスワードを運用する 193
集計管理を設定する 194
ユーザーを登録し、機能の利用制限を設定する 195
ユーザー別集計管理レポートを出力する 201
ユーザー別集計カウンターをリセットする 203

さくいん 207

はじめに

このたびは ApeosPort-V、DocuCentre-V（以降、本機と呼びます）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、問い合わせの多い設定の操作について、設定手順から基本的な操作手順までを一連の流れとして説明しています。本機の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、ご活用ください。

なお、本書は、本機を管理するかたを対象に、お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピューター、オペレーティングシステム、ネットワークシステムなどに付属の説明書をお読みください。

本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。

富士ゼロックス株式会社

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Internet Explorer は、
米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Adobe、PostScript 3 は、
Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Macintosh、Mac OS、Safari は、Apple Inc. の商標です。
RSA および BSAFE は、EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
その他の製品名、会社名は、各社の登録商標または商標です。
Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
ライセンスについては、『ユーザーズガイド』の「ライセンスについて」に記載しています。

ご注意
① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。
万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

XEROX、そのロゴと " コネクティング・シンボル " のマーク、および CentreWare は、
米国ゼロックス社または富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。
DocuWorks は、富士ゼロックス株式会社の商標です。

マニュアル体系

本機では、次のマニュアルを用意しています。

本機同梱マニュアル

■ はじめにお読みください



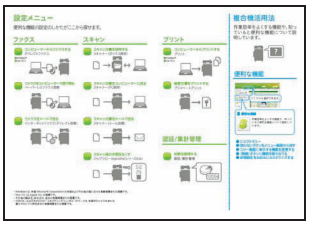
安全にお使いいただくための注意事項や、操作中に気をつけていただきたい注意制限事項などについて説明しています。本機の設置後、必ずはじめにお読みください。

■ 使い方がわかる本



本機での主な機能や、操作方法、トラブルの対処方法、問い合わせの多い項目などについて説明しています。本書だけで、コピー、プリント、ファクス、スキャンの基本的な操作ができます。

■ 設定がわかる本を活用しよう



『設定がわかる本』の便利な機能の設定のしかたを探せます。

■ 設定がわかる本（マニュアル CD-ROM） ＜本書＞



ファクス、スキャン、プリント、認証など、本機やコンピューターで事前に設定が必要な項目について説明しています。『設定がわかる本を活用しよう』の設定メニューを見ると、設定したい項目を簡単に見つけることができます。

■ マニュアル CD-ROM（ユーザーズガイド、管理者ガイド、その他）



マニュアル CD-ROM には、『設定がわかる本』のほか、『ユーザーズガイド』、『管理者ガイド』が HTML ファイルで格納されており、必要な情報を検索できます。

さらに、「注意・制限事項」、「オプション製品マニュアル」、「よくある質問」など、本機をご利用いただくために必要な情報も格納されています。

『使い方がわかる本』や『設定がわかる本』でも解決しないときや、さらに詳しく調べたいときに利用してください。

補足

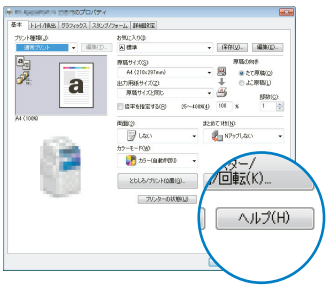
- G4 通信対応の機械の場合、ファクス（G4 通信対応の機械）の操作方法や、機能などについて記載している、『ユーザーズガイド　ファクス編』も格納されています。
- データセキュリティキット（オプション）を装着し、セキュリティ機能を利用する場合は、機能の設定と効果的な活用のために、マニュアル CD-ROM に格納されている『セキュリティ機能補足ガイド』参照してください。本機を管理するシステム管理者を対象に、セキュリティ機能に関する設定手順と環境条件を説明しています。

■ ドライバー CD キットのマニュアル（HTML）



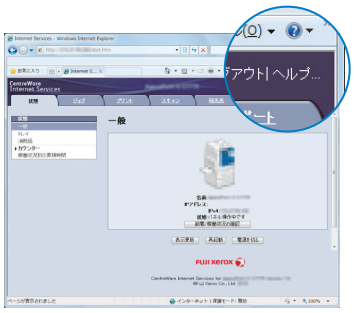
プリンタードライバーのインストール手順、プリンターの環境を設定する方法などについて説明しています。同梱されているドライバー CD キットに入っています。

■ プリンタードライバーのヘルプ



プリントの操作方法や、機能などについて説明しています。

■ CentreWare Internet Services のヘルプ



コンピューターのブラウザーから本機への各種設定や、スキャン文書を取り込む操作などについて説明しています。

注記

- CentreWare Internet Services のヘルプを表示するには、インターネットに接続できる環境が必要です。なお、通信費用はお客様の負担になりますので、ご了承ください。

Print Server に付属のマニュアル

本機に接続する Print Server には、マニュアルが付属しています。

Print Server のマニュアルでは、Print Server の機能や設定、操作方法などについて説明しています。

補足

- Print Server のマニュアルは、ServerManager の［ヘルプ］メニューから表示させることができます。

オプション製品マニュアル

本機では、オプション製品を用意しています。オプション製品には、マニュアルが同梱されているものがあります。

オプション製品マニュアルでは、オプション製品の操作方法、ソフトウエアのインストール手順などについて説明しています。

各種ソフトウエアについて

■ 本製品に同梱されている CD-ROM

ドライバー CD キットの CD-ROM には、プリンタードライバー、ファクスドライバー、スキャナードライバーなどが入っています。インストール方法については、CD-ROM に入っているマニュアルを参照してください。

■ 最新ソフトウエアの入手方法

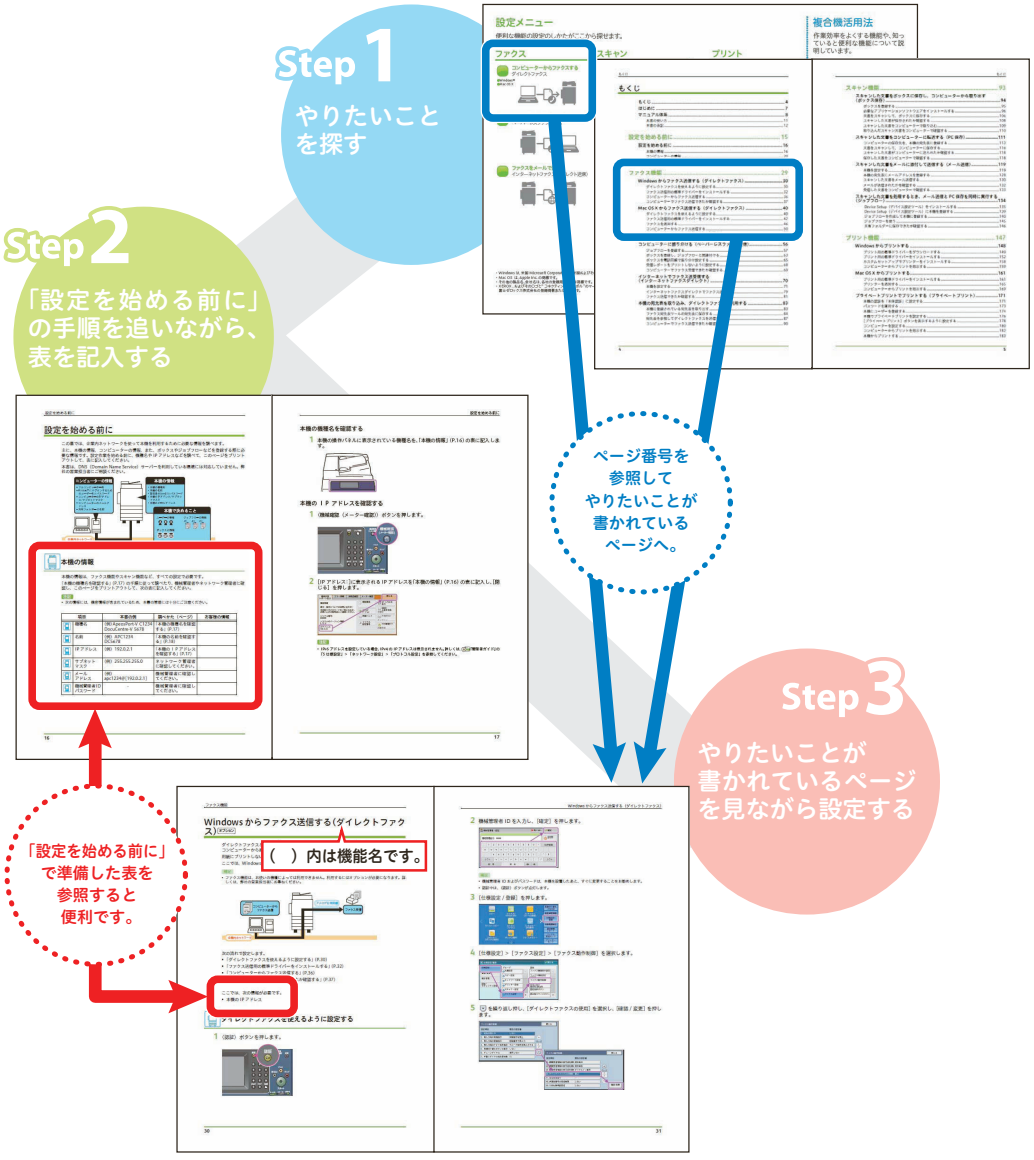
最新のソフトウエアは、弊社公式サイトから入手できます。なお、通信費用はお客様の負担になりますので、ご了承ください。

次の URL にアクセスして、ダウンロードしてください。

http://www.fujixerox.co.jp/download/

本書の使い方

本書は、問い合わせの多い設定の操作について、設定方法から基本的な操作方法までを一連の流れとして説明しています。



本書は、Windows® 7 を使用した操作を例に説明しています。

本書の表記

- 本書に記載している画面や本体のイラストは、使用している機械によって異なります。機械の構成によっては、表示されない項目や使用できない機能があります。
- 各種ドライバーやユーティリティソフトウエアのバージョンアップによって、本書に記載している内容が、お客様がお使いのものと異なる場合があります。
- 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。



- コンピューターでの操作を説明しています。



- 本機での操作を説明しています。

注記

- 注意すべき事項を記述しています。

補足

- 補足事項を記述しています。

参照

- 参照先を記述しています。

オプション

- お使いの機種によっては表示されません。利用するにはオプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。



- 参照先のマニュアル CD-ROM（ユーザーズガイド、管理者ガイド、その他）を表しています。

- 本文中では、次の記号を使用しています。

「　　」：	• 本書内にある参照先を表しています。 • CD-ROM、機能、タッチパネルディスプレイのメッセージなどの名称や入力文字などを表しています。
『　　』：	• 参照するマニュアルを表しています。
[　　]：	• 本機のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。 • コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
〈　　〉ボタン：	• 操作パネル上のハードウエアボタンを表しています。
〈　　〉キー：	• コンピューターのキーボード上のキーを表しています。
>：	• 操作パネルで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。 例：「[仕様設定 / 登録］>［登録 / 変更］>［ボックス登録］を選択します。」は、「[仕様設定 / 登録］を押して、［登録 / 変更］を押したあと、［ボックス登録］を選択します。」という手順を省略して記載したものです。 • コンピューターで順に項目をクリックする手順を、省略して表しています。 例：「［スタート］>［検索］>［他のコンピュータ］で検索します。」は、「［スタート］ボタンをクリックして、［検索］、［他のコンピュータ］を順にクリックして検索します。」という手順を省略して記載したものです。

- 本書では、文書が格納されている場所を「ボックス」または「親展ボックス」と表記しています。
- 本文中では、機械本体の操作パネルに表示されるキーボードで大文字の入力方法や漢字変換の方法は記載していません。詳しくは、『使い方がわかる本』の「ここだけ読めば使えます」の「機械について」をご覧ください。

設定を始める前に

- 設定を始める前に..... 16

補足

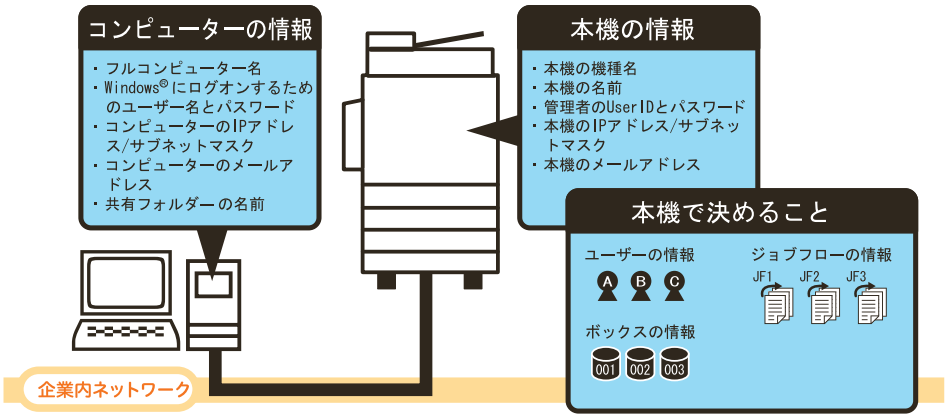
- 使用しているコンピューターの画面イメージは、2014 年 4 月現在のものです。各種ドライバーやユーティリティソフトウエアのバージョンアップによって、本書に記載している内容が、お客様がお使いのものと異なる場合があります。

設定を始める前に

この章では、企業内ネットワークを使って本機を利用するために必要な情報を調べます。

主に、本機の情報、コンピューターの情報、また、ボックスやジョブフローなどを登録する際に必要な情報です。設定作業を始める前に、機種名や IP アドレスなどを調べて、このページをプリントアウトして、表に記入してください。

本書は、DNS（Domain Name Service）サーバーを利用している環境には対応していません。弊社の営業担当者にご相談ください。



本機の情報

本機の情報は、ファクス機能やスキャン機能など、すべての設定で必要です。

「本機の機種名を確認する」(P.17) の手順に従って調べたり、機械管理者やネットワーク管理者に確認し、このページをプリントアウトして、次の表に記入してください。

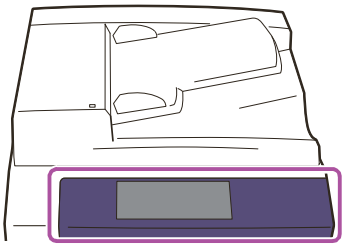
注記

- 次の情報には、機密情報が含まれているため、本書の管理には十分にご注意ください。

項目		本書の例	調べかた（ページ）	お客様の情報
	機種名	(例) ApeosPort-V C1234 DocuCentre-V 5678	「本機の機種名を確認する」(P.17)	
	名前	(例) APC1234 DC5678	「本機の名前を確認する」(P.18)	
	IP アドレス	(例) 192.0.2.1	「本機のＩＰアドレスを確認する」(P.17)	
	サブネットマスク	(例) 255.255.255.0	ネットワーク管理者に確認してください。	
	メールアドレス	(例) apc1234@[192.0.2.1]	機械管理者に確認してください。	
	機械管理者ID パスワード	-	機械管理者に確認してください。	

本機の機種名を確認する

1 本機の操作パネルに表示されている機種名を、「本機の情報」(P.16) の表に記入します。

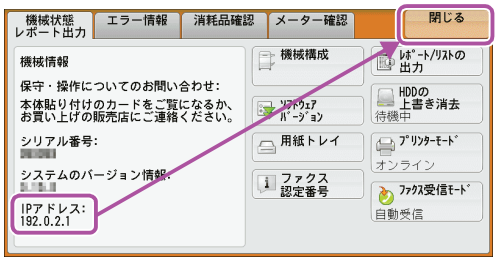


本機の ＩＰ アドレスを確認する

1 〈機械確認（メーター確認）〉ボタンを押します。



2 [IP アドレス:]に表示される IP アドレスを「本機の情報」(P.16) の表に記入し、[閉じる] を押します。



注記

- IPv6 アドレスを設定している場合、IPv4 の IP アドレスは表示されません。詳しくは、『管理者ガイド』の「5 仕様設定」>「ネットワーク設定」>「プロトコル設定」を参照してください。

本機の名前を確認する

1 〈認証〉ボタンを押します。



2 機械管理者 ID を入力し、[確定] を押します。



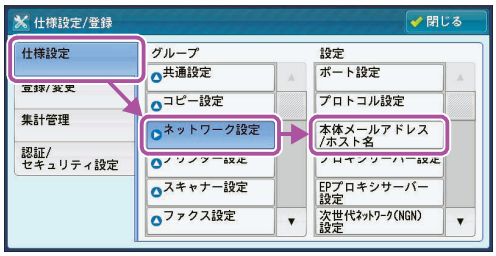
補足

- 機械管理者 ID およびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。
- 認証中は、〈認証〉ボタンが点灯します。

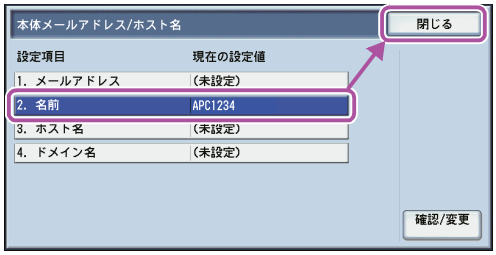
3 [仕様設定 / 登録] を押します。



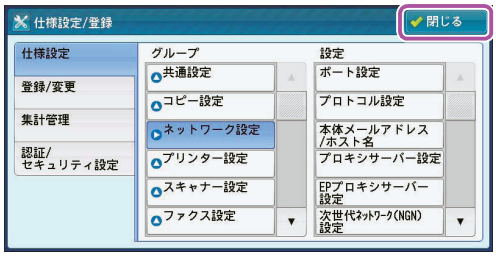
4 [仕様設定]>[ネットワーク設定]>[本体メールアドレス / ホスト名] を選択します。



5 ［名前］に表示されている設定値を「本機の情報」（P.16）の表に記入し、［閉じる］を押します。



6 ［閉じる］を押します。



7 〈認証〉ボタンを押します。

認証が解除されて、〈認証〉ボタンが消灯していることを確認します。



コンピューターの情報

コンピューターの情報は、スキャンしたデータをコンピューターに転送したり、メール送信したりする設定に必要です。

「コンピューター名を確認する」(P.20) を参考にし、このページをプリントアウトして、次の表に記入してください。

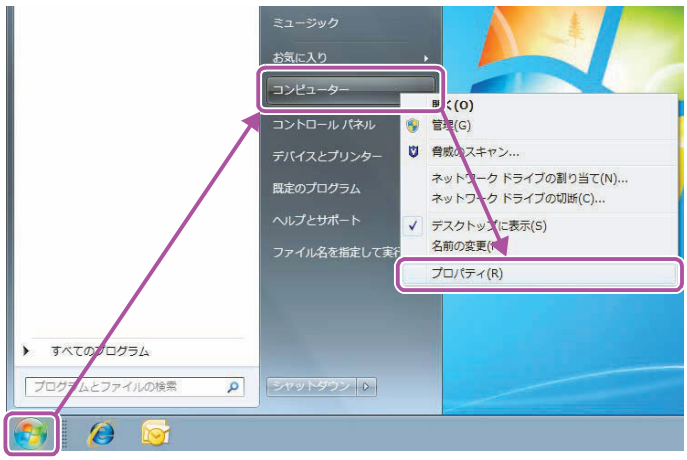
注記

- ファクス受信やスキャンしたデータをコンピューターに保存するときは、「共有フォルダーを作成する」(P.24) に従って、共有フォルダーを作成してください。
- 次の情報には、機密情報が含まれているため、本書の管理には十分にご注意ください。

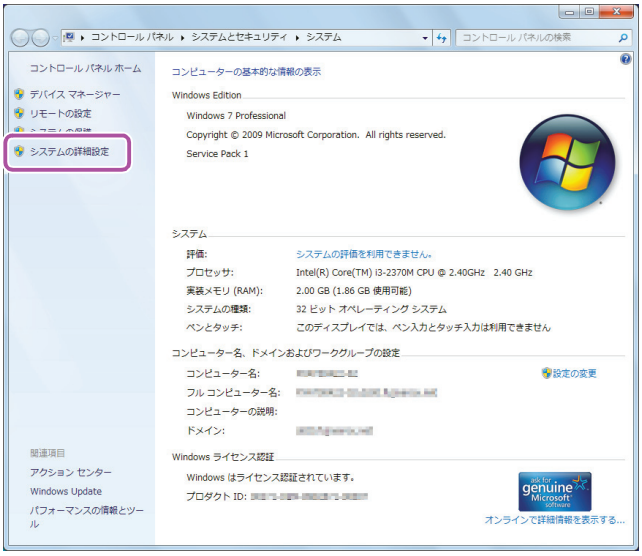
項目	本書の例	調べかた（ページ）	お客様の情報
コンピューター名	(例) soumu0808	「コンピューター名を確認する」(P.20)	
ユーザー名 パスワード	(例) fuji-taro 1234	「Windows にログオンするためのユーザー名とパスワードを記入する」(P.22)	
IP アドレス	(例) 192.0.2.2	ネットワーク管理者に確認してください。	
サブネットマスク	(例) 255.255.255.0	ネットワーク管理者に確認してください。	
メールアドレス	(例) fuji-taro@fuji0.co.jp	ネットワーク管理者に確認してください。	
共有フォルダーの名前	(例) faxtopc scantopc	「共有フォルダーを作成する」(P.24)	

コンピューター名を確認する

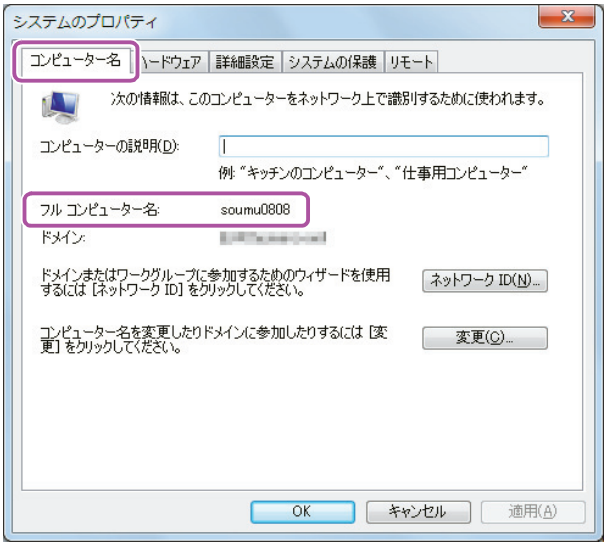
1 [スタート] > [コンピューター] を右クリックし、表示されるメニューから [プロパティ] を選択します。



2 画面左側の［システムの詳細設定］をクリックします。



3 ［コンピューター名］タブを開き、［フル　コンピューター名：］に表示されるコンピューター名を「コンピューターの情報」(P.20) の表に記入し、［OK］をクリックします。



Windows にログオンするためのユーザー名とパスワードを記入する

1 Windows にログオンするためのユーザー名とパスワードを「コンピューターの情報」(P.20) の表に記入します。

注記

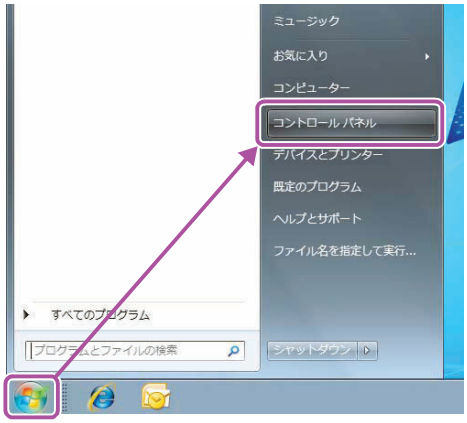
- パスワードを設定しないでログオンしていたり、ユーザー名が漢字やひらがなの場合は、スキャナー側からアクセスできません。管理者に確認してください。



コンピューターに共有フォルダーを作る

■ アクセス権を設定する

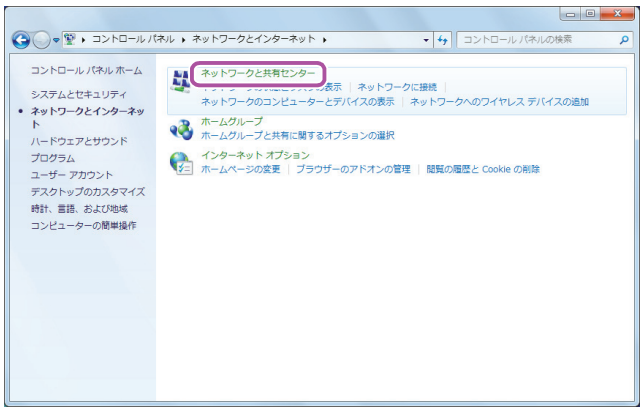
1 [スタート] をクリックし、表示されるメニューから [コントロールパネル] を選択します。



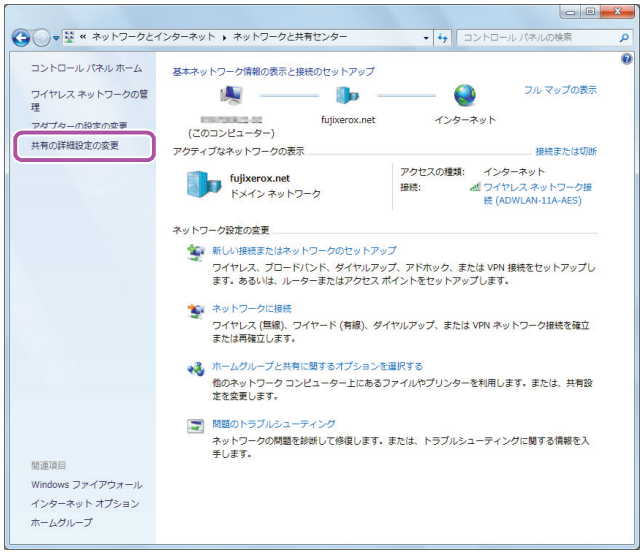
2 [ネットワークとインターネット] をクリックします。



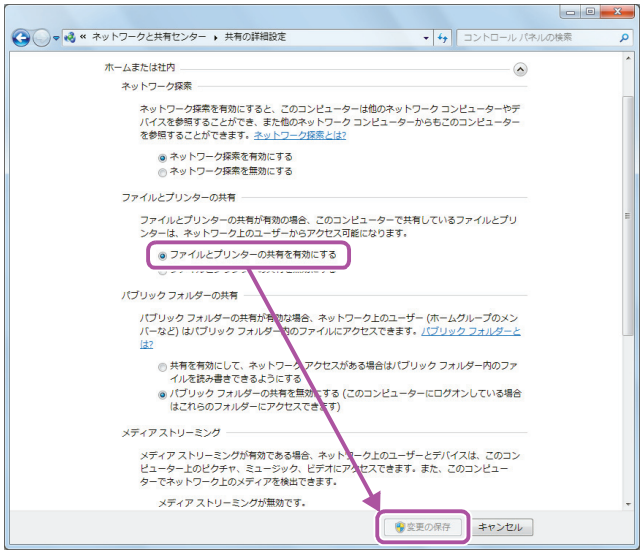
3 ［ネットワークと共有センター］をクリックします。



4 ［共有の詳細設定の変更］をクリックします。

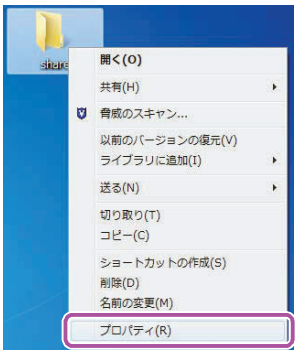


5 ［ファイルとプリンターの共有］の［ファイルとプリンターの共有を有効にする］をオンにし、［変更の保存］をクリックします。

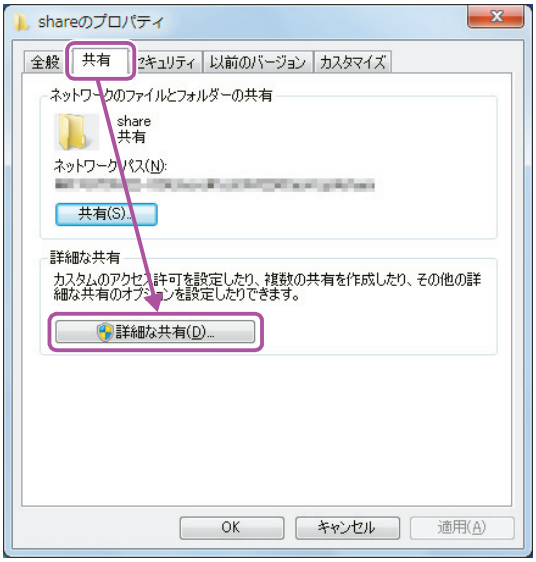


■ 共有フォルダーを作成する

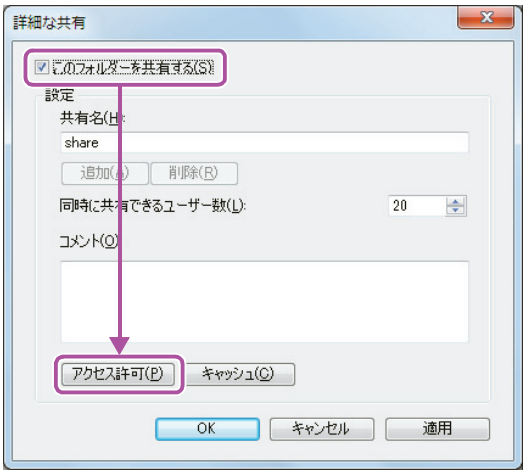
1 ファクス受信やスキャンしたデータを保存したいフォルダーを右クリックし、表示されるメニューから［プロパティ］を選択します。



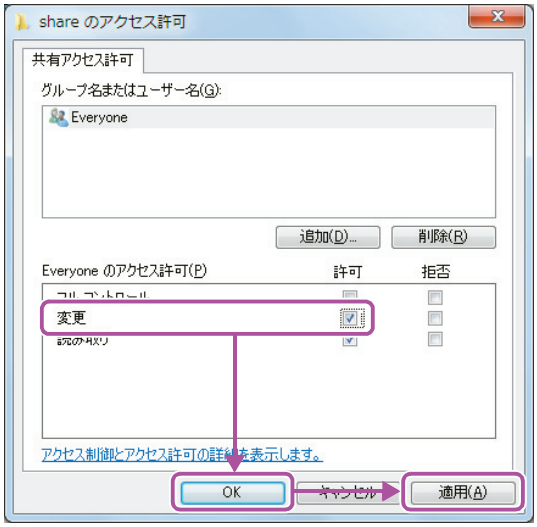
2 ［共有］タブを開き、［詳細な共有］をクリックします。



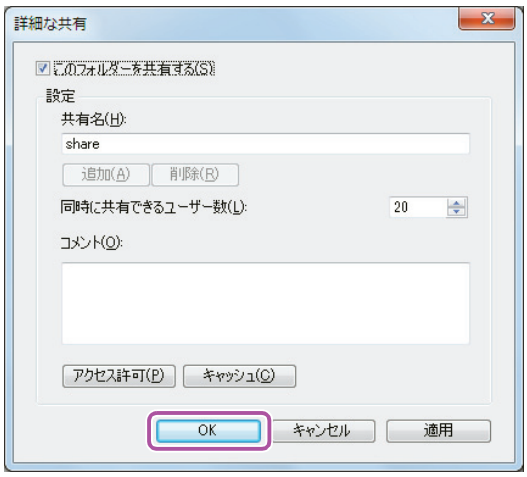
3 ［このフォルダーを共有する］をチェックし、［アクセス許可］をクリックします。



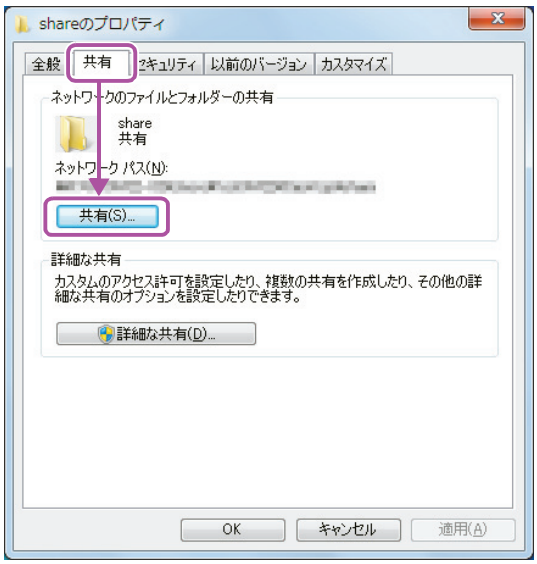
4 ［Everyone のアクセス許可］欄の［変更］の［許可］をチェックし、［適用］をクリックします。続けて［OK］をクリックします。



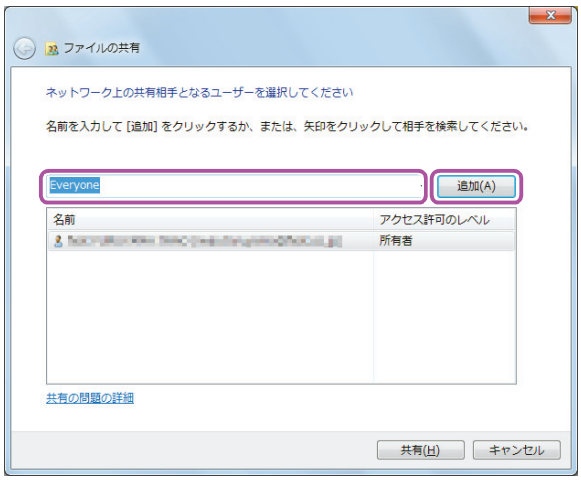
5 ［OK］をクリックします。



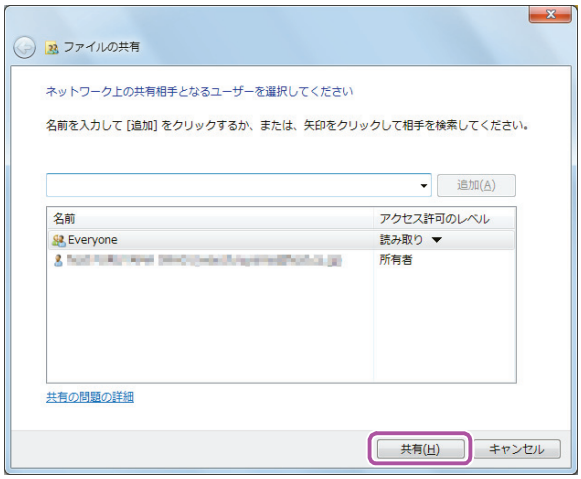
6 ［共有］タブを開き、［共有］をクリックします。



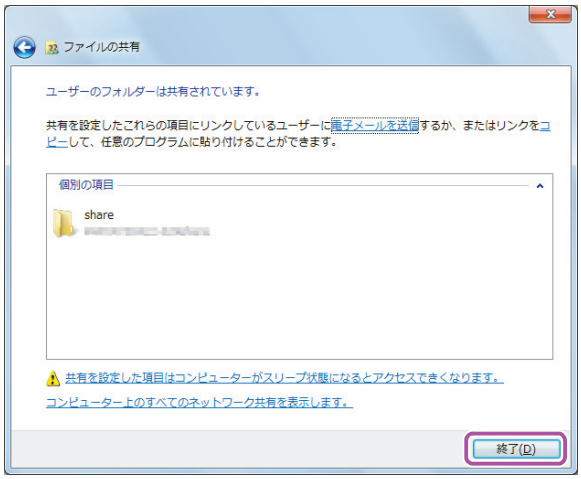
7 プルダウンメニューから Everyone を選択し、［追加］をクリックします。



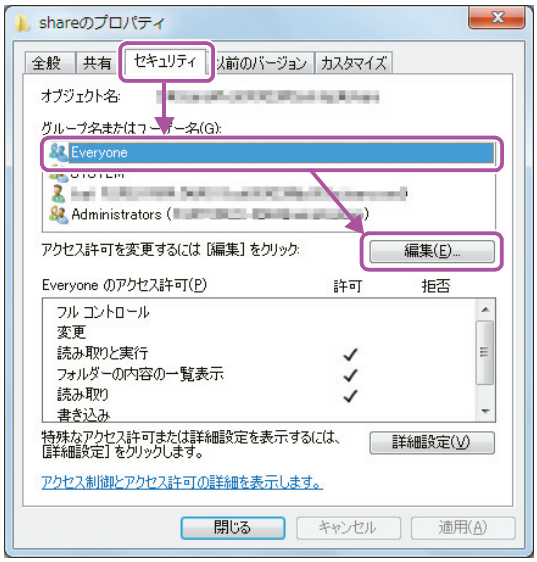
8 ［共有］をクリックします。



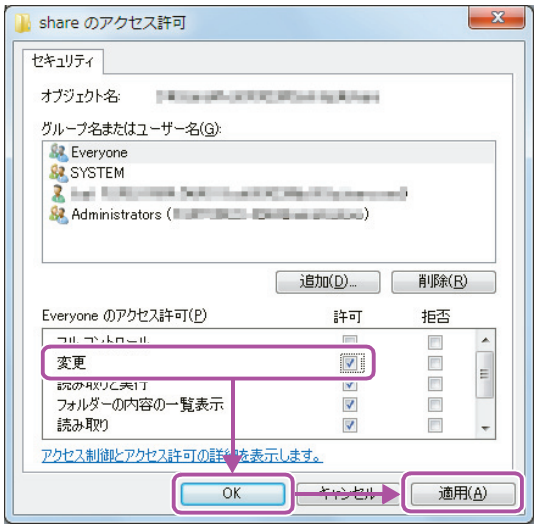
9 ［終了］をクリックします。



10 ［セキュリティ］タブを開き、［グループ名またはユーザー名］覧から Everyone を選択し、［編集］をクリックします。



11 ［Everyone のアクセス許可］覧の［変更］の［許可］をチェックし、［適用］をクリックします。続けて［OK］をクリックします。



12 ［閉じる］をクリックして、プロパティ画面を閉じます。

本機を設定するときに必要な情報

本機で、ボックスやジョブフロー機能を使用したり、利用ユーザーなどを登録するために必要な情報を設定します。

管理者と相談し、このページをプリントアウトして、次の表に記入してください。

注記

- 次の情報には、機密情報が含まれているため、本書の管理には十分にご注意ください。

項目		本書の例	作りかた（ページ）	お客様の情報
	本機に登録するユーザー名	（例）ふじたろう	「ユーザーを登録する」（P.195）	
	ユーザー名に対する User ID とパスワード	（例）fuji-taro 1234	「ユーザーを登録する」（P.195）	
	本機に登録するボックス名	（例）ふじたろう	「ボックスを登録する」（P.95）	
	ボックス番号	（例）001	「ボックスを登録する」（P.95）	
	ジョブフロー名	（例）Flow001	「ジョブフローに名前を付ける」（P.57）	

ファクス機能

- Windows からファクス送信する（ダイレクトファクス）..... 30
- Mac OS X からファクス送信する（ダイレクトファクス）..... 40
- ファクス受信した文書を、ジョブフローを使って コンピューターに振り分ける（ペーパーレスファクス受信）..... 56
- インターネットでファクス送受信する（インターネットファクスダイレクト）..... 70
- 本機の宛先表を取り込み、ダイレクトファクスで利用する..... 83

補足

- ファクス機能は、お使いの機種によっては利用できません。利用するにはオプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。
- 使用しているコンピューターの画面イメージは、2014 年 4 月現在のものです。各種ドライバーやユーティリティソフトウエアのバージョンアップによって、本書に記載している内容が、お客様がお使いのものと異なる場合があります。

Windows からファクス送信する（ダイレクトファクス）オプション

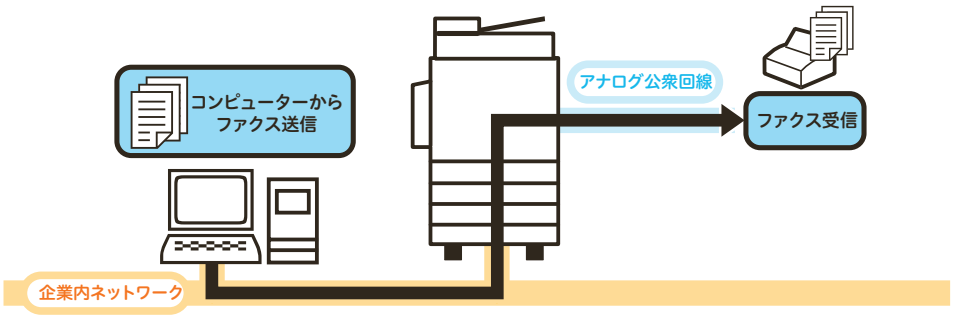
ダイレクトファクスとは、アプリケーションソフトウエアで作成した文書をプリントすることなく、コンピューターから直接、ファクス送信できる機能のことです。

用紙にプリントしないため、資源を節約し、手間を省きます。

ここでは、Windows でのダイレクトファクス方法について説明します。

補足

- ファクス機能は、お使いの機種によっては利用できません。利用するにはオプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。



次の流れで設定します。

- 「ダイレクトファクスを使えるように設定する」（P.30）
- 「ファクス送信用の標準ドライバーをインストールする」（P.32）
- 「コンピューターからファクス送信する」（P.36）
- 「コンピューターでファクス送信できたか確認する」（P.37）

ここでは、次の情報が必要です。

- 本機の IP アドレス

ダイレクトファクスを使えるように設定する

1 〈認証〉ボタンを押します。



2 機械管理者 ID を入力し、［確定］を押します。



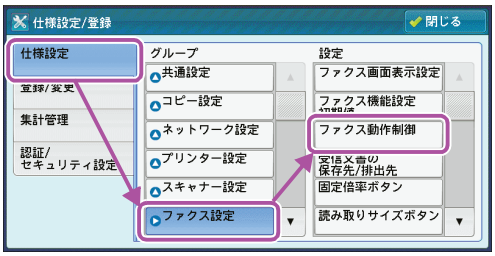
補足

- 機械管理者 ID およびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。
- 認証中は、〈認証〉ボタンが点灯します。

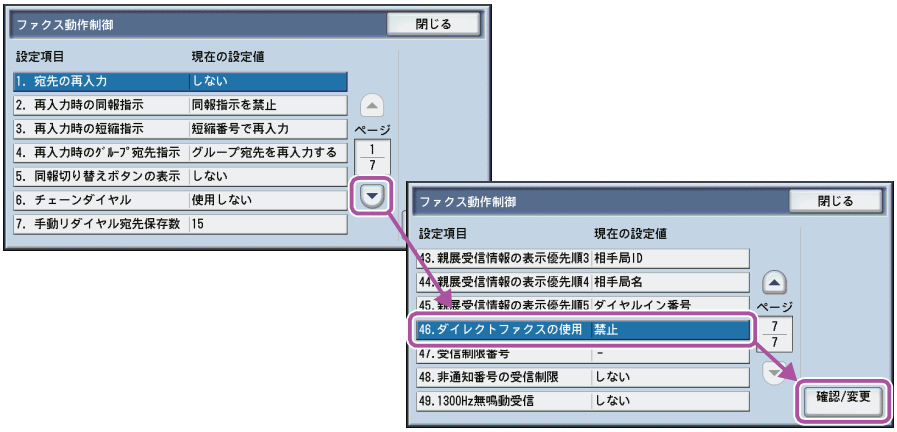
3 ［仕様設定 / 登録］を押します。



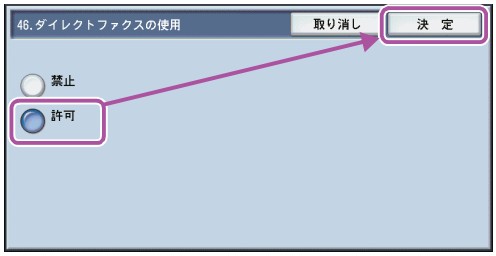
4 ［仕様設定］>［ファクス設定］>［ファクス動作制御］を選択します。



5 を繰り返し押し、［ダイレクトファクスの使用］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



6 ［許可］を選択し、［決定］を押します。



7 メニュー画面が表示されるまで、繰り返し［閉じる］を押します。

8 〈認証〉ボタンを押します。

認証が解除されて、〈認証〉ボタンが消灯していることを確認します。



ファクス送信用の標準ドライバーをインストールする

ファクス送信用の標準ドライバーの入手方法は、次の 2 つがあります。

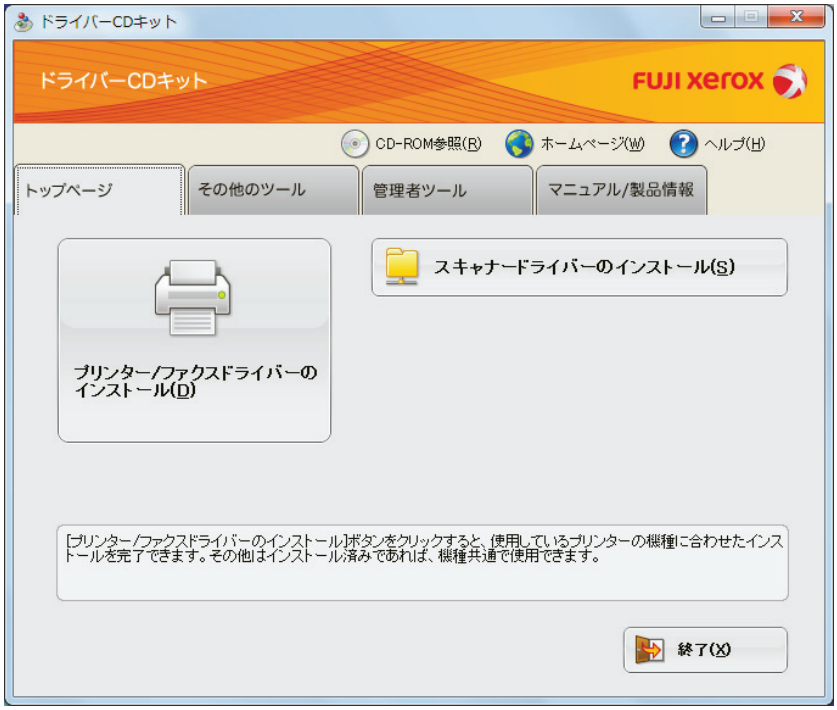
- 本機に同梱されているドライバー CD キットの CD-ROM を使う
- 弊社公式サイトからダウンロードする

ここでは、コンピューターと同じサブネットに TCP/IP で接続されている環境を例に、本機に同梱されているドライバー CD キットの CD-ROM を使って、［標準セットアップ］でインストールする方法を説明します。

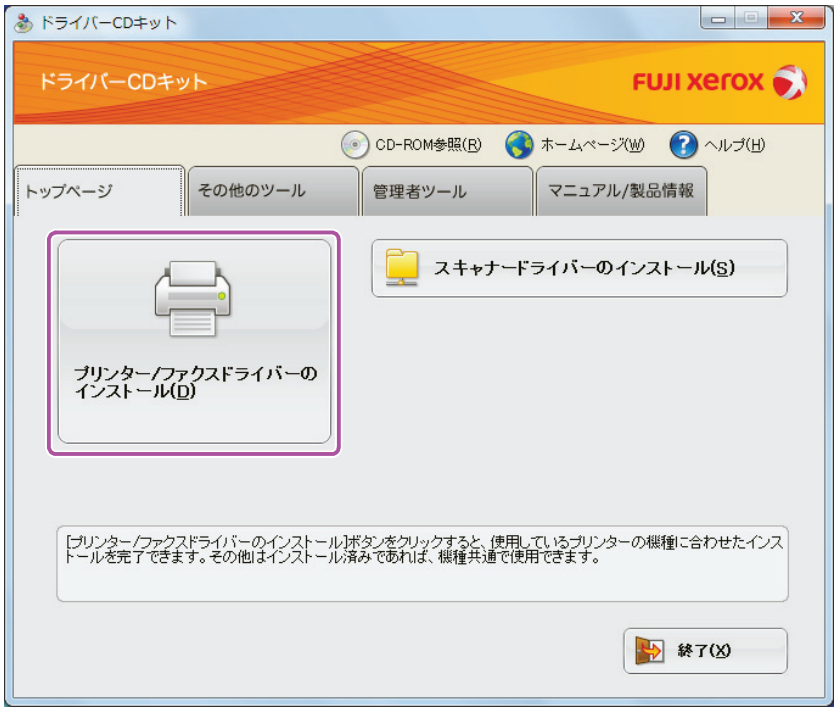
1 CD-ROM ドライブにドライバー CD キットをセットします。

自動的に次の画面が表示されます。

自動的に画面が表示されない場合は、CD-ROM 内のルートディレクトリーにある Launcher.exe をダブルクリックしてください。

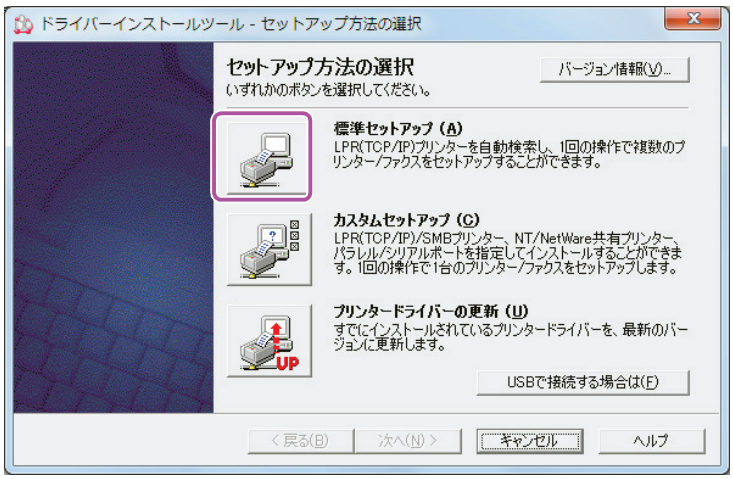


2 ［プリンター / ファクスドライバーのインストール］をクリックします。



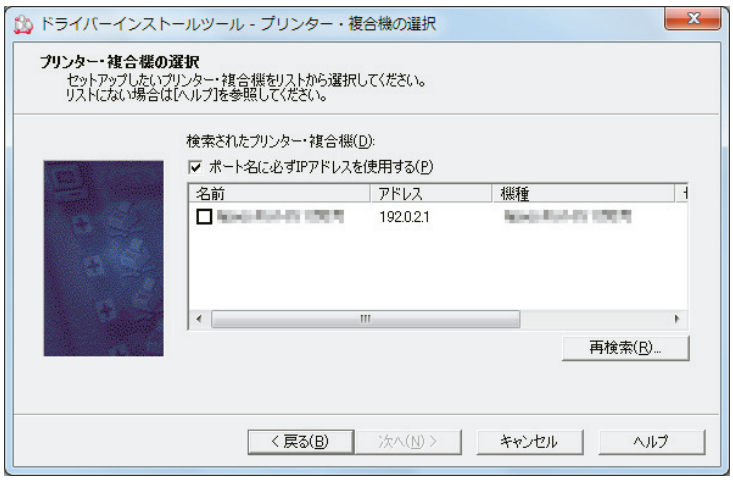
3 ［標準セットアップ］ボタンをクリックします。

本機が、コンピューターと同じサブネットに TCP/IP で接続されていない場合は、［カスタムセットアップ］ボタンをクリックしてください。

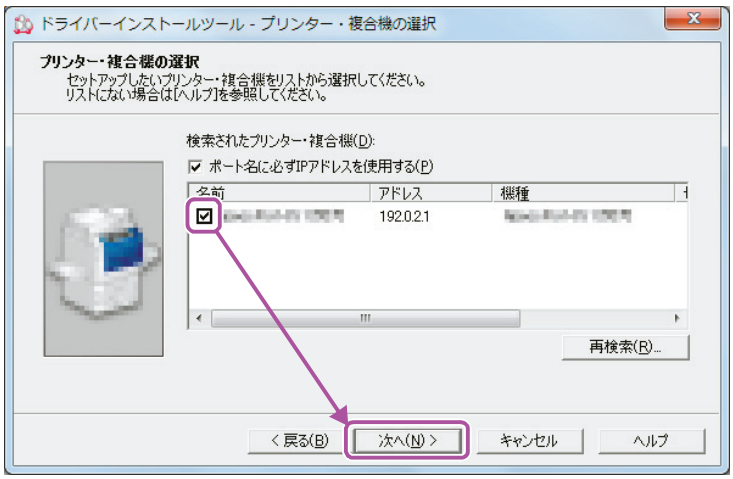


4 ネットワークの同じサブネットで TCP/IP 接続されている機器が、リスト表示されます。［アドレス］に、本機の IP アドレスが表示されていることを確認します。

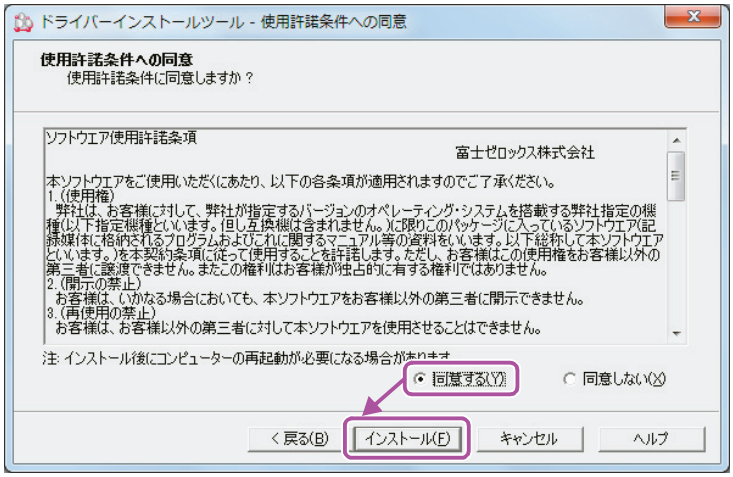
本機が表示されない場合は、［戻る］をクリックし、［カスタムセットアップ］ボタンをクリックしてください。



5 本機をチェックし、［次へ］をクリックします。



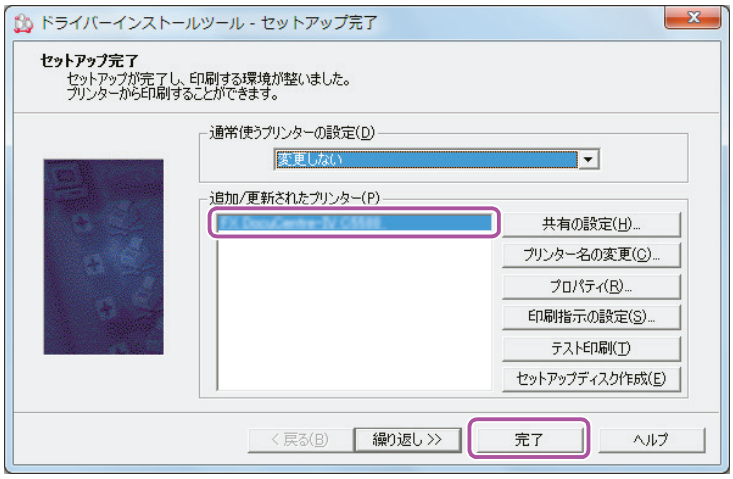
6 使用許諾条件を確認して、［同意する］をチェックし、［インストール］をクリックします。



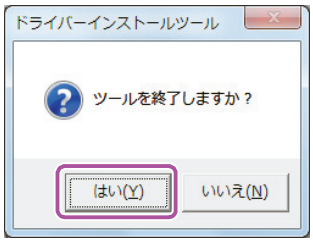
7 セットアップ完了画面が表示されたら、［追加 / 更新されたプリンター］に、本機が表示されていることを確認し、［完了］をクリックします。

標準ドライバーは、プリント用とファクス送信用の 2 つが自動的にインストールされます。

ファクス送信用ドライバーは、「機種名（FAX）」と表示されます。



8 ［はい］をクリックします。



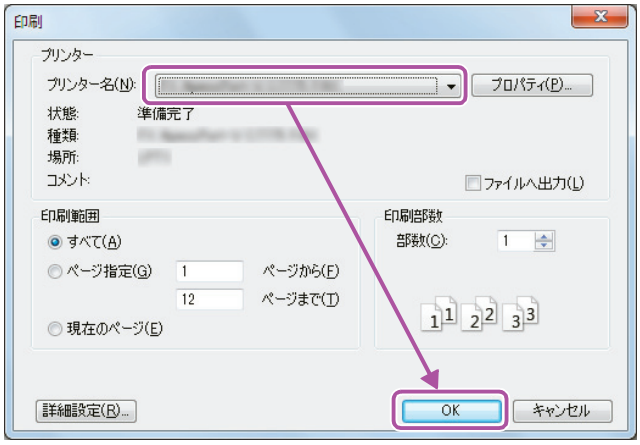
コンピューターからファクス送信する

1 アプリケーションでファクス送信したい文書を開き、[ファイル] メニューから印刷を選択します。

補足

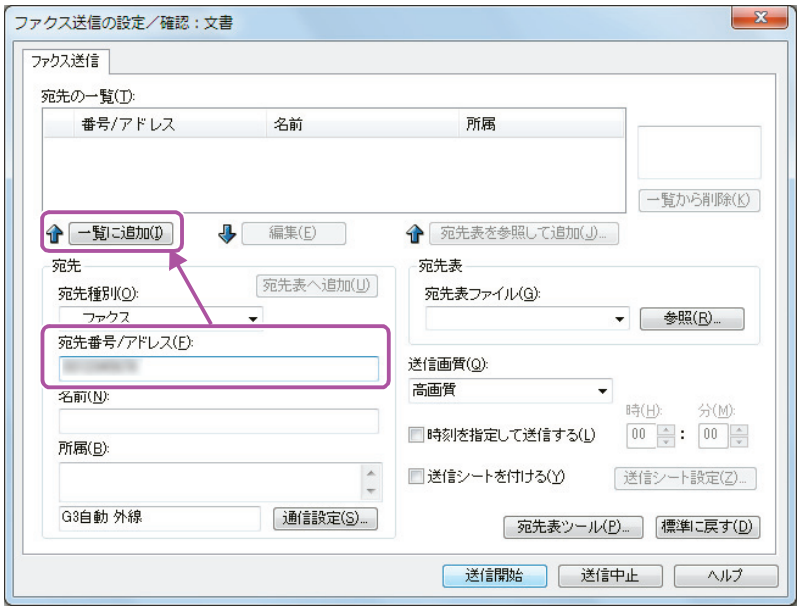
- アプリケーションソフトウエアによっては、メニューの呼びかたが異なることがあります。

2 [プリンター名] から「ファクス送信用の標準ドライバーをインストールする」(P.32) でインストールした、ファクス送信用の標準ドライバーを選択し、[OK] をクリックします。

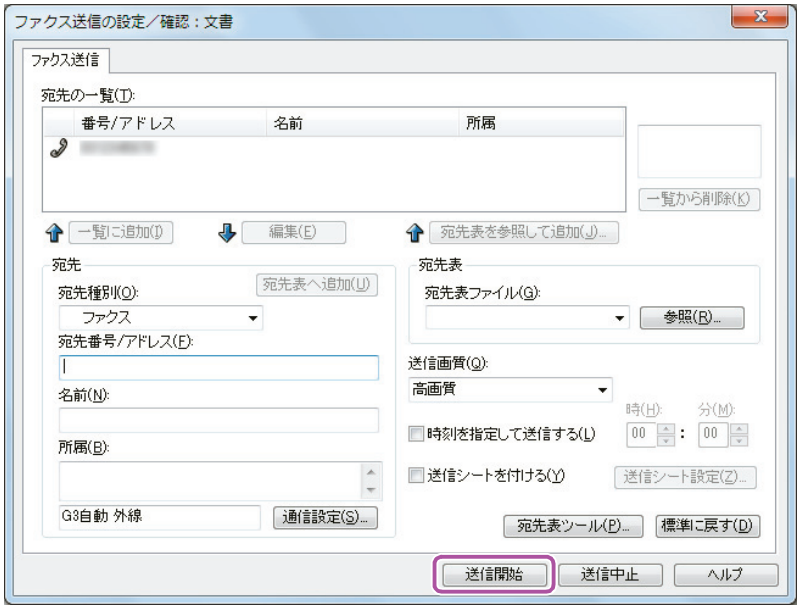


3 [宛先番号 / アドレス] に送信先のファクス番号を入力し、[一覧に追加] をクリックします。

G3 増設ポートキット 2（オプション）を装着し、本機の仕様設定の［内線設定］で内線に使用する回線を選択している場合は、［通信設定］をクリックして表示される画面で［内線 / 外線］のドロップダウンリストから、［外線］または［内線］を選択すると、外線または内線の専用ポートが割り当てられます。詳しくは、ファクスドライバーのヘルプを参照してください。



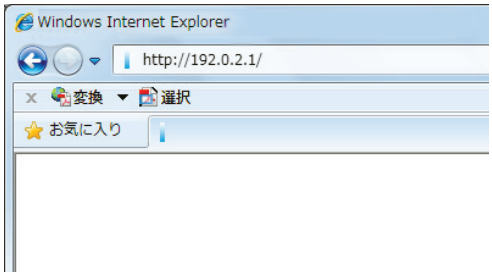
4 ［送信開始］をクリックします。



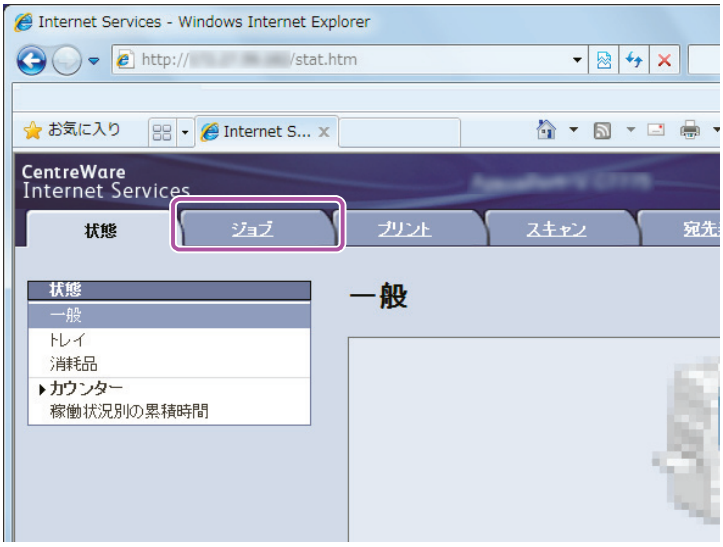
コンピューターでファクス送信できたか確認する

1 Microsoft Internet Explorer（Web ブラウザー）で、「http://（本機の IP アドレス）」を入力し、〈Enter〉キーを押します。

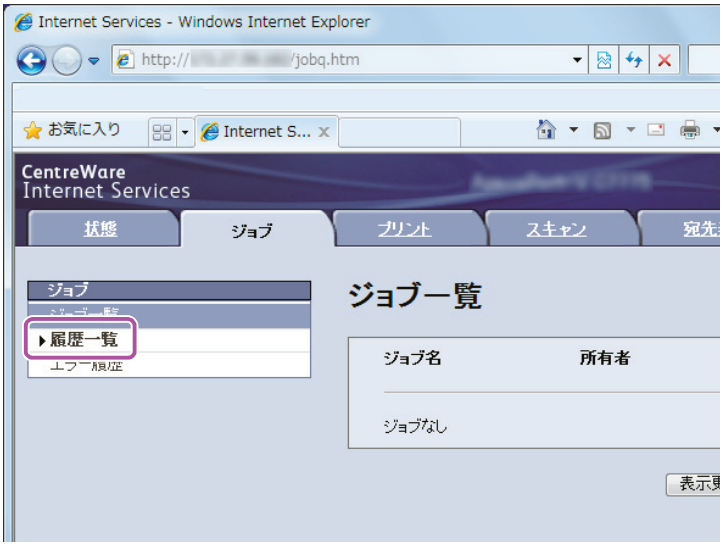
例：http://192.0.2.1
　　└本機の IP アドレス



2 ［ジョブ］タブをクリックします。

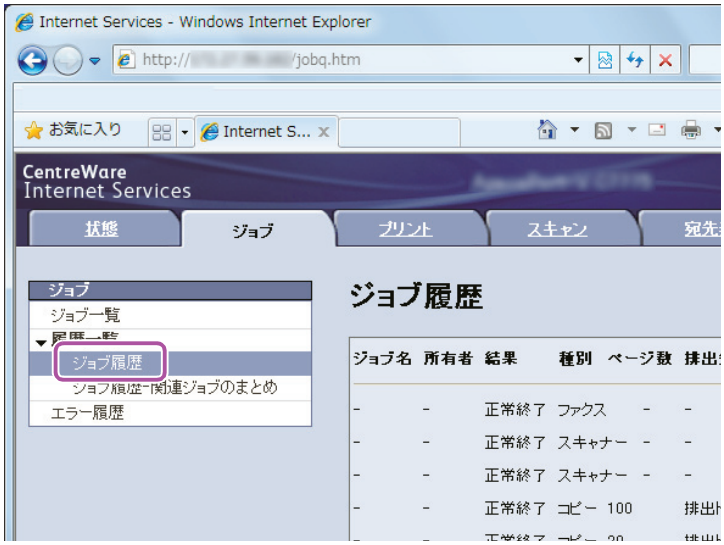


3 ［▶履歴一覧］をクリックします。



4 ［ジョブ履歴］をクリックし、送信した文書の結果を確認します。

ジョブは新しいものから順に表示されます。



Mac OS X からファクス送信する（ダイレクトファクス）オプション

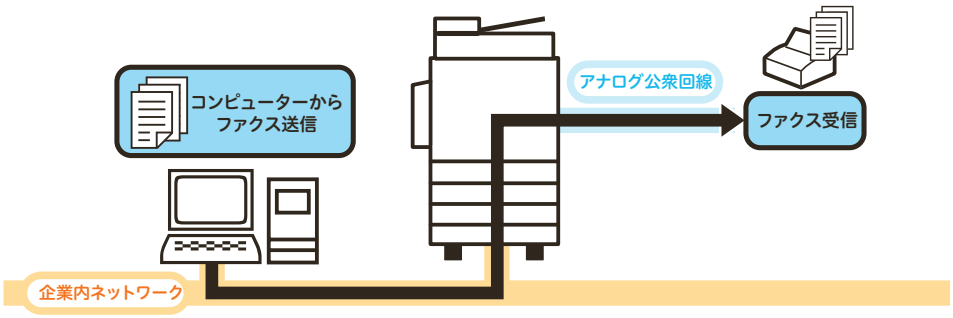
ダイレクトファクスとは、アプリケーションソフトウエアで作成した文書をプリントすることなく、コンピューターから直接、ファクス送信できる機能のことです。

用紙にプリントしないため、資源を節約し、手間を省きます。

ここでは、Macintosh でのダイレクトファクス方法について説明します。

補足

- ファクス機能は、お使いの機種によっては利用できません。利用するにはオプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。



次の流れで設定します。

- 「ダイレクトファクスを使えるように設定する」(P.40)
- 「ファクス送信用の標準ドライバーをインストールする」(P.42)
- 「ファクスを追加する」(P.46)
- 「コンピューターからファクス送信する」(P.50)
- 「コンピューターでファクス送信できたか確認する」(P.53)

ここでは、次の情報が必要です。

- 本機の IP アドレス

ダイレクトファクスを使えるように設定する

1 〈認証〉ボタンを押します。



2 機械管理者 ID を入力し、［確定］を押します。



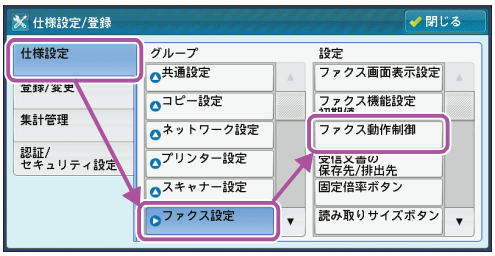
補足

- 機械管理者 ID およびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。
- 認証中は、〈認証〉ボタンが点灯します。

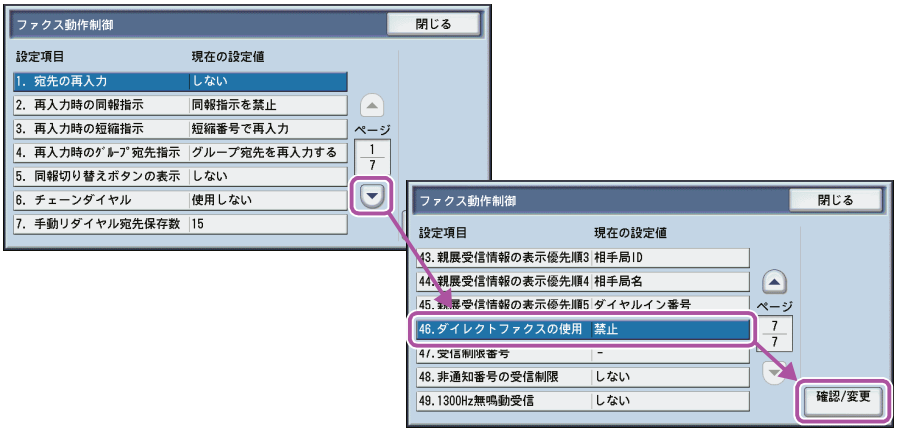
3 ［仕様設定 / 登録］を押します。



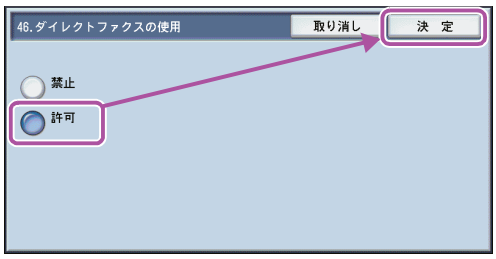
4 ［仕様設定］>［ファクス設定］>［ファクス動作制御］を選択します。



5 を繰り返し押し、［ダイレクトファクスの使用］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



6 ［許可］を選択し、［決定］を押します。



7 メニュー画面が表示されるまで、繰り返し［閉じる］を押します。

8 〈認証〉ボタンを押します。

認証が解除されて、〈認証〉ボタンが消灯していることを確認します。



ファクス送信用の標準ドライバーをインストールする

ファクス送信用の標準ドライバーの入手方法は、次の 2 つがあります。

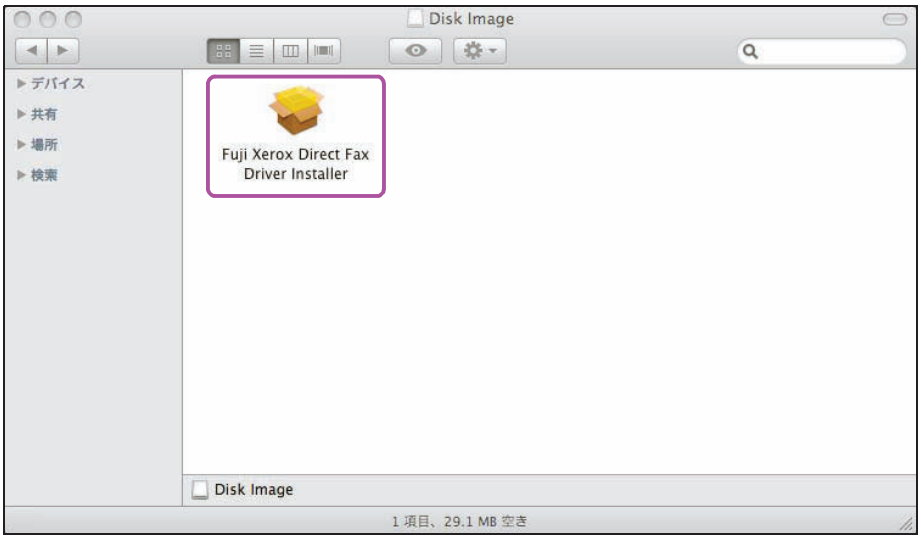
- 本機に同梱されているドライバー CD キットの CD-ROM を使う
- 弊社公式サイトからダウンロードする

ここでは、本機に同梱されているドライバーCD キットの CD-ROM を使ってインストールする方法を説明します。

注記

- Mac OS X 用ファクスドライバーは、Mac OS X 10.5 / 10.6、Mac OS X 10.7 Lion、OS X 10.8 Mountain Lion、OS X 10.9 Mavericks に対応しています。
- Mac OS X にファクスドライバーをインストールする場合は、管理者権限のあるユーザーでログインしてください。

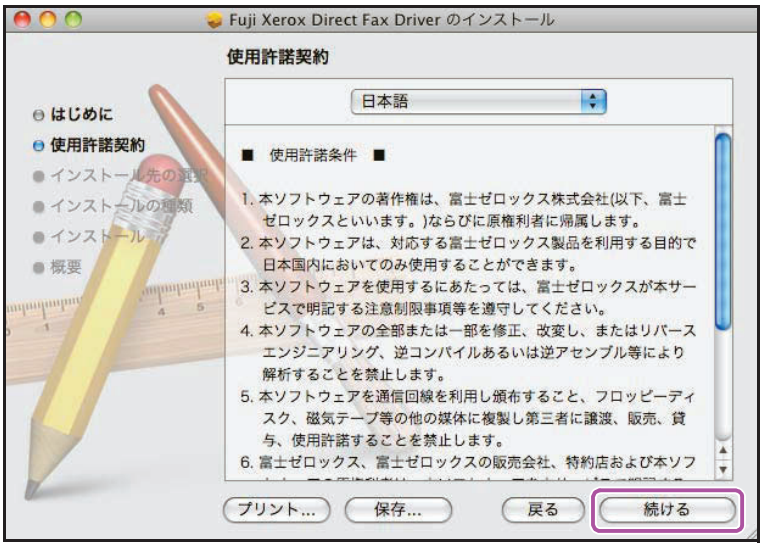
1 [Jpn > MacDrivr] ボリューム内にある、[Fuji Xerox Direct Fax Driver Installer] アイコンをダブルクリックします。



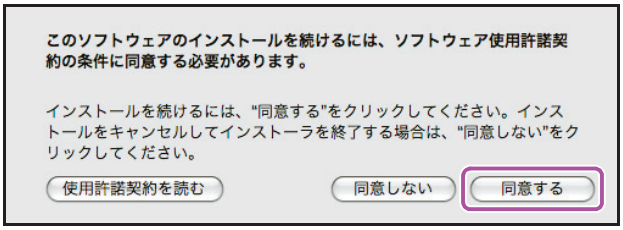
2 [続ける] をクリックします。



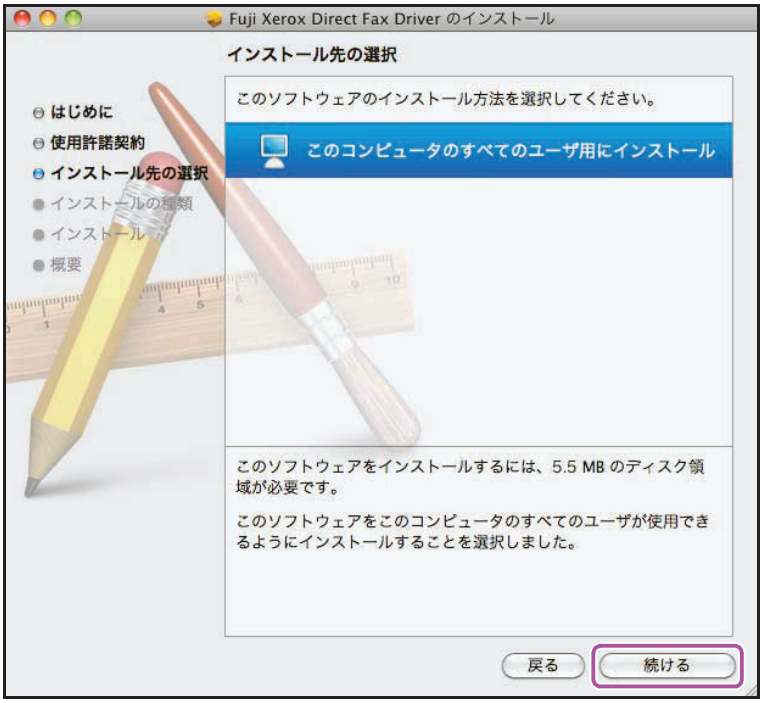
3 使用許諾条件を確認し、［続ける］をクリックします。



4 ［同意する］をクリックします。



5 ［続ける］をクリックします。



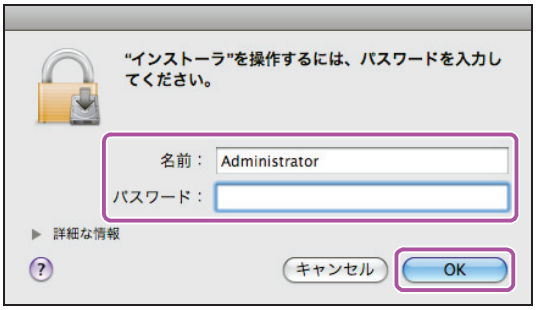
補足

- 2 回目以降のインストールの場合は、この画面は表示されません。次の手順に進んでください。
  なお、コンピューターを再起動してからインストールした場合は、2 回目以降であってもこの画面は表示されます。

6 ［インストール］をクリックします。



7 ［名前］と［パスワード］を入力して、［OK］をクリックします。



8 ［閉じる］をクリックします。



ファクスを追加する

［プリンタリスト］ウィンドウに、本機を追加します。

補足

- 本機と Macintosh の接続の方法によって、操作手順は異なります。ここでは、LPR 接続の場合について説明します。

ここでは、次の情報が必要です。

- 本機の IP アドレス

1 本機の電源が入っていることを確認します。

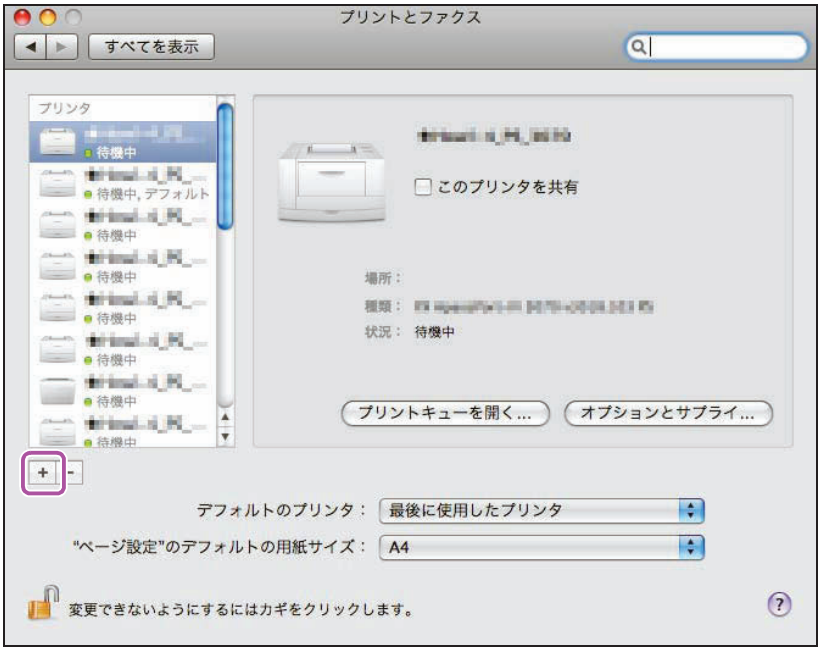
2 ［Apple］メニューから［システム環境設定］を開き、［プリントとファクス］を選択します。

補足

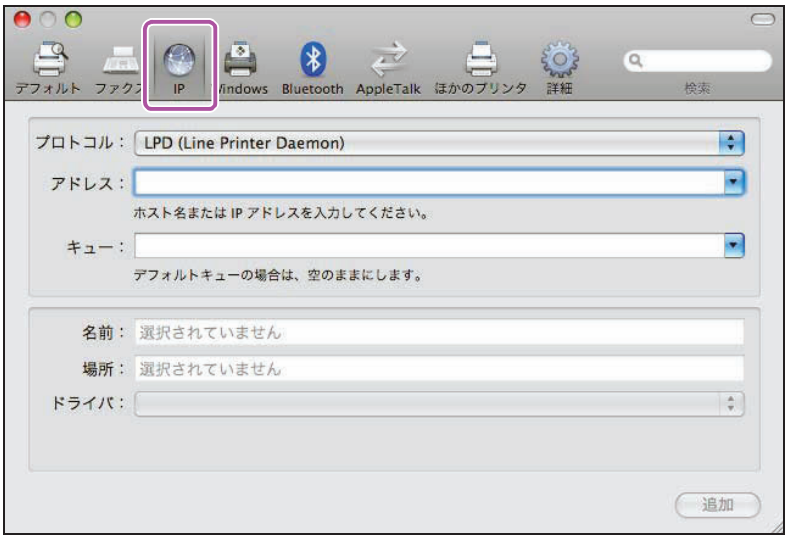
- アプリケーションソフトウエアによっては、メニューの呼びかたが異なることがあります。



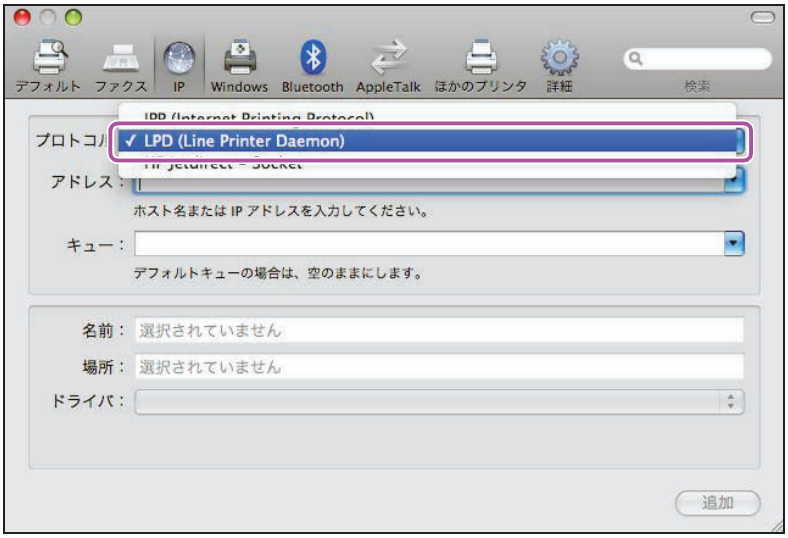
3 ［プリントとファクス］ウィンドウにある左下の［+］ボタンをクリックします。



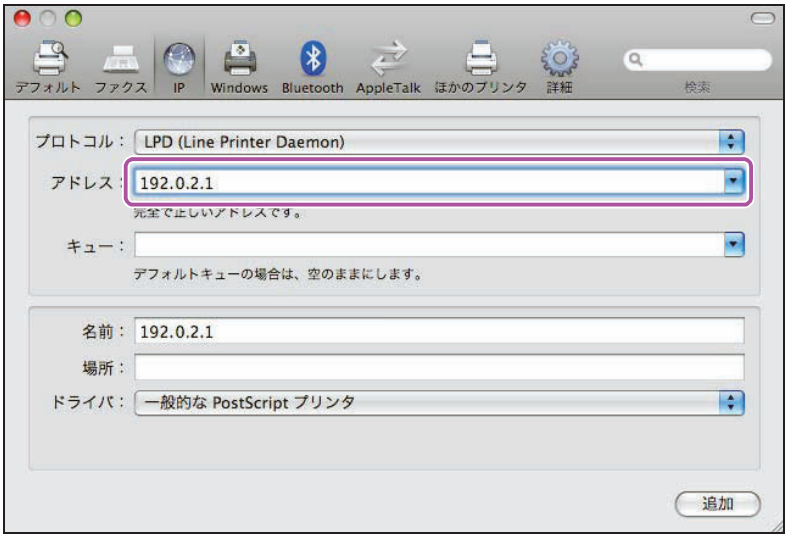
4 表示されたウィンドウにある［IP］をクリックします。



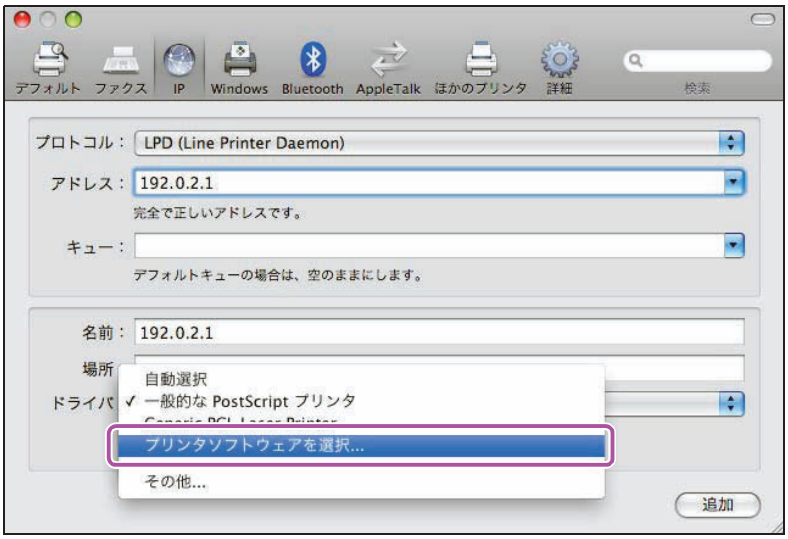
5 [プロトコル]プルダウンメニューで[LPD(Line Printer Daemon)]を選択します。



6 [アドレス]に、本機の IP アドレスを入力します。



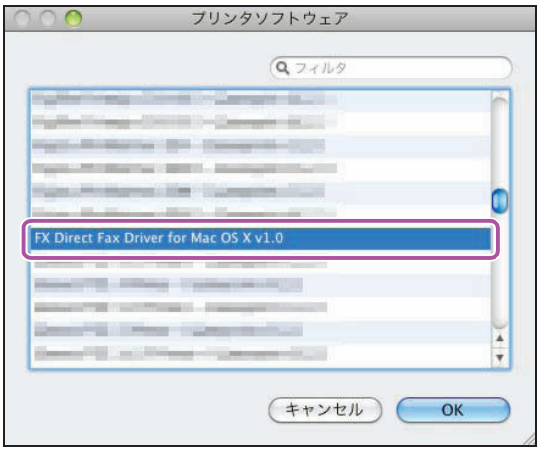
7 [ドライバ]から[プリンタソフトウェアを選択 ...]を選択します。



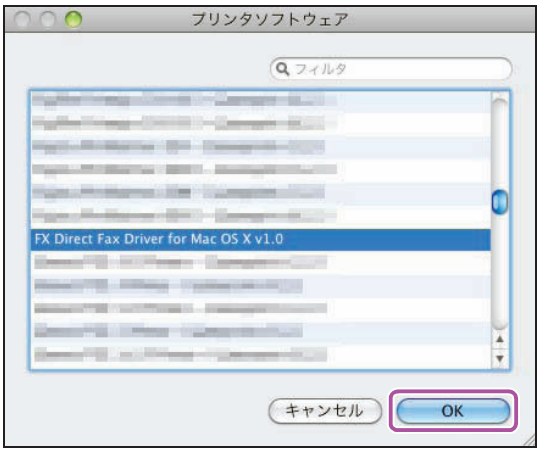
8 表示されたドライバの一覧から、「FX Direct Fax Driver for Mac OS X vX.X」を選択します。

補足

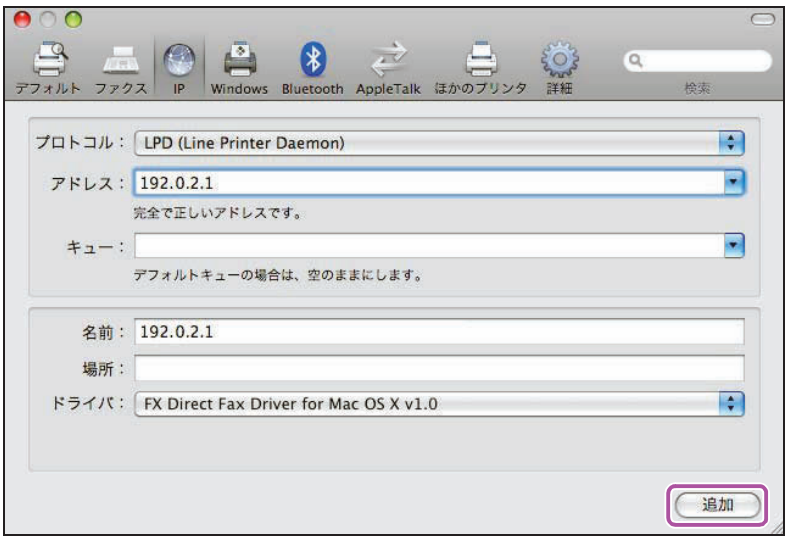
- 「X.X」は、バージョンを表します。



9 ［OK］をクリックします。

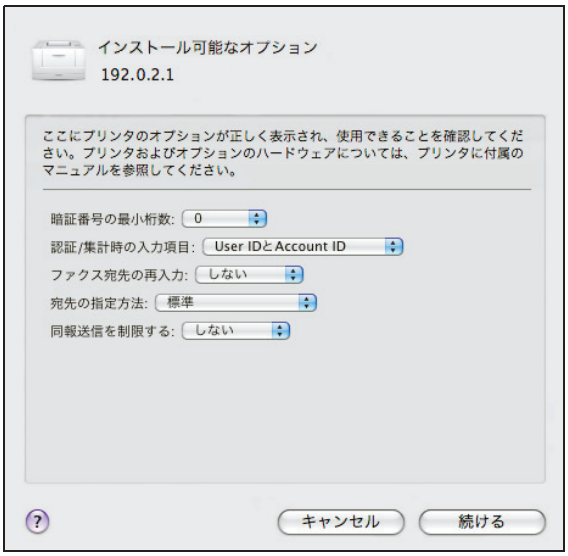


10 ［追加］をクリックします。

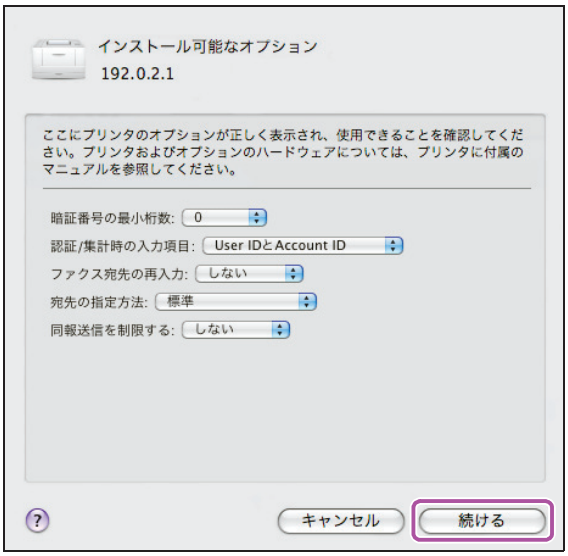


11 ［インストール可能なオプション］ウィンドウで、オプションの設定をします。

オプションの設定は、インストール後でも変更できます。



12 ［続ける］をクリックします。



コンピューターからファクス送信する

1 ファクス送信する文書を表示します。

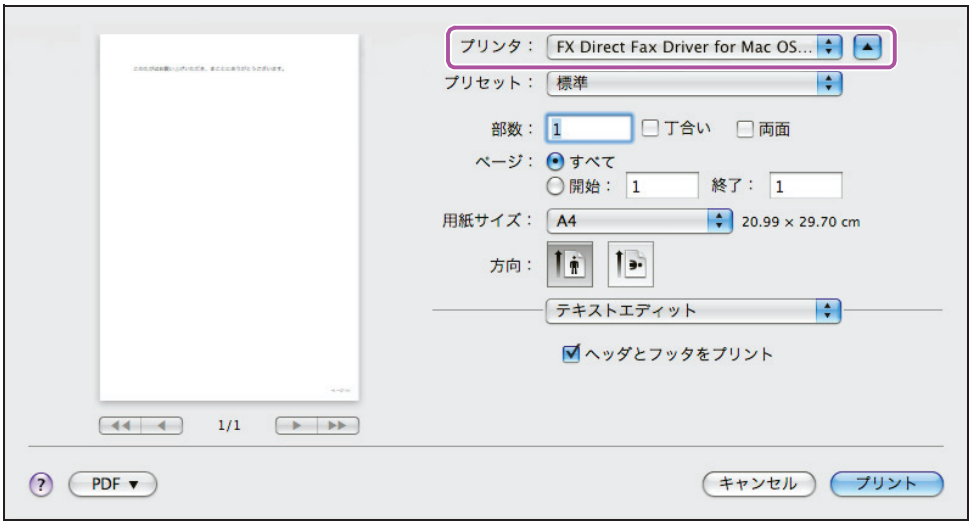
2 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

補足

- アプリケーションソフトウエアによっては、メニューの呼びかたが異なることがあります。

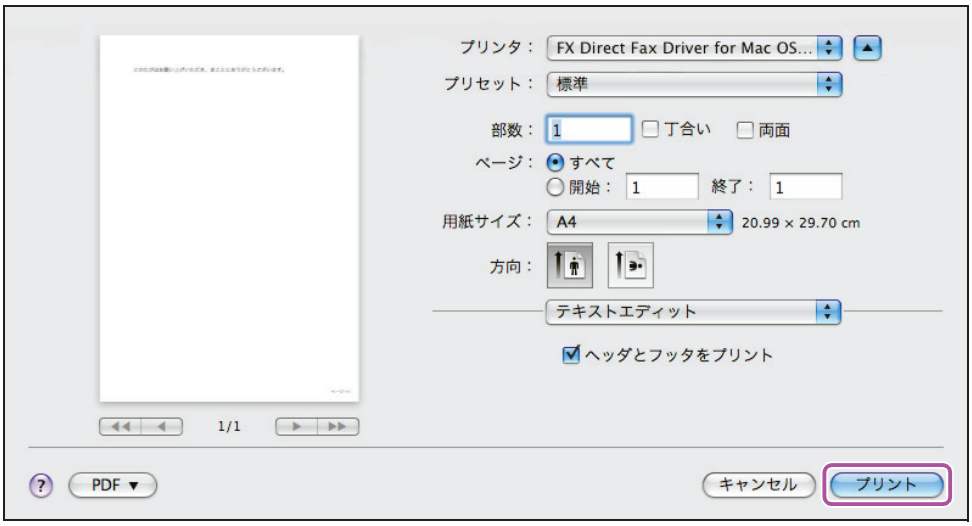
3 ［プリンタ］で本機を選択します。

必要に応じて、各設定を変更します。

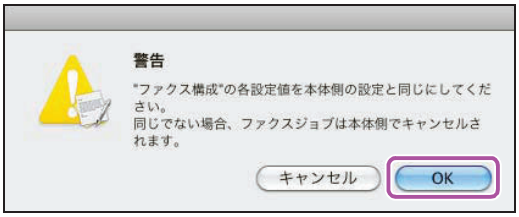


4 ［プリント］をクリックします。

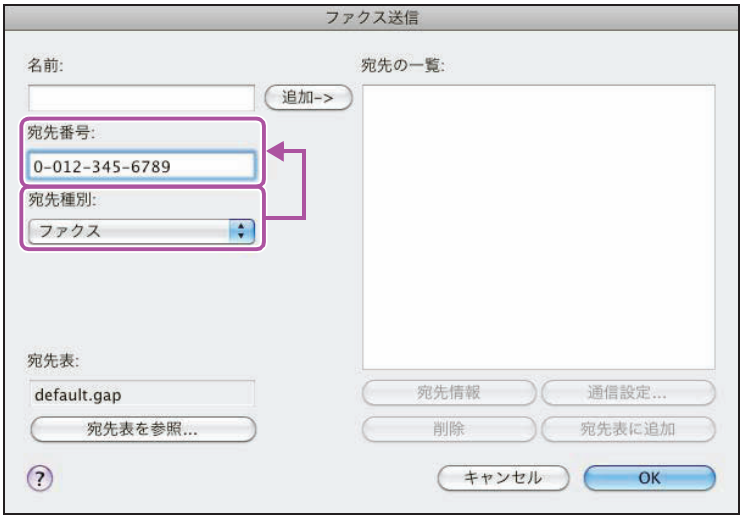
お使いのアプリケーションによって、表示される内容が異なります。



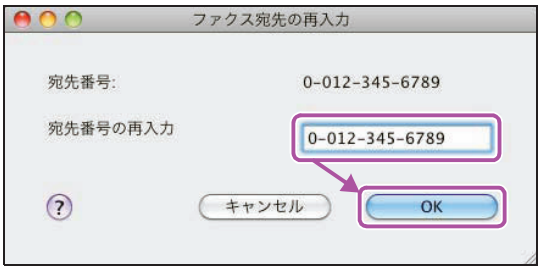
5 ［OK］をクリックします。



6 ［宛先種別］で［ファクス］を選択し、送信先のファクス番号を入力します。



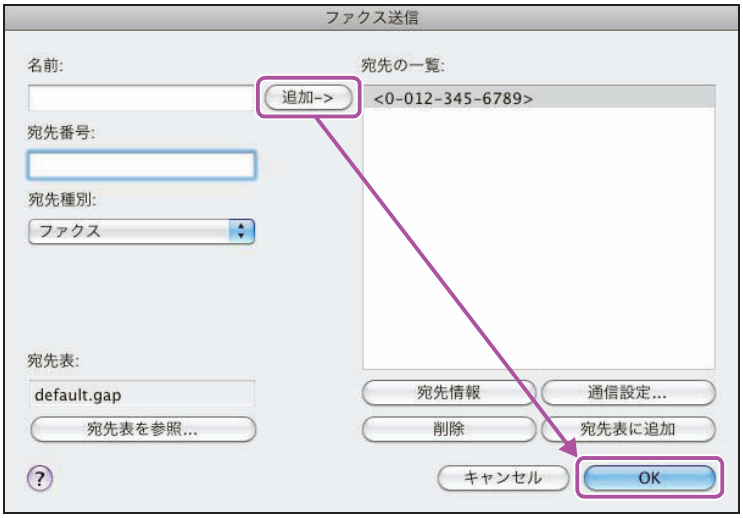
7 ［ファクス宛先の再入力］ダイアログボックスが表示された場合、送信先に指定した宛先を再入力し、［OK］をクリックします。



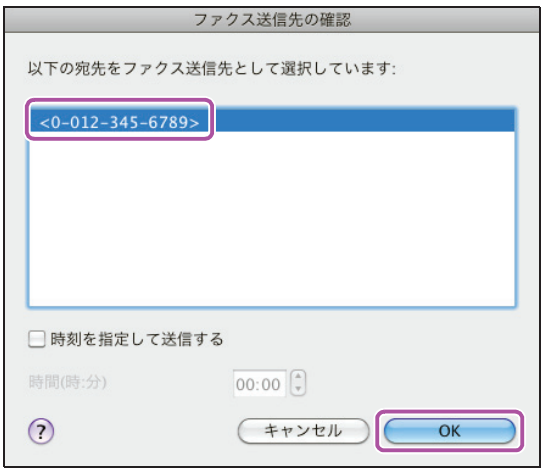
補足

- ［プリントとファクス］ウィンドウの［オプションとサプライ ...］で［ファクス宛先の再入力］を［する］に設定している場合、表示されます。

8 ［追加］をクリックし、［OK］をクリックします。



9 送信先のファクス番号を確認し、［OK］をクリックします。



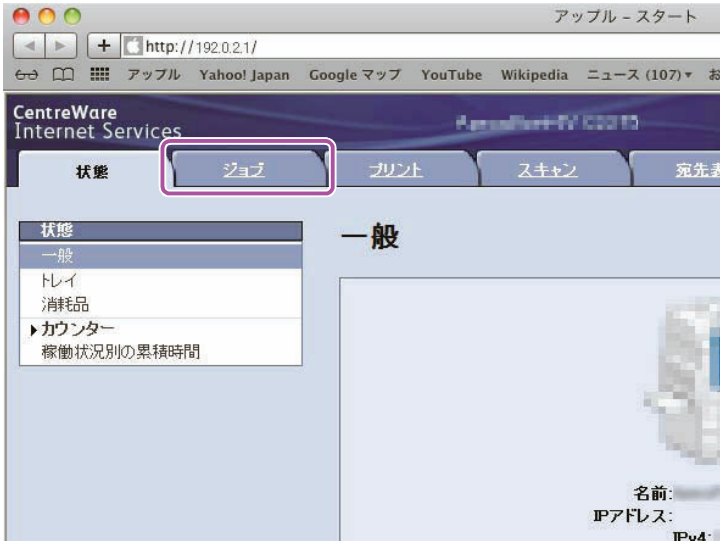
コンピューターでファクス送信できたか確認する

1 Safari（Web ブラウザー）で、「http://（本機の IP アドレス）」を入力し、〈Enter〉キーを押します。

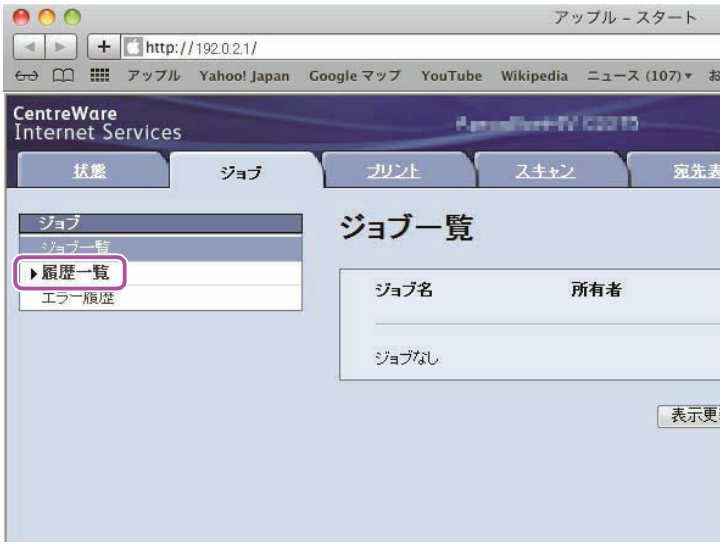
例：http://192.0.2.1
└本機の IP アドレス



2 ［ジョブ］タブをクリックします。

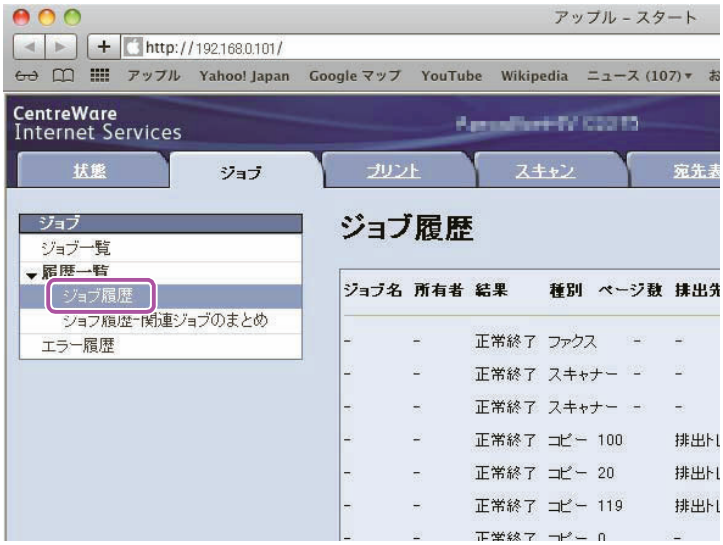


3 ［▶履歴一覧］をクリックします。



4 ［ジョブ履歴］をクリックし、送信した文書の結果を確認します。

ジョブは新しいものから順に表示されます。



ファクス受信した文書を、ジョブフローを使ってコンピューターに振り分ける（ペーパーレスファクス受信）オプション

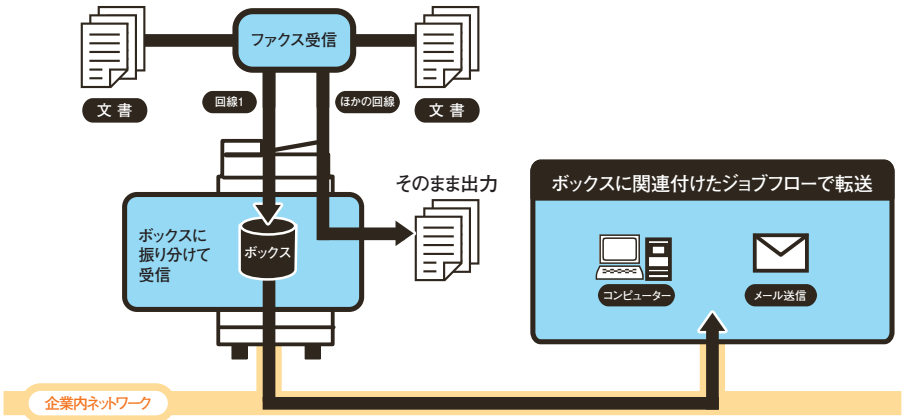
ペーパーレスファクス受信とは、ファクス受信した文書を任意のコンピューターに転送したり、メールに添付して送信したりする自動処理を組み合わせた機能のことです。

また、電話回線ごとに振り分けてファクス受信できるため、必要な文書だけを閲覧することもできます。

用紙にプリントしないため、資源を節約し、情報漏えいの危険を減らすことができます。

補足

- ファクス機能は、お使いの機種によっては利用できません。利用するにはオプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。



次の流れで設定します。

- 「ジョブフローを登録する」(P.57)
- 「ボックスを登録し、ジョブフローと関連付ける」(P.63)
- 「ボックスを電話回線で振り分け設定する」(P.65)
- 「受信レポートをプリントしないように設定する」(P.68)
- 「コンピューターでファクス受信できたか確認する」(P.69)

ここでは、受信文書の転送先に関する次の情報が必要です。

- 転送先のコンピューター名
- 転送先のコンピューターの IP アドレス
- 転送先のコンピューターに作成した共有フォルダーの名前
- Windows にログオンするためのユーザー名
- Windows にログオンするためのパスワード
- 通知先のメールアドレス

ジョブフローを登録する

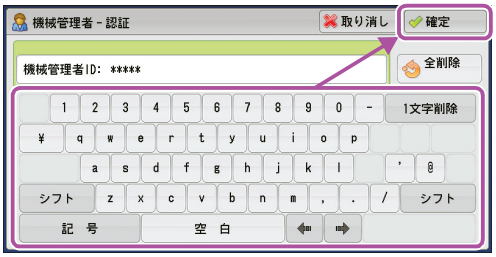
ここでは、ジョブフローに名前を付け、ファクス受信した文書をコンピューターの共有フォルダーに転送するジョブ（SMB 転送）と、ジョブフローの実行結果をメールで通知するジョブ（メール通知）をジョブフローに登録します。

ジョブフローに名前を付ける

1 〈認証〉ボタンを押します。



2 機械管理者 ID を入力し、［確定］を押します。



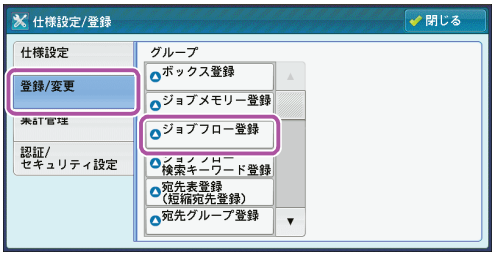
補足

- 機械管理者 ID およびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。
- 認証中は、〈認証〉ボタンが点灯します。

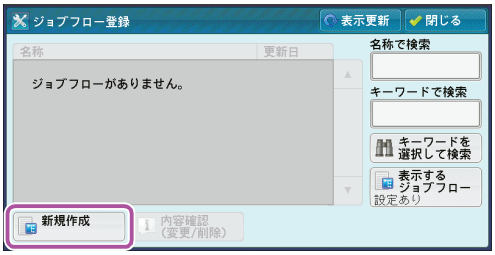
3 ［仕様設定 / 登録］を押します。



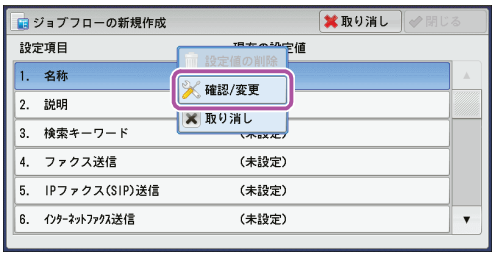
4 ［登録 / 変更］>［ジョブフロー登録］を選択します。



5 ［新規作成］を押します。



6 ［名称］を選択し、ポップアップメニューの［確認 / 変更］を押します。

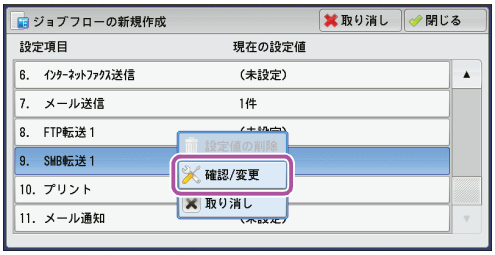


7 登録するジョブフロー名を入力し、［決定］を押します。

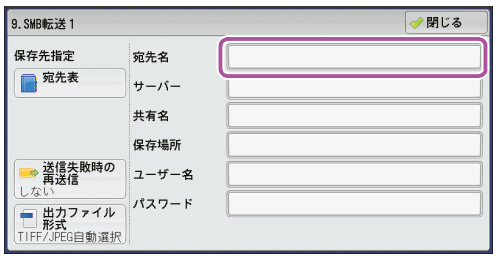


一つめのジョブフロー（SMB 転送）を登録する

8 ［SMB 転送 1］を選択し、ポップアップメニューの［確認 / 変更］を押します。



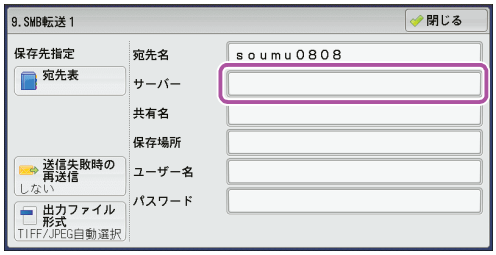
9 ［宛先名］を選択します。



10 転送先のコンピューター名を入力し、［決定］を押します。



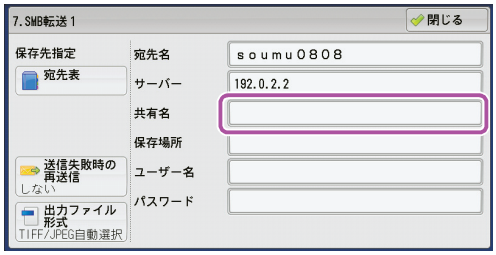
11 ［サーバー］を選択します。



12 コンピューターの IP アドレスを入力し、［決定］を押します。



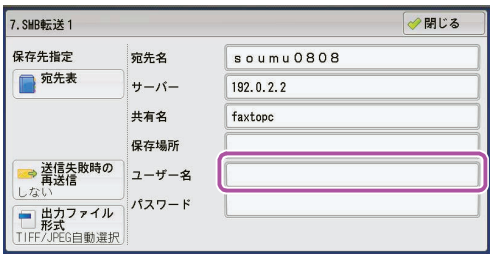
13 ［共有名］を選択します。



14 コンピューターに作成した共有フォルダーの名前を入力し、［決定］を押します。



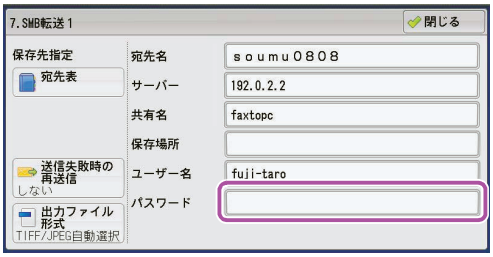
15 ［ユーザー名］を選択します。



16 共有フォルダーにアクセスするための、ユーザー名を入力し、［決定］を押します。



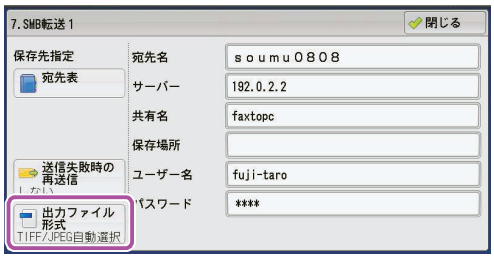
17 ［パスワード］を選択します。



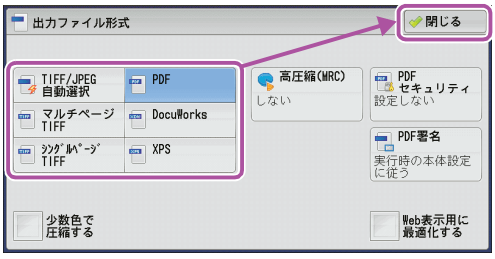
18 共有フォルダーにアクセスするための、パスワードを入力し、［決定］を押します。



19 ［出力ファイル形式］を押します。

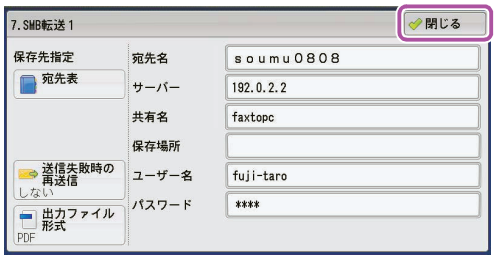


20 任意の出力ファイル形式を選択し、［閉じる］を押します。



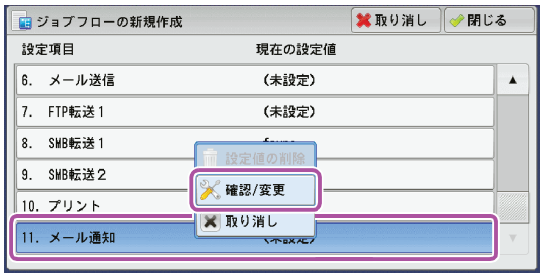
「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。

21 ［閉じる］を押します。



二つめのジョブフロー（メール通知）を登録する

22 ［メール通知］を選択し、ポップアップメニューの［確認 / 変更］を押します。



23 ［新規通知先］を押します。



補足

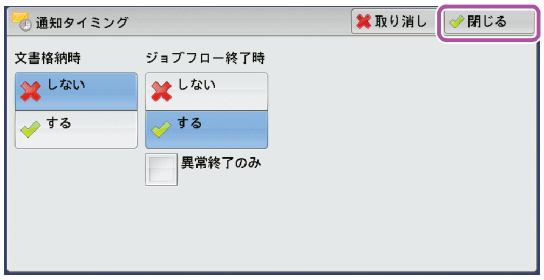
- 宛先表に登録されているアドレスを指定する場合は、［宛先表］を押して宛先を選択します。

24 表示されたキーボードで、通知先のメールアドレスを入力し、［決定］を押します。

25 ［通知タイミング］を押します。



26 メール通知を行うタイミングを選択し、［閉じる］を押します。



27 メニュー画面が表示されるまで、繰り返し［閉じる］を押します。

28 〈認証〉ボタンを押します。

認証が解除されて、〈認証〉ボタンが消灯していることを確認します。



ボックスを登録し、ジョブフローと関連付ける

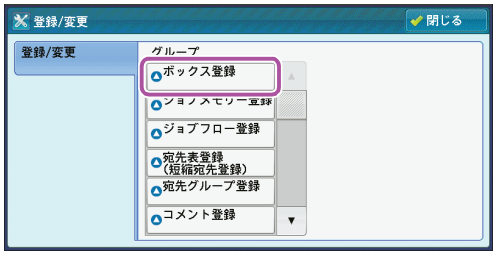
ボックスを登録する

1 ［登録 / 変更］を押します。

本機が機械管理者で認証されているときは、［仕様設定 / 登録］を押してください。



2 ［ボックス登録］を押します。

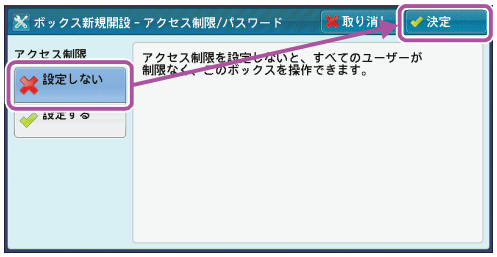


3 任意の［(未登録)］を選択します。

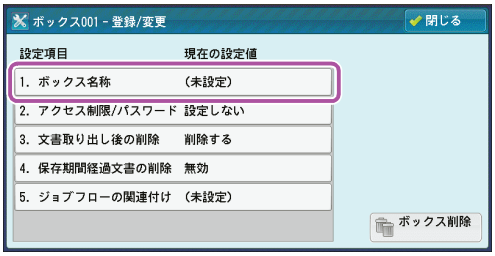


4 ［設定しない］を選択し、［決定］を押します。

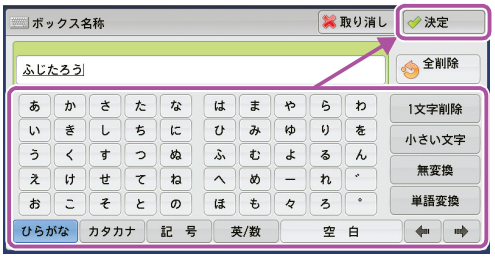
アクセス制限を設定する場合は、パスワードと［制限する操作］を設定します。



5 ［ボックス名称］を押します。

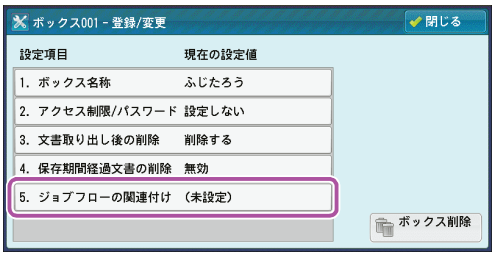


6 登録するボックス名を入力し、［決定］を押します。

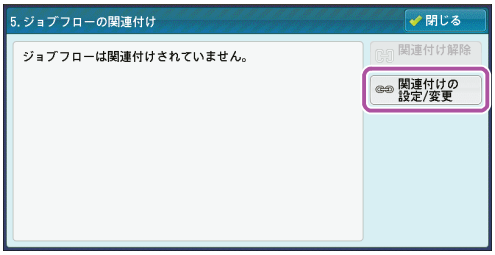


ジョブフローと関連付ける

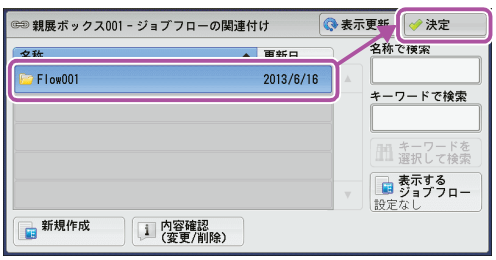
7 ［ジョブフローの関連付け］を押します。



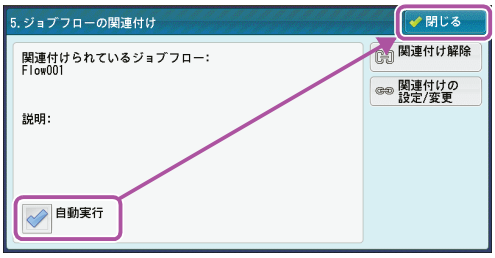
8 ［関連付けの設定 / 変更］を押します。



9 「ジョブフローを登録する」(P.57) で登録したジョブフローを選択し、［決定］を押します。



10 ［自動実行］を選択し、［閉じる］を押します。



11 メニュー画面が表示されるまで、繰り返し［閉じる］を押します。

ボックスを電話回線で振り分け設定する

1 〈認証〉ボタンを押します。



2 機械管理者 ID を入力し、［確定］を押します。



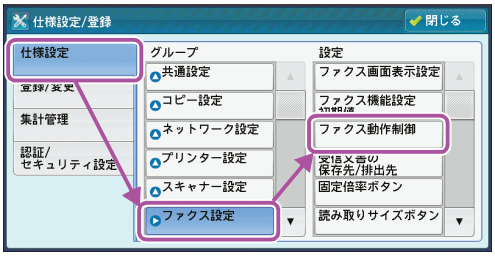
補足

- 機械管理者 ID およびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。
- 認証中は、〈認証〉ボタンが点灯します。

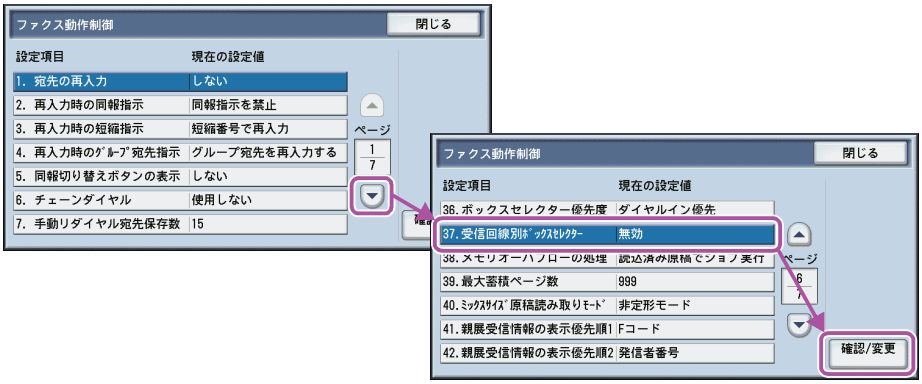
3 ［仕様設定 / 登録］を押します。



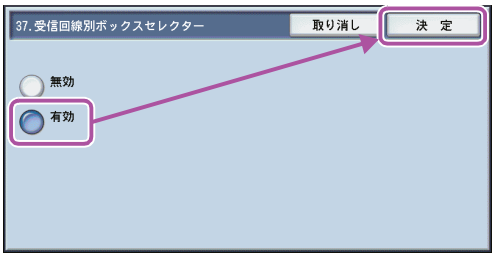
4 [仕様設定] > [ファクス設定] > [ファクス動作制御] を選択します。



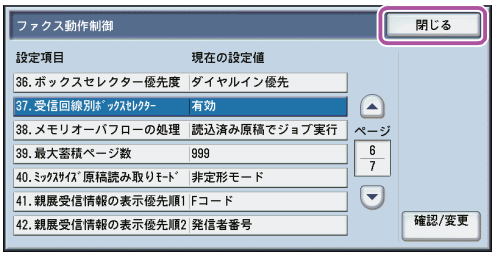
5 を繰り返し押し、[受信回線別ボックスセレクター] を選択し、[確認 / 変更] を押します。



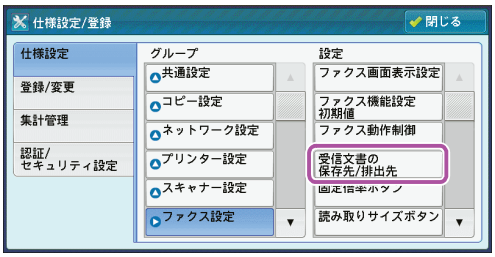
6 [有効] を選択し、[決定] を押します。



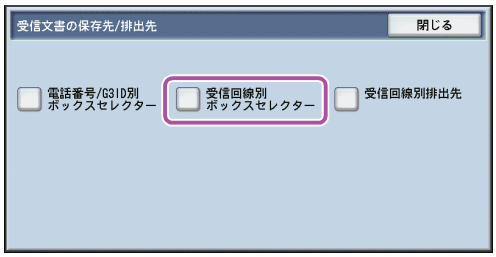
7 [閉じる] を押します。



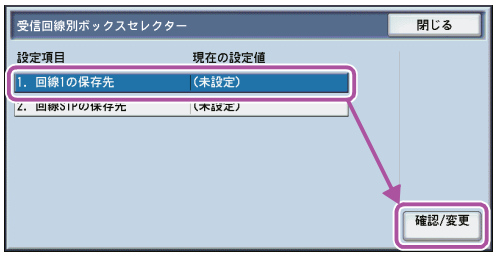
8 [受信文書の保存先 / 排出先] を選択します。



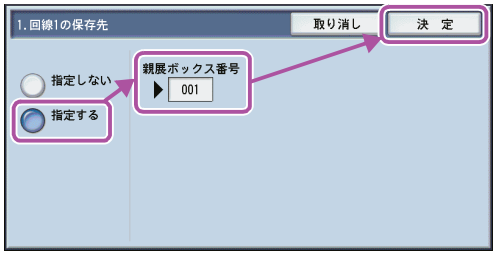
9 ［受信回線別ボックスセレクター］を選択します。



10 ［回線 1 の保存先］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



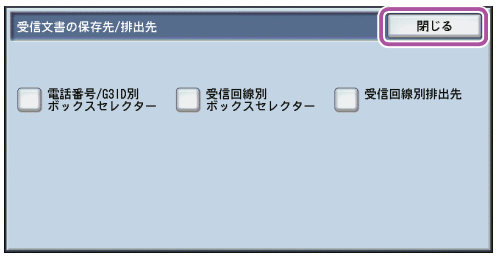
11 ［指定する］を選択し、操作パネルの〈数字〉ボタンで、「ボックスを登録し、ジョブフローと関連付ける」(P.63) で登録したボックス番号を入力して、［決定］を押します。



12 ［閉じる］を押します。

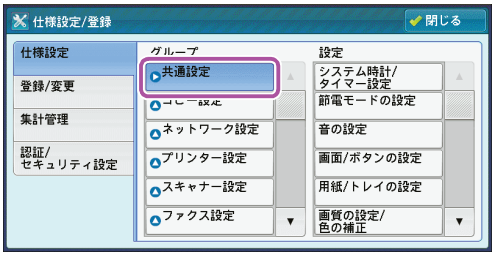


13 ［閉じる］を押します。

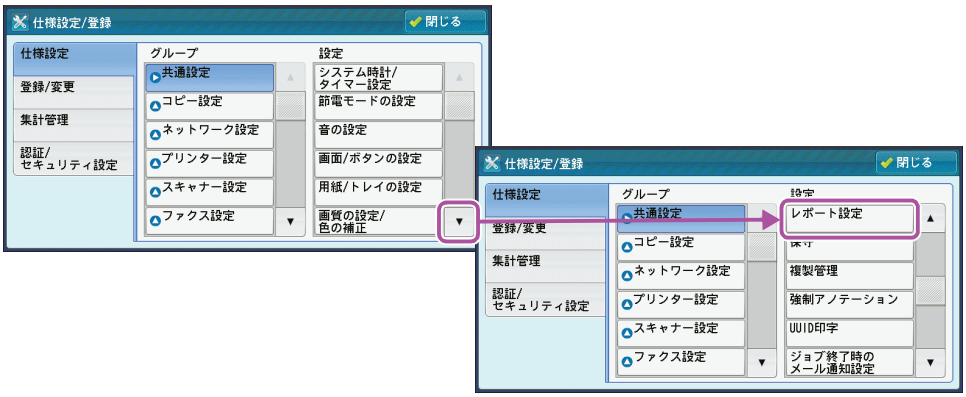


受信レポートをプリントしないように設定する

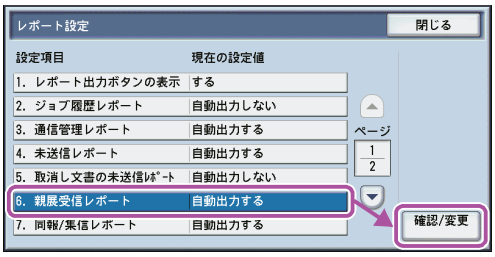
1 ［共通設定］を選択します。



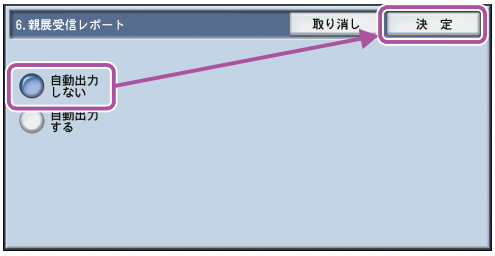
2 ▼ を押し、［レポート設定］を選択します。



3 ［親展受信レポート］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



4 ［自動出力しない］を選択し、［決定］を押します。



5 メニュー画面が表示されるまで、繰り返し［閉じる］を押します。

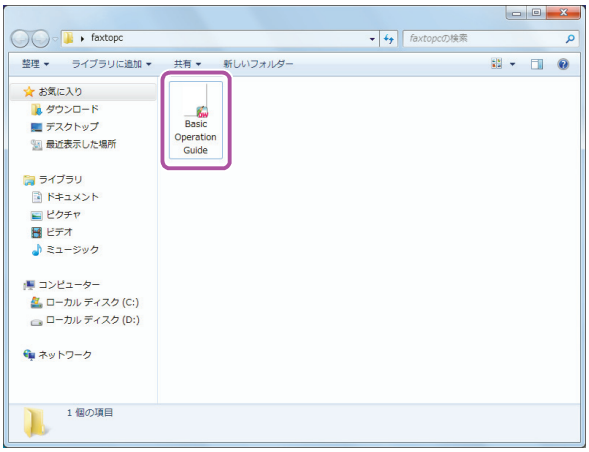
6 〈認証〉ボタンを押します。

認証が解除されて、〈認証〉ボタンが消灯していることを確認します。



コンピューターでファクス受信できたか確認する

1 ファクス文書が転送されたことを通知するメールを受信したら、ジョブフローで登録した共有フォルダーを確認し、文書があることを確認します。



インターネットでファクス送受信する（インターネットファクスダイレクト）オプション

インターネットファクスダイレクトとは、電話回線を経由するファクス通信とは異なり、企業内ネットワークを利用して、SMTP サーバーを経由せずに送受信する機能です。

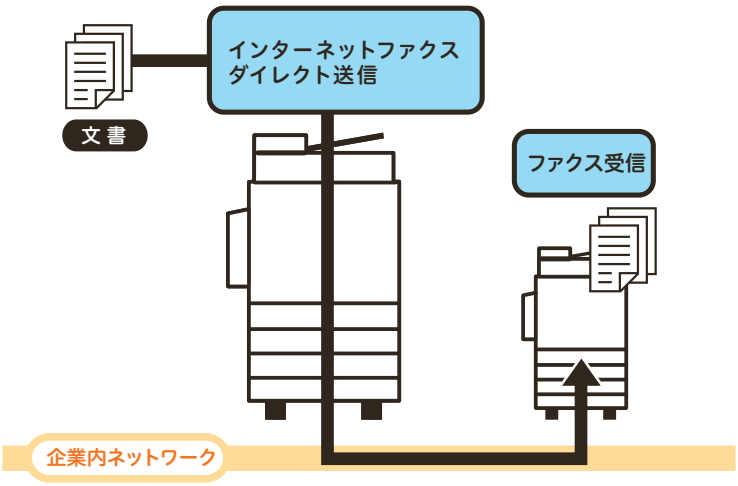
ファイアウォールを越えない企業内ネットワークを利用した通信のため、情報漏えいの危険を減らすことができます。また、メールサーバーを介さないため、リアルタイムな通信が実現できます。

注記

- インターネットファクスに対応した機器同士で利用できます。
  インターネットファクスとインターネットファクスダイレクトは、両方を有効にはできません。切り替えについては、機械管理者に確認してください。

補足

- ファクス機能は、お使いの機種によっては利用できません。利用するにはオプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。



次の流れで設定します。

- 「本機を設定する」(P.71)
- 「インターネットファクスダイレクトでファクス送信する」(P.79)
- 「ファクス送信できたか確認する」(P.81)

ここでは、次の情報が必要です。

- 本機の IP アドレス
- 本機のメールアドレス

本機を設定する

インターネットファクスの送信経路を設定する

1 〈認証〉ボタンを押します。



2 機械管理者 ID を入力し、［確定］を押します。



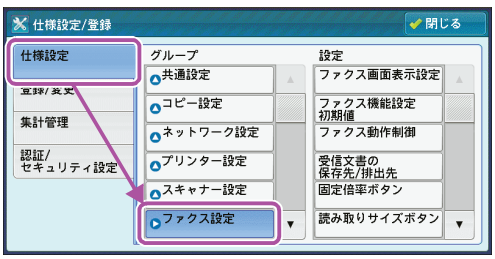
補足

- 機械管理者 ID およびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。
- 認証中は、〈認証〉ボタンが点灯します。

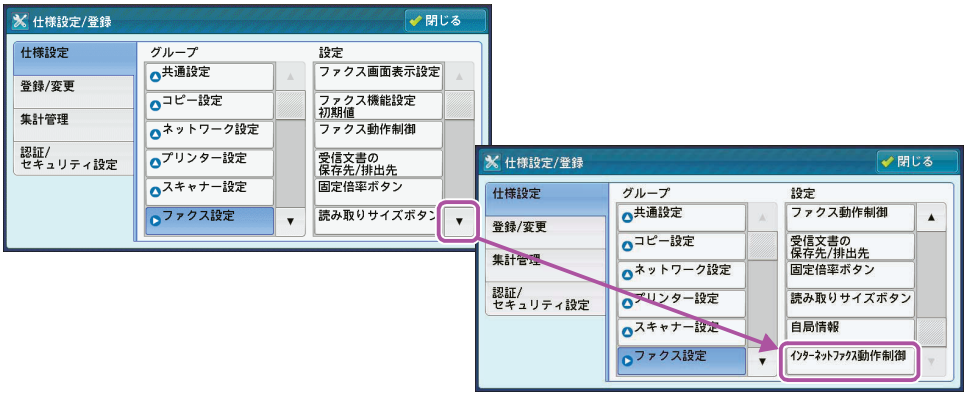
3 ［仕様設定 / 登録］を押します。



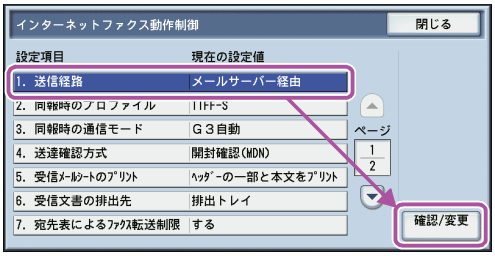
4 ［仕様設定］>［ファクス設定］を選択します。



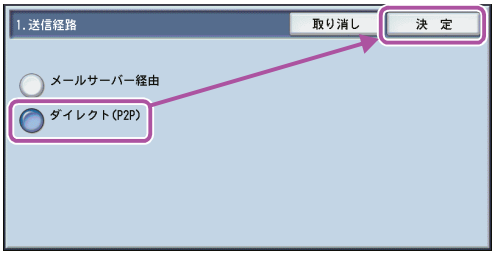
5 ▼ を押し、［インターネットファクス動作制御］を選択します。



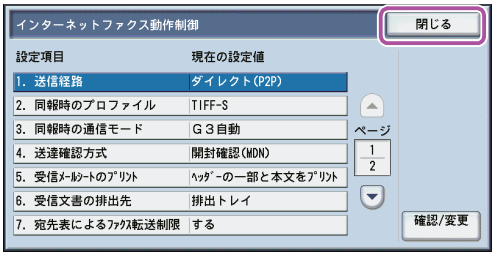
6 ［送信経路］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



7 ［ダイレクト（P2P)］を選択し、［決定］を押します。

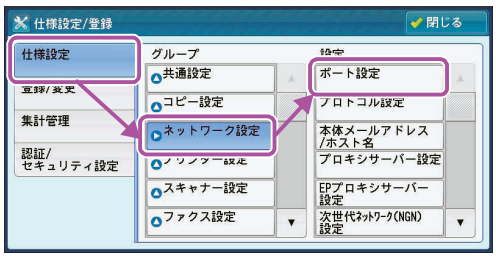


8 ［閉じる］を押します。

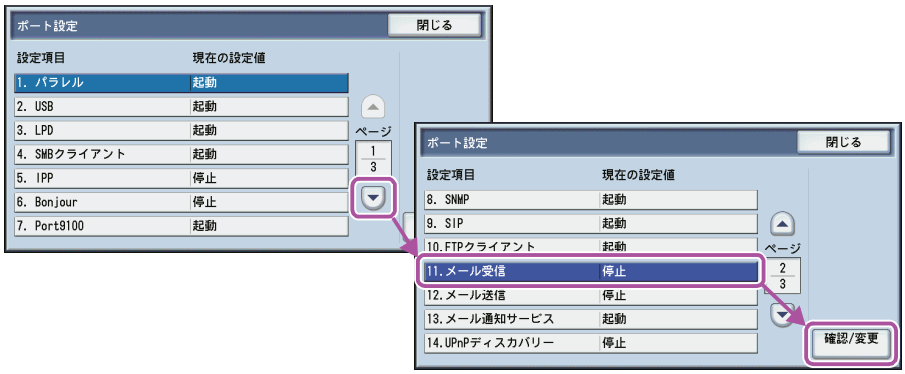


メール受信 / メール送信のポートを起動する

9 ［ネットワーク設定］>［ポート設定］を選択します。



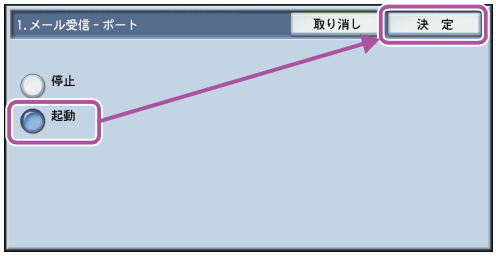
10 ▼ を押し、［メール受信］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



11 ［確認 / 変更］を押します。



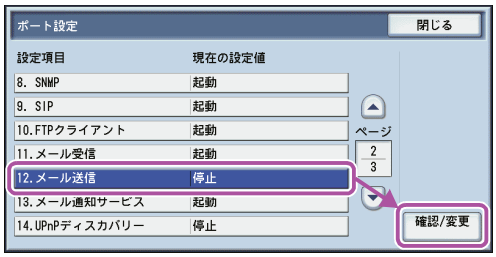
12 ［起動］を選択し、［決定］を押します。



13 ［閉じる］を押します。



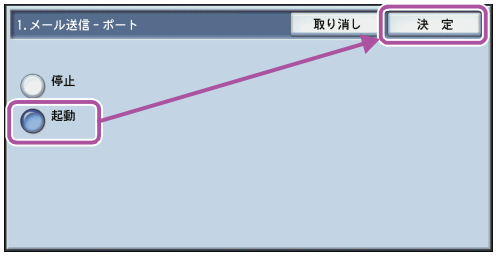
14 ［メール送信］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



15 ［確認 / 変更］を押します。



16 ［起動］を選択し、［決定］を押します。



17 ［閉じる］を押します。

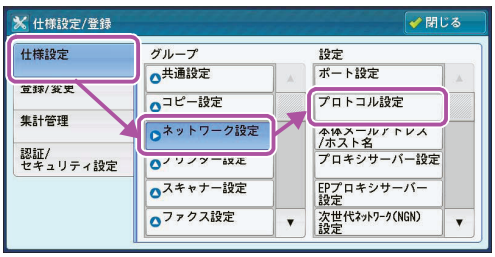


18 ［閉じる］を押します。

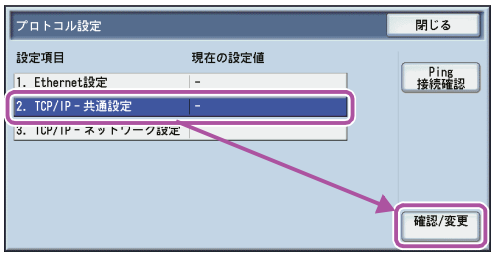


TCP/IP、IP アドレスを設定する

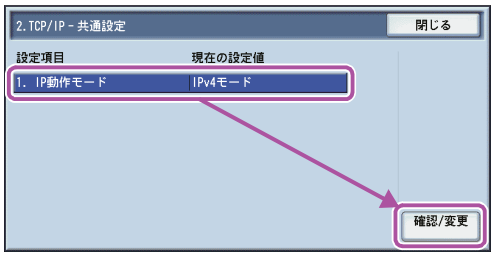
19 ［仕様設定］>［ネットワーク設定］>［プロトコル設定］を選択します。
すでに IP アドレスが設定されている場合は、手順 29 に進んでください。



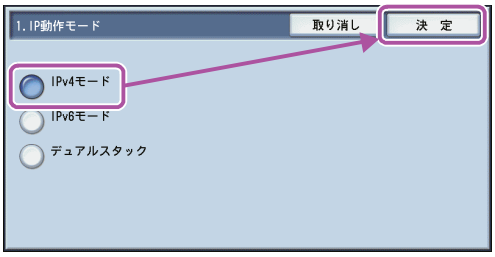
20 ［TCP/IP- 共通設定］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



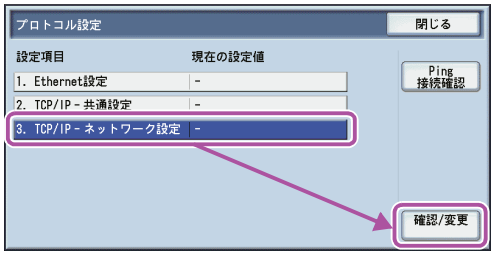
21 ［IP 動作モード］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



22 ［IPv4 モード］を選択し、［決定］を押します。
お使いの企業内ネットワークが IPv6 環境を含む場合は、［デュアルスタック］を選択してください。



23 ［TCP/IP- ネットワーク設定］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



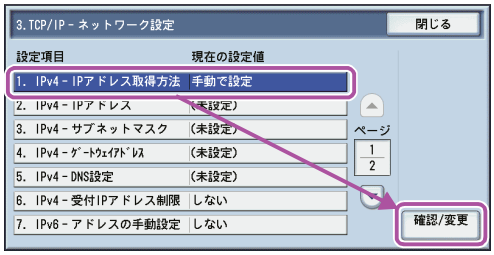
注記

- セカンダリーイーサネット（オプション）を装着している場合、Ethernet インターフェースが 2 回線利用できるようになり、本設定の項目名は［TCP/IP 設定（Ethernet1）］、および［TCP/IP 設定（Ethernet2）］が表示されます。IP アドレスを設定するときは、［TCP/IP 設定（Ethernet1）］を選択してください。詳しくは、『管理者ガイド』の「5 仕様設定」>「ネットワーク設定」>「プロトコル設定」を参照してください。

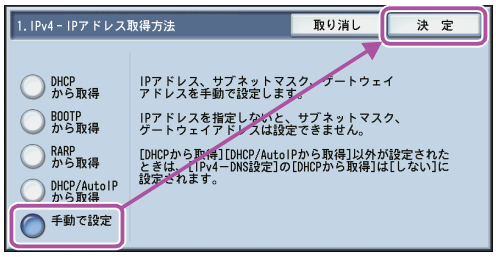
補足

- 本設定の項目名はEthernetインターフェースが1回線のとき［TCP/IP-ネットワーク設定］のみ表示されます。

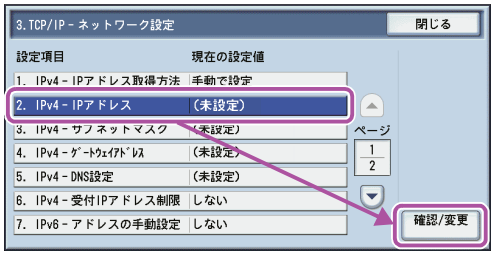
24 ［IPv4-IP アドレス取得方法］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



25 ［手動で設定］を選択し、［決定］を押します。



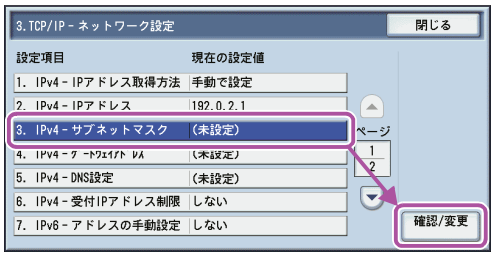
26 ［IPv4-IP アドレス］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



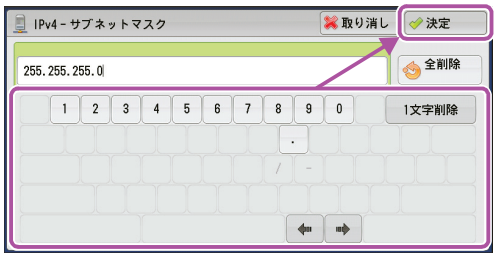
27 本機の IP アドレスを入力し、［決定］を押します。



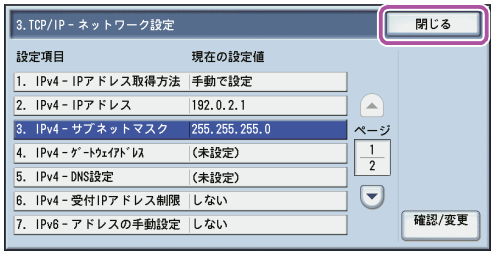
28 ［IPv4- サブネットマスク］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



29 サブネットマスクを入力し、［決定］を押します。



30 ［閉じる］を選択します。

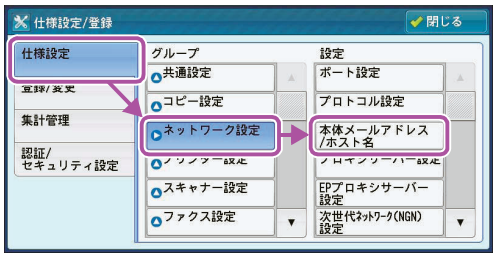


注記

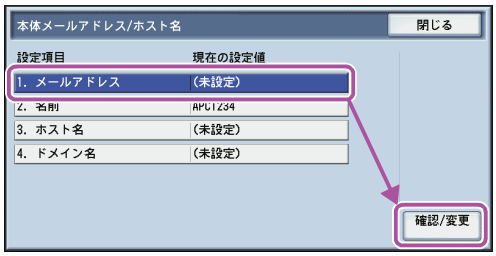
- ゲートウェイサーバーを利用している場合は、［IPv4- ゲートウェイアドレス］も設定してください。

インターネットファクスダイレクト受信用のアドレスを設定する

31 ［本体メールアドレス / ホスト名］を選択します。



32 ［メールアドレス］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



33 受信用のメールアドレスを入力し、［決定］を押します。

ここでは、本機の IP アドレスを使った指定例を示します。本体メールアドレスの指定方法について、詳しくは、機械管理者に確認してください。

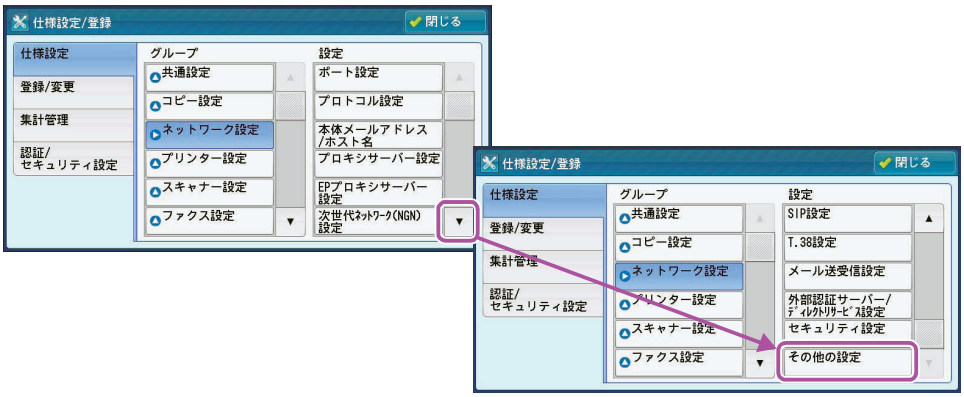


34 ［閉じる］を押します。

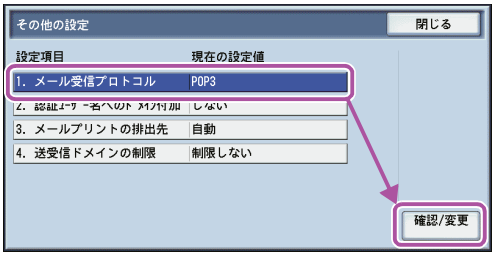


メールの受信プロトコルを設定する

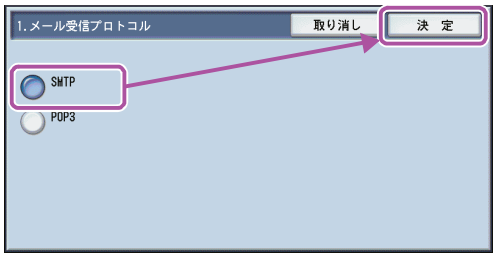
35 ▼ を繰り返し押し、［その他の設定］を選択します。



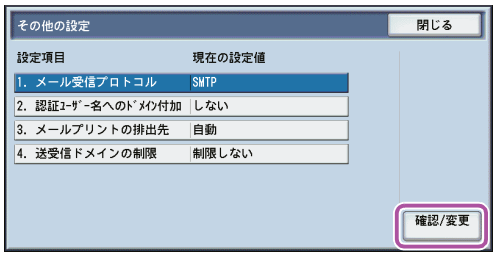
36 ［メール受信プロトコル］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



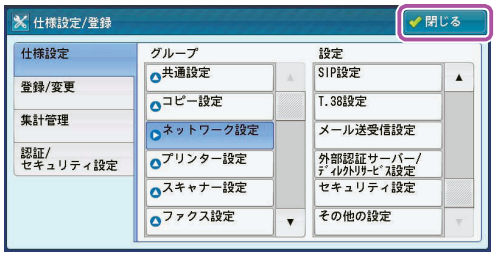
37 ［SMTP］を選択し、［決定］を押します。



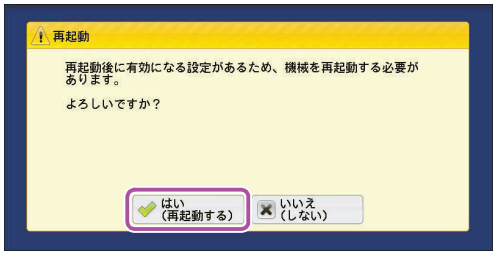
38 ［閉じる］を押します。



39 ［閉じる］を押します。

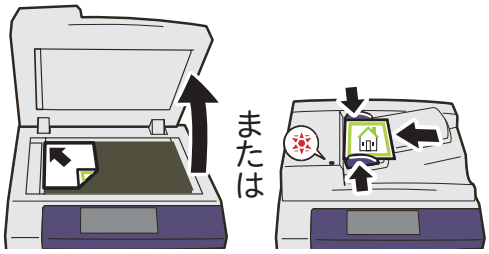


40 ［はい（再起動する）］を選択します。



インターネットファクスダイレクトでファクス送信する

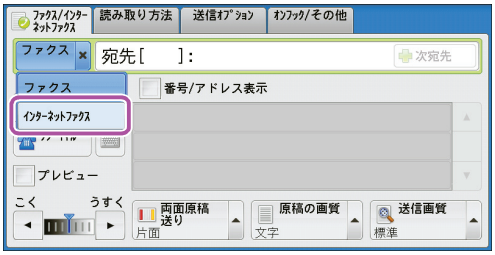
1 送信したい文書を本機にセットします。



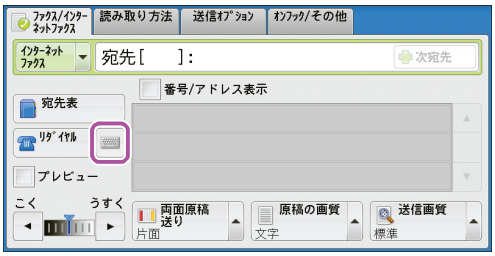
2 [ファクス / インターネットファクス] を押します。



3 [インターネットファクス] を選択します。

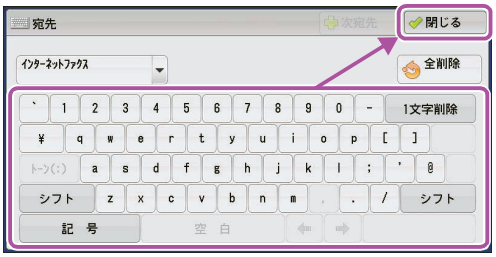


4 [キーボード] を押します。

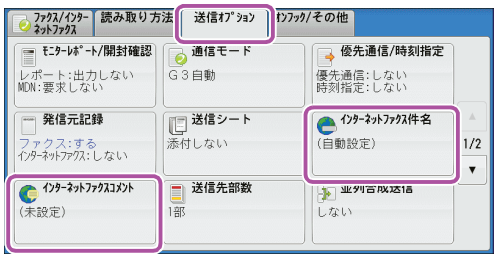


5 ファクス送信先のメールアドレスを入力し、[閉じる] を押します。

送信先の指定方法については、機械管理者に確認してください。

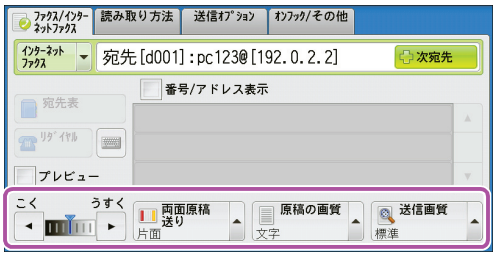


6 メールの件名や本文を指定する場合は、[送信オプション] タブの [インターネットファクス件名]、[インターネットファクスコメント] をそれぞれ選択し、設定します。



7 必要に応じて、[ファクス / インターネットファクス] タブの送信濃度、[両面原稿送り]、[原稿の画質]、[送信画質] などの項目を設定します。

一度に複数の宛先にファクス送信したいときは、[次宛先] を選択し、相手のメールアドレスを入力してください。



8 〈スタート〉ボタンを押します。

「宛先再入力」の設定をしているときは、再度、宛先を入力してください。



ファクス送信できたか確認する

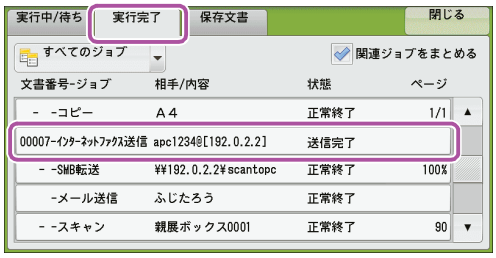
1 〈ジョブ確認〉ボタンを押します。



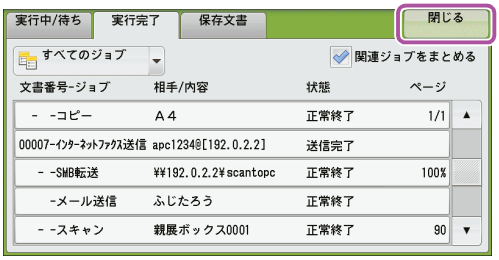
2 ［実行中 / 待ち］タブ、または［実行完了］タブを選択し、送信した文書の［状態］を確認します。

ファクス送信中は、画面に［ファクス送信中］画面が表示されることがあります。

送信完了まで、お待ちください。



3 ［閉じる］を選択します。



本機の宛先表を取り込み、ダイレクトファクスで利用する オプション

本機に登録されている宛先表データを「ファクス宛先表ツール」で読み込み、ダイレクトファクス用の宛先表として利用します。

補足

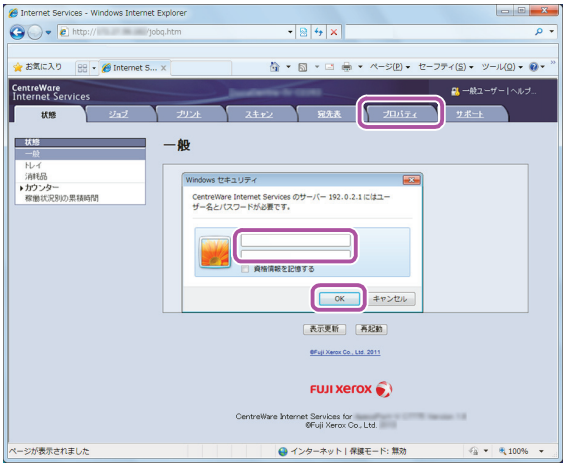
- ファクス機能は、お使いの機種によっては利用できません。利用するにはオプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。

本機に登録されている宛先表を取り出す

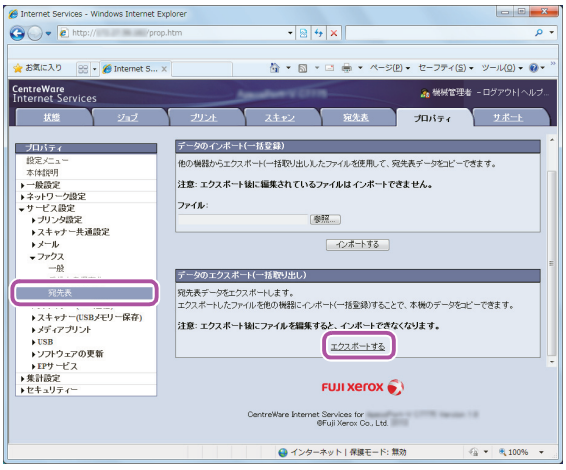
■ CentreWare Internet Services で、宛先表を CSV ファイルに保存する

1 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。

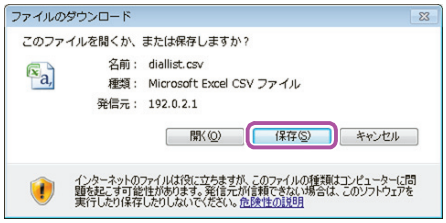
2 [プロパティ] タブを開き、機械管理者 ID とパスワードを入力して [OK] をクリックします。



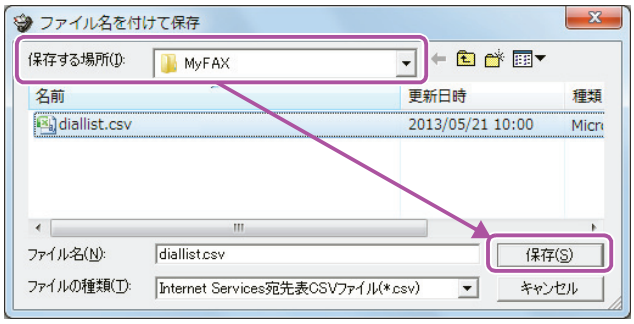
3 [サービス設定] > [ファクス] > [宛先表] を選択し、[データのエクスポート (一括取り出し)] の [エクスポートする] をクリックします。



4 ［保存］をクリックします。



5 ファイルの保存先を指定し、［保存］をクリックします。



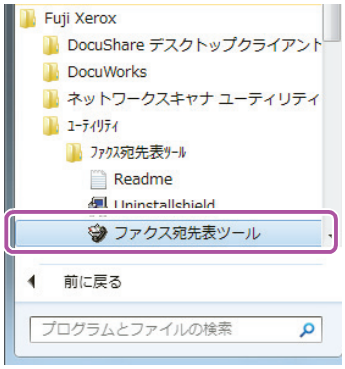
補足

- 保存したCSVファイルをMicrosoft Excelなどで開かないでください。ファクス宛先表ツールで正常に読み込めなくなります。宛先の編集をする場合は、次項に従い「ファクス宛先表ツール」で行ってください。

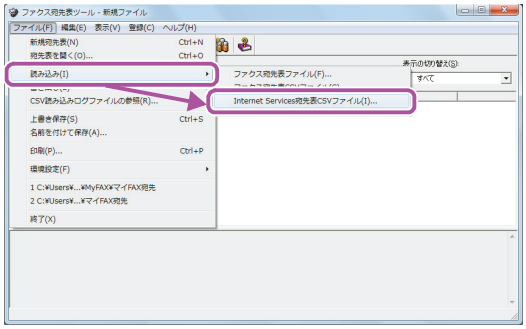
ファクス宛先表ツールの宛先表に保存する

■ ファクス宛先表ツールで、宛先表を読み込み保存する

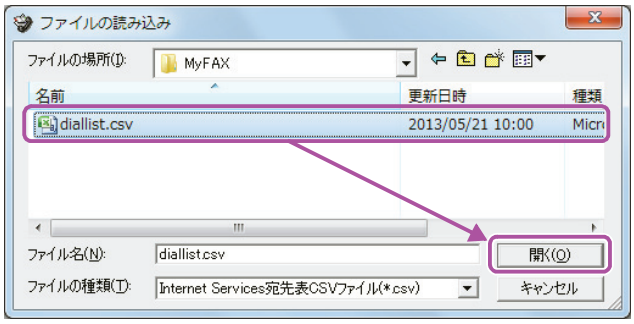
1 ファクス宛先表ツールを起動します。



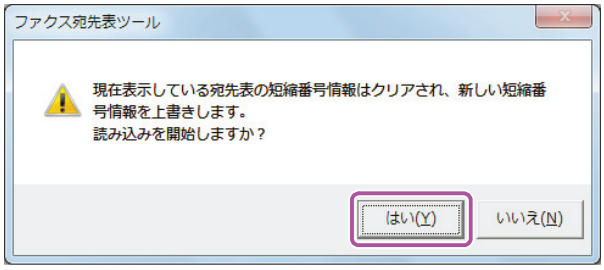
2 [ファイル] メニューから [読み込み] > [Internet Services 宛先表 CSV ファイル] を選択します。



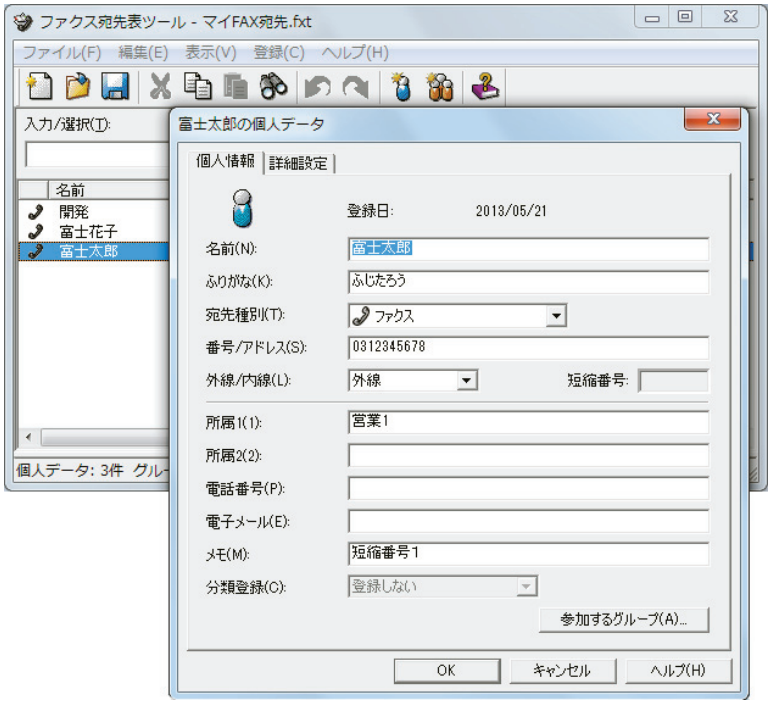
3 保存した CSV ファイルを選択し、[開く] をクリックします。



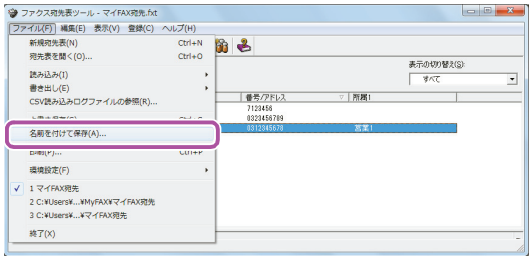
4 [はい] をクリックします。



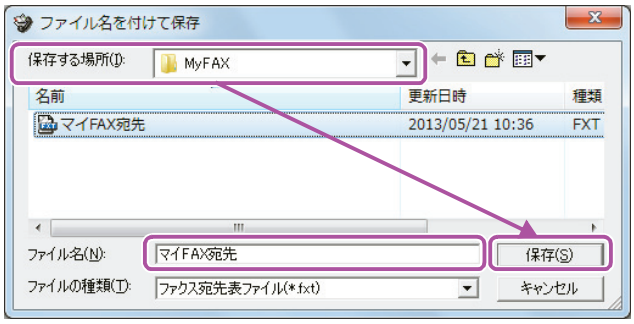
5 必要に応じて宛先を編集します。



6 ファイルメニューから［名前を付けて保存］を選択します。



7 保存先とファイル名を指定し、［保存］をクリックします。



＊保存される宛先表ファイルの拡張子は「.fxt」になります。

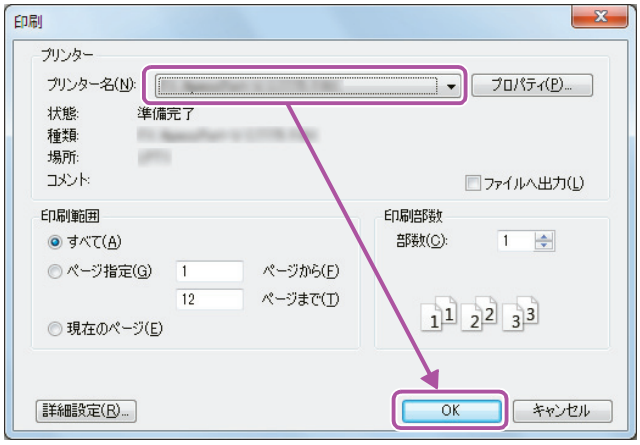
宛先表を参照してダイレクトファクスを送信する

1 アプリケーションでファクス送信したい文書を開き、[ファイル] メニューから印刷を選択します。

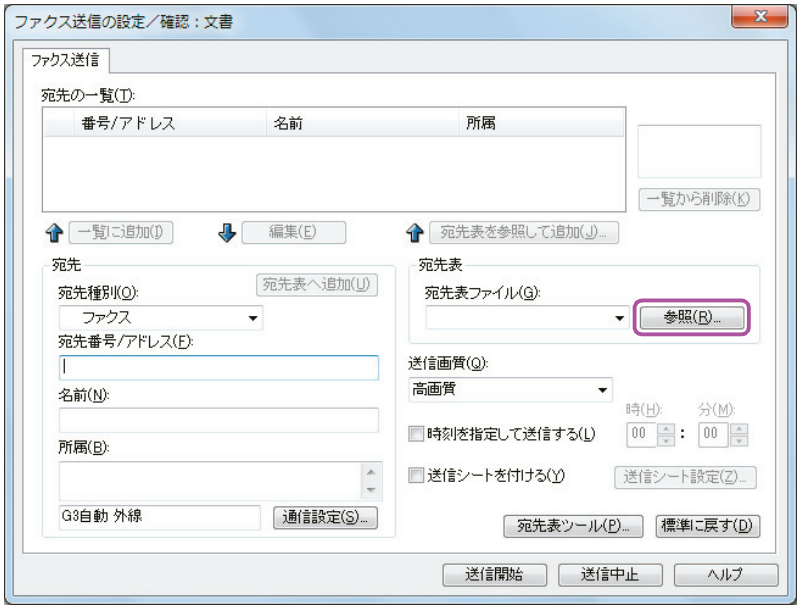
補足

- アプリケーションソフトウエアによっては、メニューの呼びかたが異なることがあります。

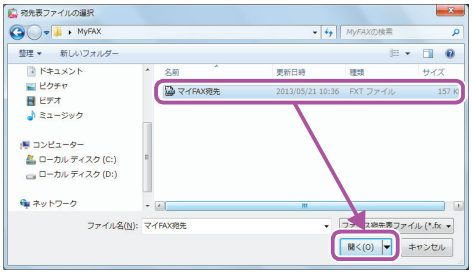
2 [プリンター名] から「ファクス送信用の標準ドライバーをインストールする」(P.32) でインストールした、ファクス送信用の標準ドライバーを選択し、[OK] をクリックします。



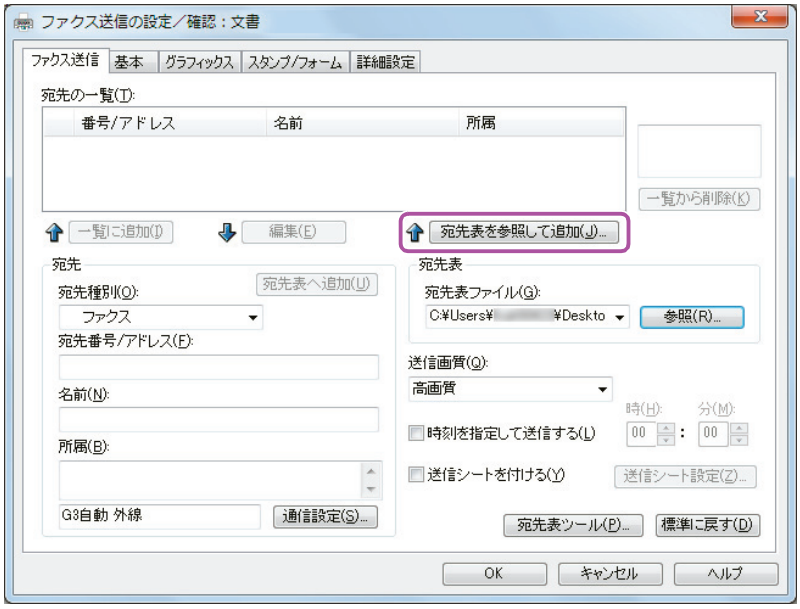
3 [宛先表ファイル] の [参照] をクリックします。



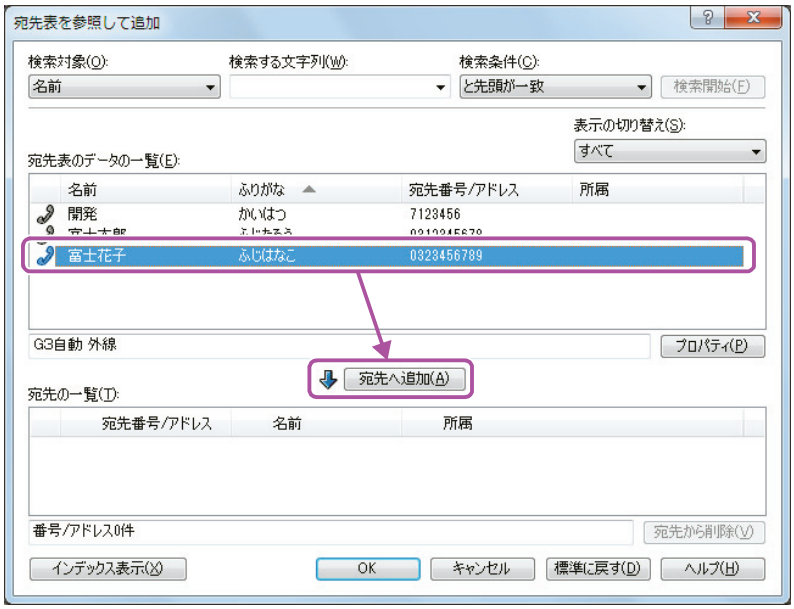
4 保存した宛先表を選択し、［開く］をクリックします。



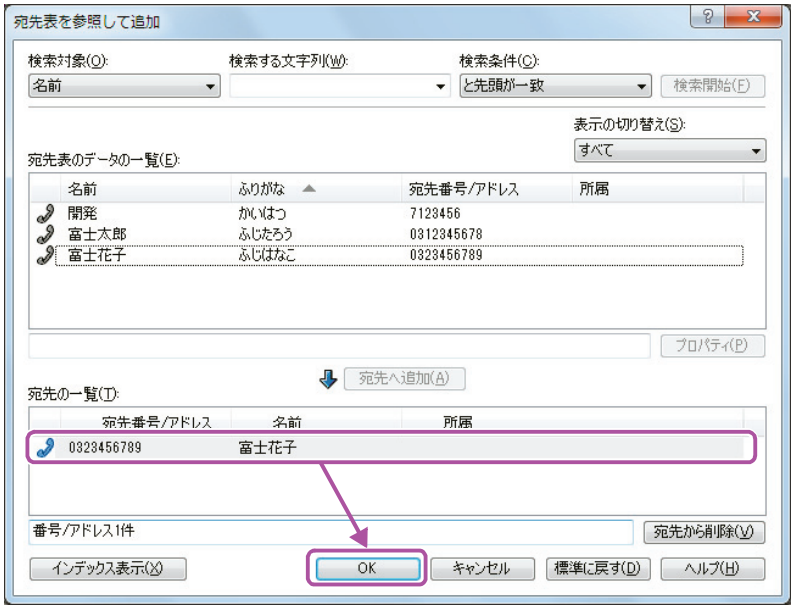
5 ［宛先表を参照して追加］をクリックします。



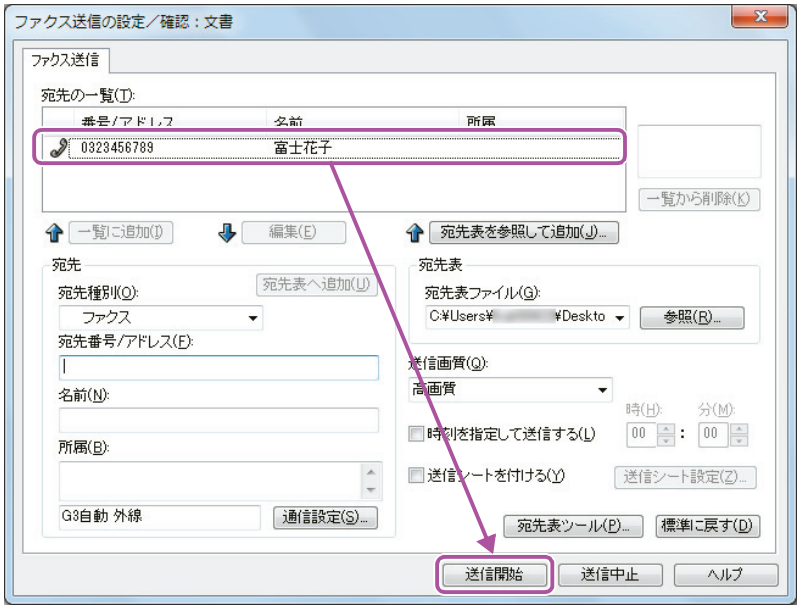
6 ［宛先表のデータの一覧］から宛先を選択し、［宛先へ追加］をクリックします。



7 ［宛先の一覧］に選択した宛先が表示されていることを確認し、［OK］をクリックします。



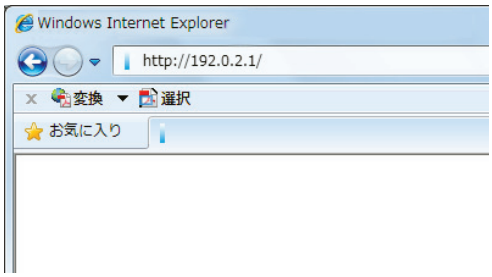
8 ［宛先の一覧］を確認し、［送信開始］をクリックします。



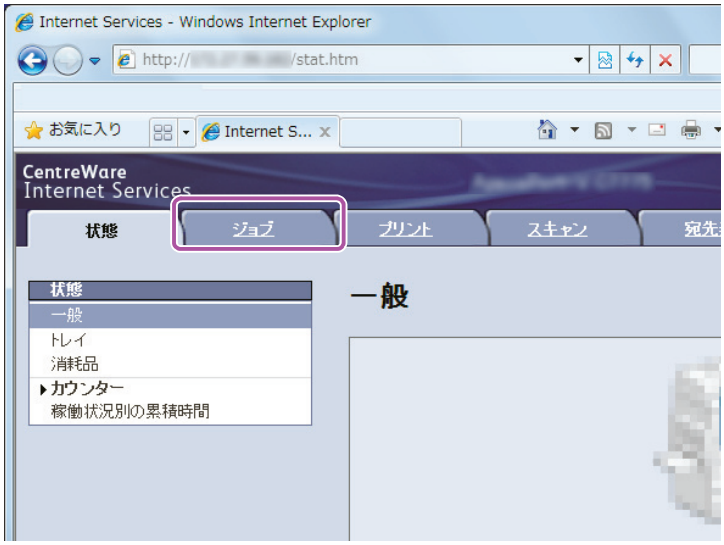
コンピューターでファクス送信できたか確認する

1 Microsoft Internet Explorer（Web ブラウザー）で、「http://（本機の IP アドレス）」を入力し、〈Enter〉キーを押します。

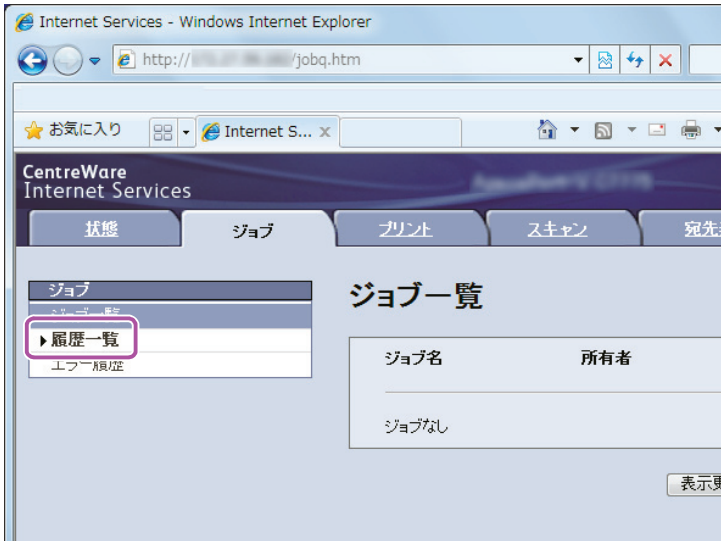
例：http://192.0.2.1
└本機の IP アドレス



2 ［ジョブ］タブをクリックします。

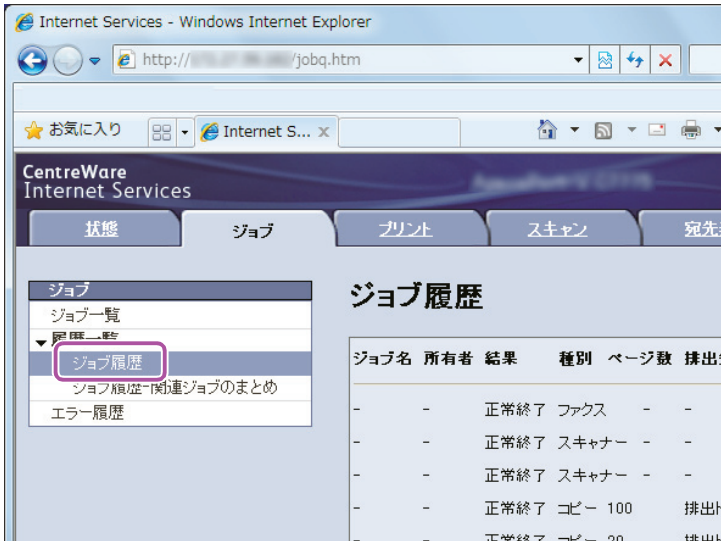


3 ［▶履歴一覧］をクリックします。



4 ［ジョブ履歴］をクリックし、送信した文書の結果を確認します。

ジョブは新しいものから順に表示されます。



スキャン機能

- スキャンした文書をボックスに保存し、コンピューターから取り出す（ボックス保存）..... 94
- スキャンした文書をコンピューターに転送する（PC 保存）..... 111
- スキャンした文書をメールに添付して送信する（メール送信）..... 120
- スキャンした文書を処理するとき、メール送信と PC 保存を同時に実行する（ジョブフロー）136

補足

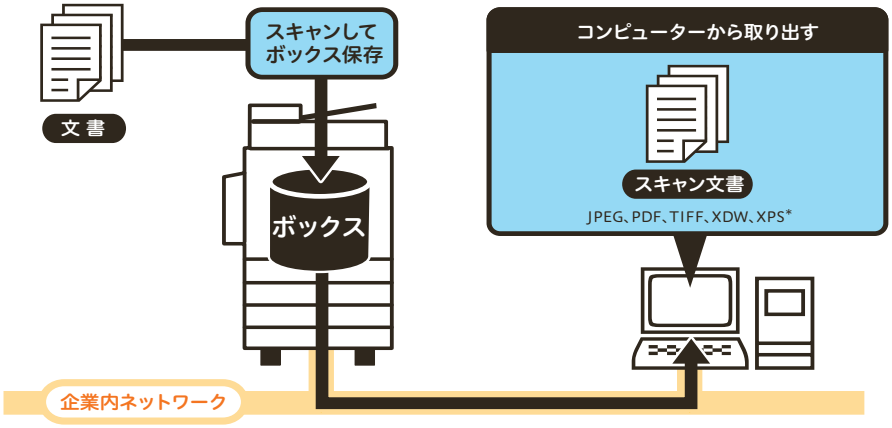
- スキャン機能は、お使いの機種によっては利用できません。利用するにはオプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。
- 使用しているコンピューターの画面イメージは、2014 年 4 月現在のものです。各種ドライバーやユーティリティソフトウエアのバージョンアップによって、本書に記載している内容が、お客様がお使いのものと異なる場合があります。

スキャンした文書をボックスに保存し、コンピューターから取り出す（ボックス保存）オプション

スキャン機能で読み込んだ紙文書を、本機のボックスに保存しておき、コンピューターから取り出せます。

補足

- スキャン機能は、お使いの機種によっては利用できません。利用するにはオプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。



*:「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。

次の流れで設定します。

- 「ボックスを登録する」(P.95)
- 「必要なアプリケーションソフトウエアをインストールする」(P.96)
- 「文書をスキャンして、ボックスに保存する」(P.106)
- 「スキャンした文書が保存されたか確認する」(P.108)
- 「スキャンした文書をコンピューターで取り込む」(P.109)
- 「取り込んだスキャン文書をコンピューターで確認する」(P.110)

ここでは、次の情報が必要です。

- 本機の機種名
- 本機の IP アドレス

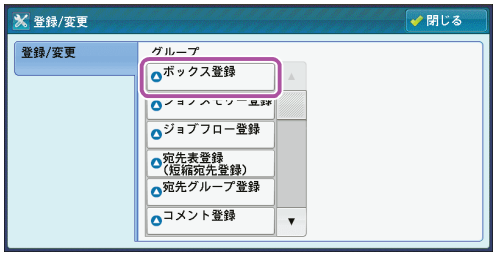
ボックスを登録する

1 ［登録 / 変更］を選択します。

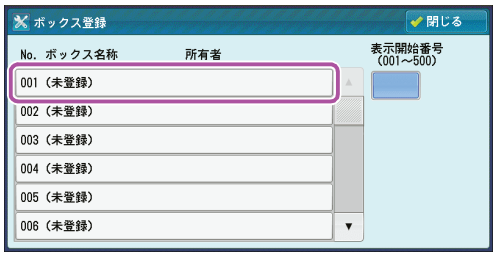
本機が機械管理者で認証されているときは、［仕様設定 / 登録］を押してください。



2 ［ボックス登録］を選択します。

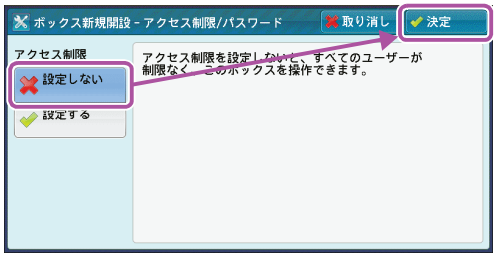


3 任意の［(未登録)］を選択します。

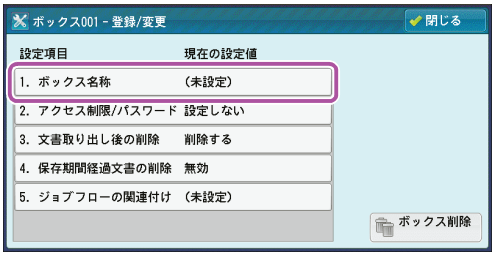


4 ［設定しない］を選択し、［決定］を押します。

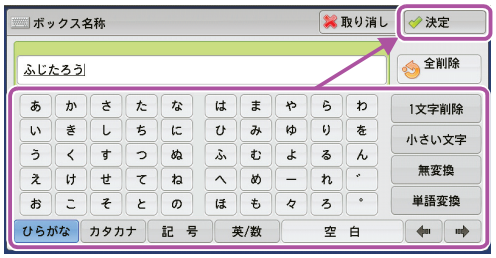
アクセス制限を設定する場合は、パスワードと［制限する操作］を設定します。



5 ［ボックス名称］を選択します。



6 登録するボックス名を入力し、［決定］を押します。



7 メニュー画面が表示されるまで、繰り返し［閉じる］を押します。

必要なアプリケーションソフトウエアをインストールする

スキャンした文書を取り出すには、次のソフトウエアが必要です。

■ TWAIN アプリケーションソフトウエアから取り込むには

- スキャナードライバー（ネットワークスキャナユーティリティ 3）

または

- TWAIN 対応のアプリケーションソフトウエア

■ TIFF ファイルや JPEG ファイルで取り出すには

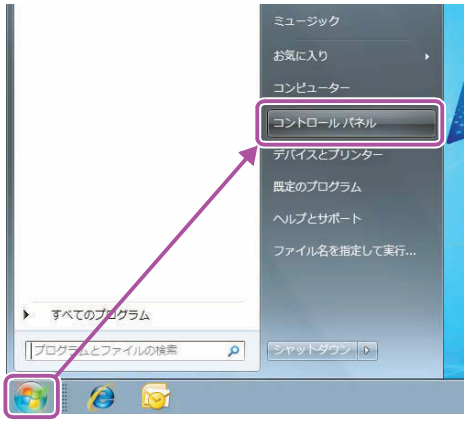
- 親展ボックスビューワー 3（ネットワークスキャナユーティリティ 3）

または

- CentreWare Internet Services

本書では、スキャナードライバー（ネットワークスキャナユーティリティ 3）と親展ボックスビューワー 3 を使って、スキャンした文書を TIFF ファイル形式で取り出す方法を説明します。

1 ［スタート］をクリックし、表示されるメニューから［コントロールパネル］を選択します。



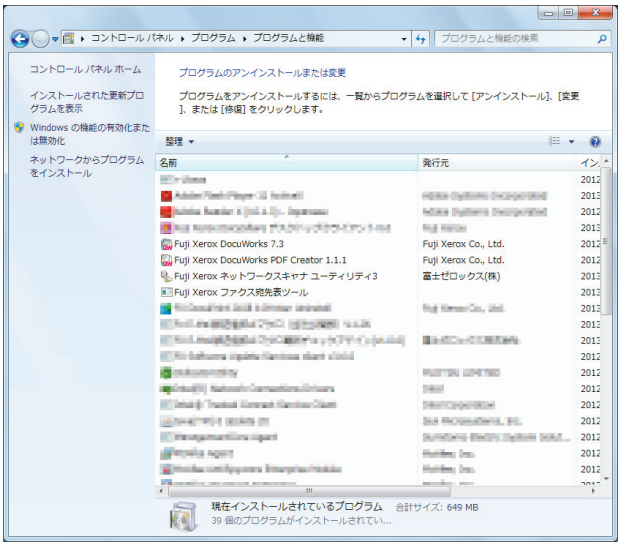
2 ［プログラムのアンインストール］をクリックします。



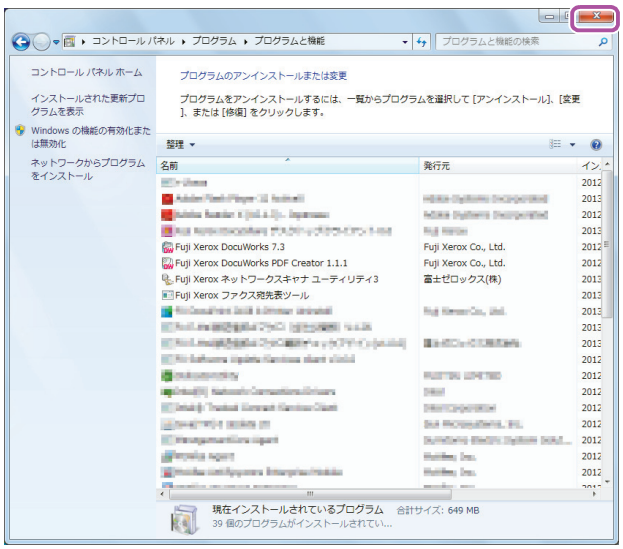
3 必要なアプリケーションソフトウエアがインストールされているかを確認します。

本書では、次のアプリケーションソフトウエアがインストールされているか確認します。

- 「Fuji Xerox ネットワークスキャナユーティリティ 3」
- 「TIFF Viewer」



4 画面右上の[x]をクリックします。



■「ネットワークスキャナユーティリティ 3」がない場合

「ネットワークスキャナユーティリティ 3 をダウンロードしてインストールする」(P.98) に進みます。

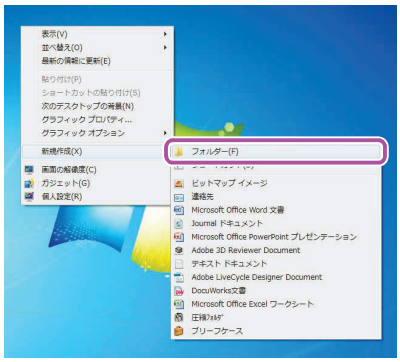
■「TIFF Viewer」がない場合

「TIFF Viewer をダウンロードしてインストールする」(P.103) に進みます。

- TIFF Viewerは、TIFF6.0準拠のTIFFファイル、およびインターネットファクス仕様準拠のTIFF-FXファイルの画像を、表示およびプリントするためのソフトウエアです。
- 「ネットワークスキャナユーティリティ 3」と「TIFF Viewer」は、本機に同梱されているドライバー CD キットの CD-ROM からもインストールできます。

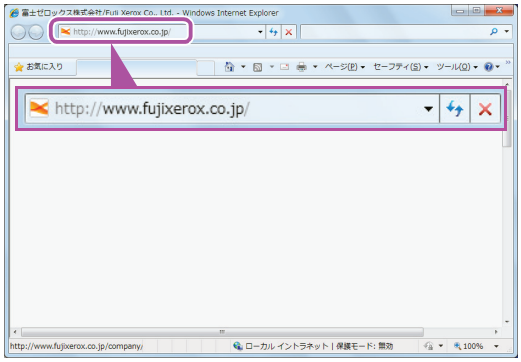
ネットワークスキャナユーティリティ3をダウンロードしてインストールする

1 デスクトップ上の任意の場所に、ダウンロード用のフォルダーを作成し、任意の名前を付けます。



2 Microsoft Internet Explorer（Web ブラウザー）の［アドレス］に次の URL を入力し、〈Enter〉キーを押します。

http://www.fujixerox.co.jp/

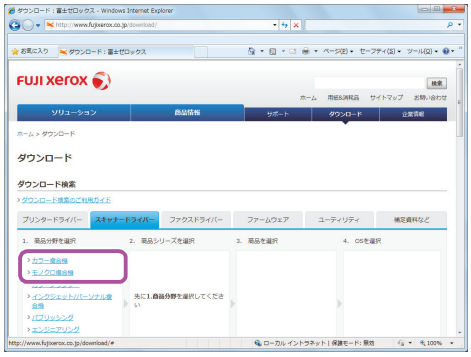


3 ［ダウンロード］をクリックし、［スキャナードライバー］タブをクリックします。

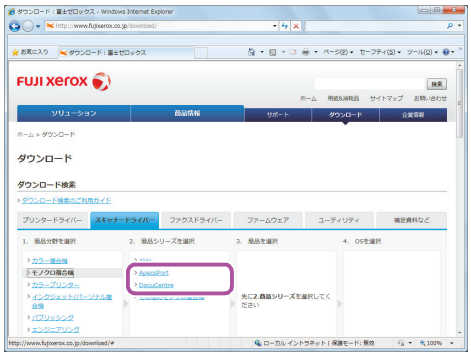
弊社公式サイトの構成やデザインは、予告なく変更されることがあります。



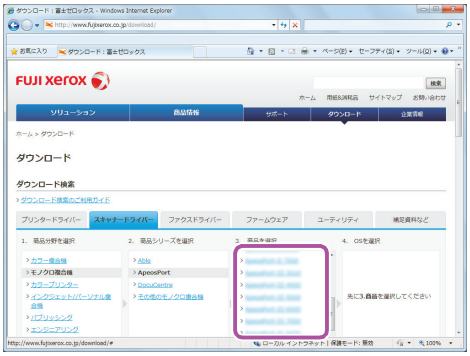
4 ［カラー複合機］または［モノクロ複合機］をクリックします。



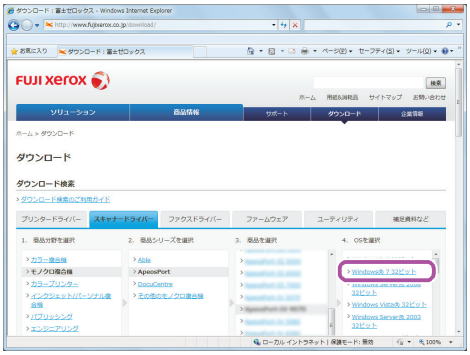
5 本機の商品シリーズ（［ApeosPort］または［DocuCentre］）をクリックします。



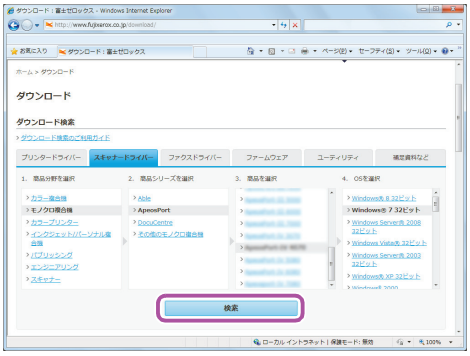
6 本機の機種名をクリックします。



7 お使いのコンピューターの OS（オペレーティングシステム）をクリックします。



8 [検索] をクリックします。



9 [ネットワークスキャナーユーティリティ 3 のダウンロードページへ] をクリックします。



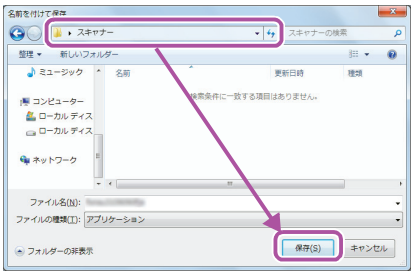
10 ［使用許諾条件に同意しダウンロード］をクリックします。



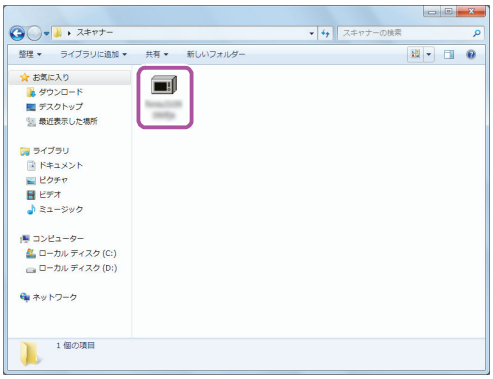
11 ［保存］をクリックします。



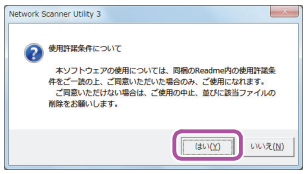
12 ファイルの保存先を、「ネットワークスキャナユーティリティ3 をダウンロードしてインストールする」（P.98）の手順 1 で作成したフォルダーに指定し、［保存］をクリックします。



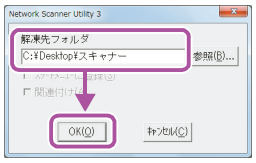
13 ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。



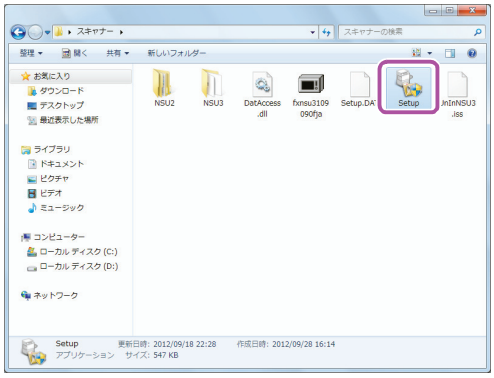
14 使用許諾条件を確認し、［はい］をクリックします。



15 ［解凍先フォルダ］が、「ネットワークスキャナユーティリティ 3 をダウンロードしてインストールする」(P.98) の手順 1 で作成したフォルダー名になっていることを確認し、［OK］をクリックします。



16 ［setup.exe］をダブルクリックします。



17 画面の指示に従って［次へ］をクリックし、最後に［インストール］をクリックします。

18 ［完了］をクリックします。

続けてネットワークスキャナユーティリティ 2 をインストールできます。



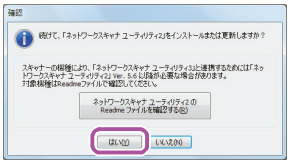
ネットワークスキャナユーティリティ 2 をインストールする

ネットワークスキャナユーティリティ 2 の対象製品をご使用になり、バージョン 5.6 以降がインストールされていない場合は、続けてネットワークスキャナユーティリティ 2 のインストールをしてください。

ネットワークスキャナユーティリティ 2 の対象製品を、ネットワークスキャナユーティリティ 3 からも利用できるようになります。

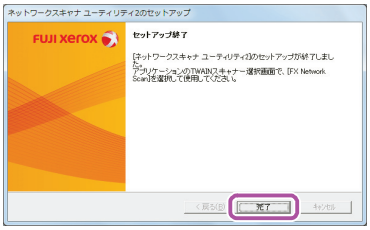
19 ［はい］をクリックします。

ネットワークスキャナユーティリティ 2 をインストールしない場合は、［いいえ］をクリックして、インストール作業を完了してください。



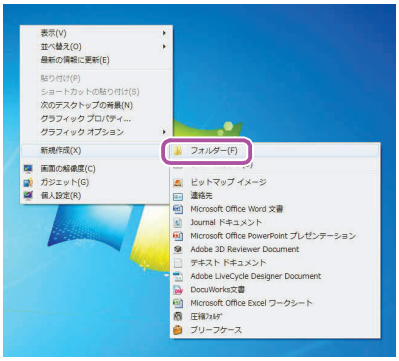
20 画面の指示に従って［次へ］をクリックします。

21 ［完了］をクリックします。



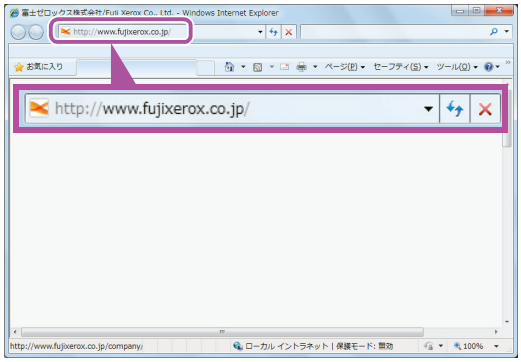
TIFF Viewer をダウンロードしてインストールする

1 デスクトップ上の任意の場所に、ダウンロード用のフォルダーを作成し、任意の名前を付けます。



2 Microsoft Internet Explorer（Web ブラウザー）の［アドレス］に次の URL を入力し、〈Enter〉キーを押します。

http://www.fujixerox.co.jp/

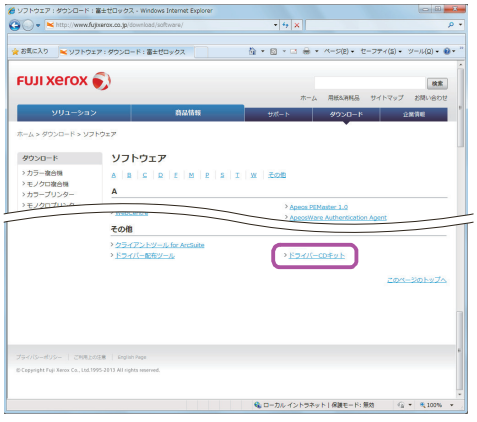


3 ［ダウンロード］をクリックし、［商品分野から探す］の［ソフトウェア］をクリックします。

弊社公式サイトの構成やデザインは、予告なく変更されることがあります。



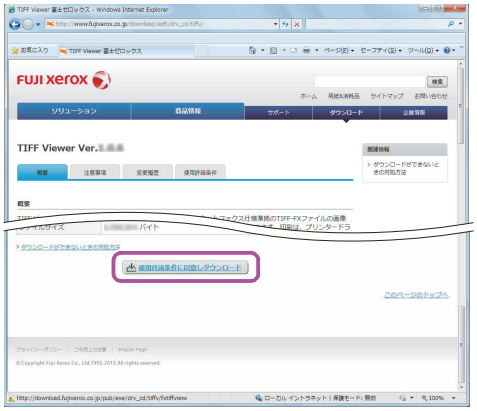
4 ［その他］の［ドライバー CD キット］をクリックします。



5 ［TIFF Viewer］をクリックします。



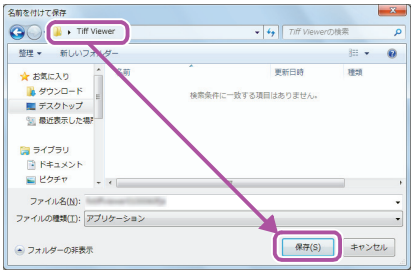
6 ［使用許諾条件に同意しダウンロード］をクリックします。



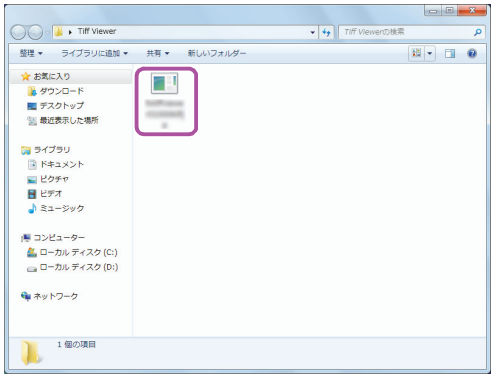
7 ［保存］をクリックします。



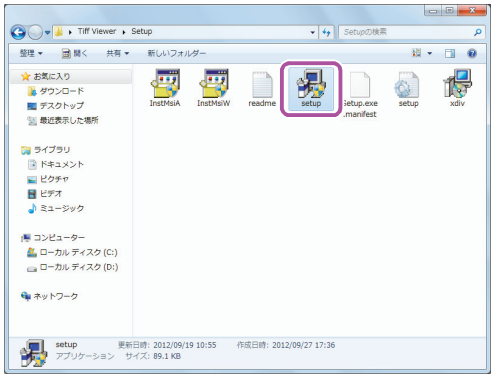
8 ファイルの保存先を、「TIFF Viewer をダウンロードしてインストールする」(P.103) の手順 1 で作成したフォルダーに指定し、［保存］をクリックします。



9 ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

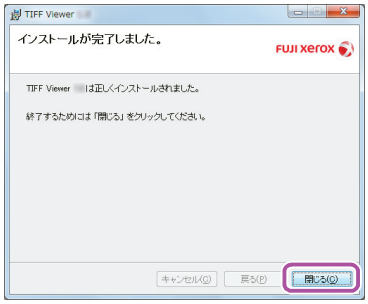


10 ［Setup］フォルダーを開き、［setup.exe］をダブルクリックします。



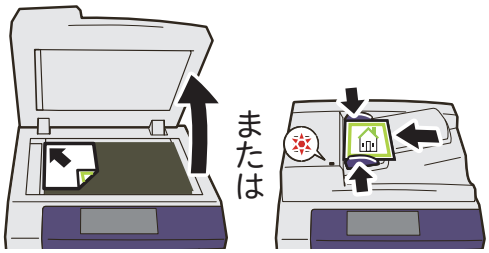
11 画面の指示に従って、［次へ］をクリックします。

12 ［閉じる］をクリックします。



文書をスキャンして、ボックスに保存する

1 スキャンする文書をセットします。



2 ［スキャナー（ボックス保存）］を押します。



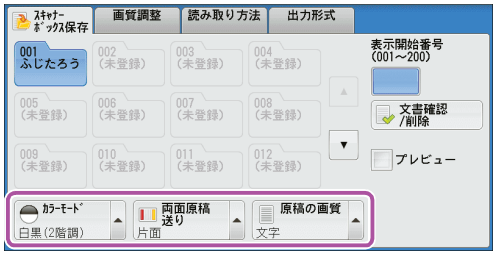
3 ［スキャナー ボックス保存］タブを選択し、「ボックスを登録する」（P.95）で登録したボックスを選択します。

ボックスにパスワードを設定した場合は、パスワードを入力し、［確定］を選択します。



4 必要に応じて、［カラーモード］、［両面原稿送り］、［原稿の画質］などの項目を設定します。

文書に合わせて、カラー / モノクロや、片面 / 両面などを設定します。



5 〈スタート〉ボタンを押します。



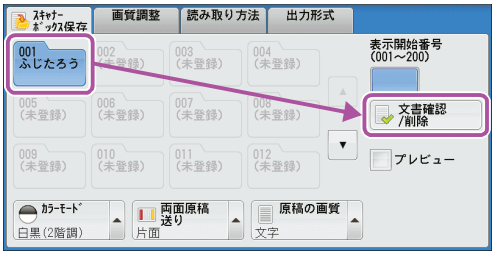
スキャンした文書が保存されたか確認する

1 ［スキャナー（ボックス保存）］を押します。



2 「文書をスキャンして、ボックスに保存する」（P.106）の手順 3 で選択したボックスを選択し、［文書確認 / 削除］を押します。

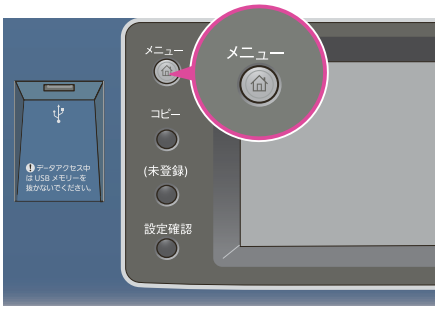
ボックスにパスワードを設定した場合は、パスワードを入力し、［確定］を選択します。



3 スキャンした文書が保存されていることを確認します。



4 〈メニュー〉ボタンを押して、終了します。

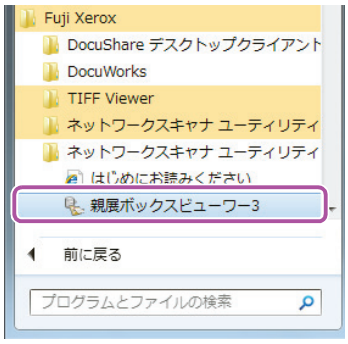


スキャンした文書をコンピューターで取り込む

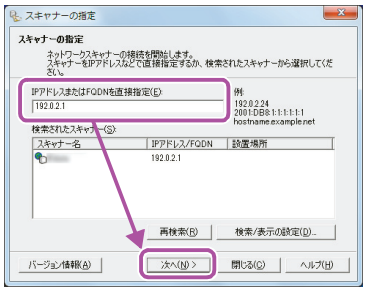
スキャンしてボックスに保存した文書を、コンピューターで取り込むには、いくつかの方法があります。

本書では、親展ボックスビューワー 3 を使って取り込む方法を説明します。

1 ［スタート］>［すべてのプログラム］>［Fuji　Xerox］>［ネットワークスキャナ ユーティリティ 3］>［親展ボックスビューワー 3］を選択します。

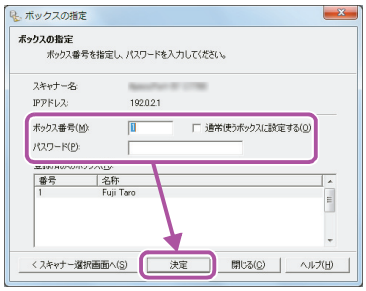


2 ［IP アドレスまたは FQDN を直接指定］に、IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

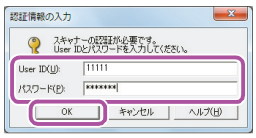


3 ［ボックス番号］に、「文書をスキャンして、ボックスに保存する」(P.106) の手順 3 で選択したボックス番号を入力し、［決定］をクリックします。

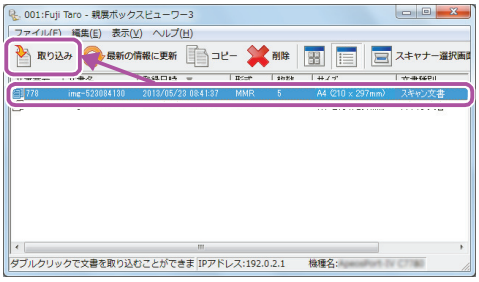
ボックスにパスワードを設定した場合は、［パスワード］にパスワードを入力します。



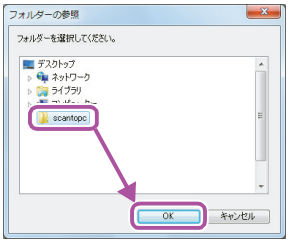
4 本機に認証モードが設定されている場合は、認証情報の入力画面が表示されます。本機を利用するための User ID とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。



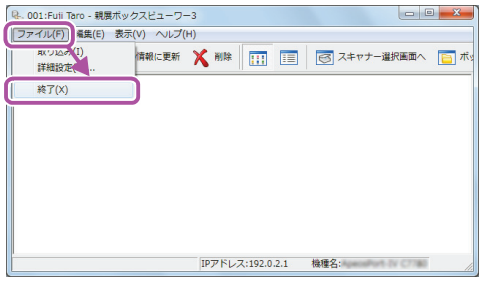
5 取り込みたい文書を選択し、［取り込み］をクリックします。



6 コンピューターの保存先を選択し、［OK］をクリックします。

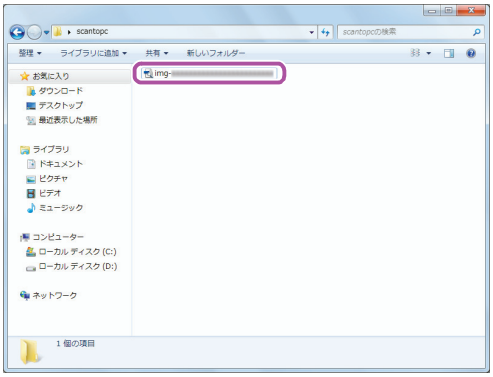


7 ［ファイル］メニューから［終了］を選択します。



取り込んだスキャン文書をコンピューターで確認する

1 スキャン文書を保存したフォルダーを開き、文書をダブルクリックします。

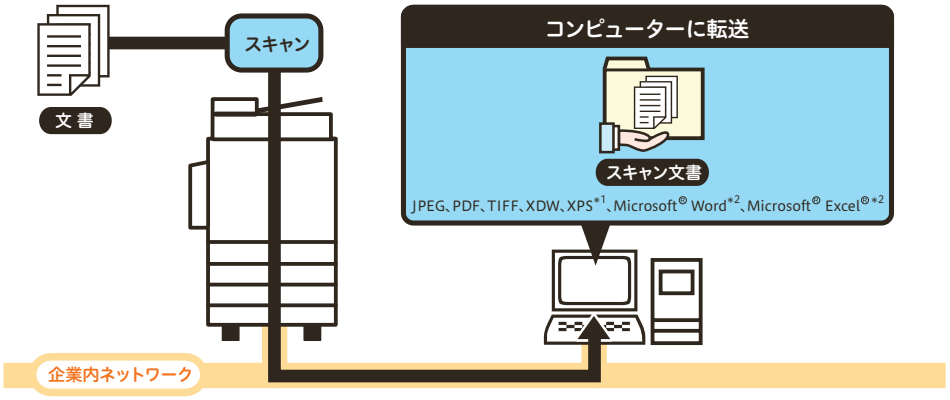


スキャンした文書をコンピューターに転送する（PC 保存）オプション

スキャン機能で読み込んだ文書を PDF や DocuWorks 文書などに変換し、FTP や SMB のプロトコルを使ってネットワーク上のコンピューターに転送できます。

補足

- スキャン機能は、お使いの機種によっては利用できません。利用するにはオプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。



*1: 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。
*2: お使いの機種やコンピューターのOSによっては利用できません。
詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。

この機能を利用するには、次の環境が必要です。

■ FTP で使用する場合

次の FTP サーバーと FTP サーバーへのアカウント（ログイン名とパスワード）の登録が必要です。

- Microsoft Windows Server 2003、Microsoft Windows Server 2008、Microsoft Windows Server 2008 R2、Microsoft Windows Server 2012、Microsoft Windows Server 2012 R2、Microsoft Windows Vista、Microsoft Windows 7、Microsoft Windows 8、Microsoft Windows 8.1 の場合
  - Microsoft Internet Information Server 6.0 の FTP サービス
- Microsoft Windows 2000 Server、Microsoft Windows 2000 Professional、Microsoft Windows XP の場合
  - Microsoft Internet Information Server 3.0 以降の FTP サービス
- Mac OS X の場合
  - Mac OS X 10.5/10.6、Mac OS X 10.7 Lion、OS X 10.8 Mountain Lion、OS X 10.9 Mavericks の FTP サービス *

  * 日本語のファイル名、ユーザー名、ディレクトリー名は使用できません。

参照

- 各 FTP サービスの設定は、ソフトウエアに付属のマニュアルを参照してください。
- Mac OS X 10.7 Lion、OS X v10.8 Mountain Lion、または OS X 10.9 Mavericks を利用する場合、FTP サービスの設定方法は、Apple Japan 社の公式サイトをご参照ください。

■ SMB で使用する場合

共有フォルダー機能が利用できる、次の OS のコンピューターが必要です。Mac OS X の場合は、共有できるユーザーアカウントが Mac OS X 上に必要です。

- Microsoft Windows Server 2003
- Microsoft Windows Server 2008

- Microsoft Windows Server 2008 R2
- Microsoft Windows Server 2012
- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows XP
- Microsoft Windows Vista
- Microsoft Windows 7
- Microsoft Windows 8
- Microsoft Windows 8.1
- Mac OS X 10.5/10.6、Mac OS X 10.7 Lion、OS X 10.8 Mountain Lion、OS X 10.9 Mavericks

次の流れで設定します。

- 「コンピューターの保存先を、本機の宛先表に登録する」(P.112)
- 「文書をスキャンして、コンピューターに保存する」(P.117)
- 「スキャンした文書がコンピューターに送られたか確認する」(P.118)
- 「保存した文書をコンピューターで確認する」(P.119)
- 「本機の宛先表にメールアドレスを登録する」(P.129)
- 「スキャンした文書をメール送信する」(P.131)

ここでは、スキャンした文書の保存先に関する次の情報が必要です。

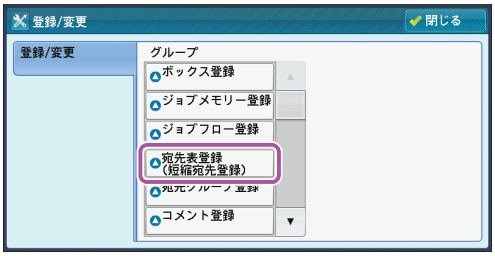
- 保存先のコンピューター名
- 保存先のコンピューターの IP アドレス
- 保存先のコンピューターに作成した共有フォルダーの名前
- Windows にログオンするためのユーザー名
- Windows にログオンするためのパスワード

コンピューターの保存先を、本機の宛先表に登録する

1 [登録 / 変更] を押します。



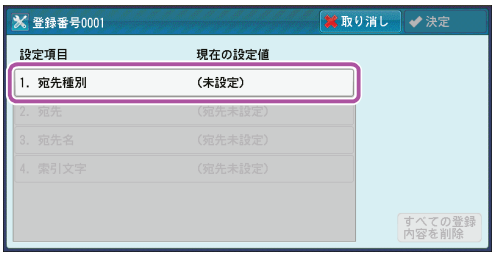
2 ［宛先表登録（短縮宛先登録）］を選択します。



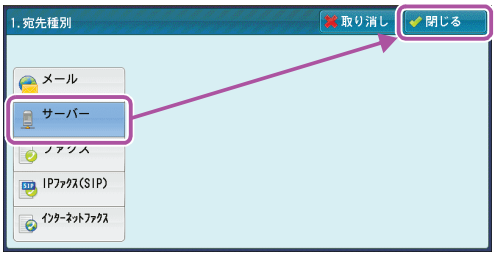
3 任意の［(未登録)］を選択します。



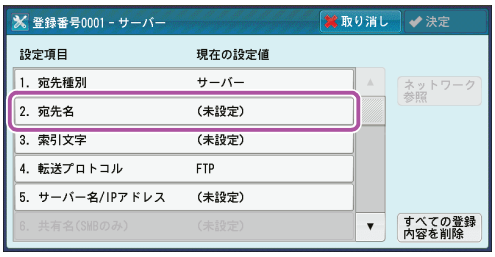
4 ［宛先種別］を選択します。



5 ［サーバー］を選択し、［閉じる］を押します。

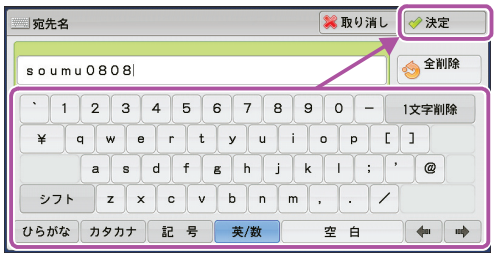


6 ［宛先名］を選択します。

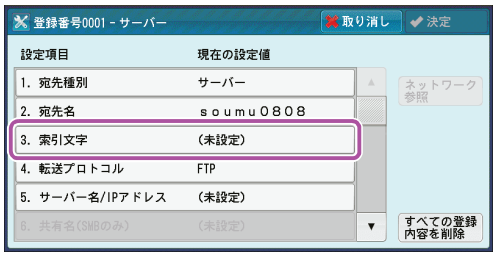


7 保存先のコンピューター名を入力し、［決定］を押します。

入力した名前は、スキャンした文書の保存先を選択する画面で、「宛先名」として表示されます。



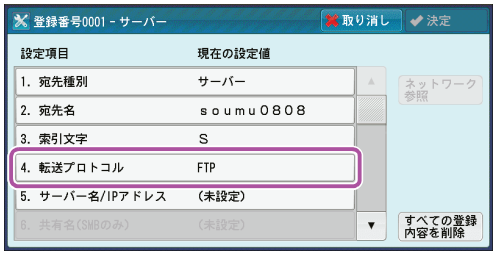
8 ［索引文字］を選択します。



9 宛先表で検索するときに使用するキーワードを１文字入力し、［決定］を押します。

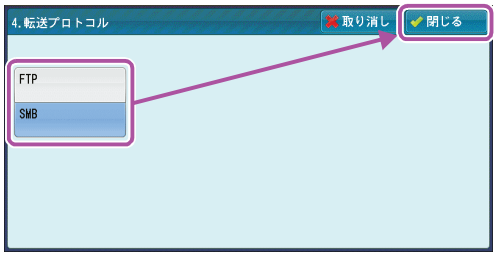


10 ［転送プロトコル］を選択します。

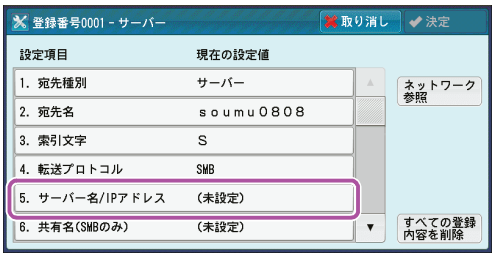


11 ［SMB］または［FTP］を選択し、［閉じる］を押します。

転送プロトコルを［SMB］にするか［FTP］にするかについては、ネットワーク管理者に確認してください。



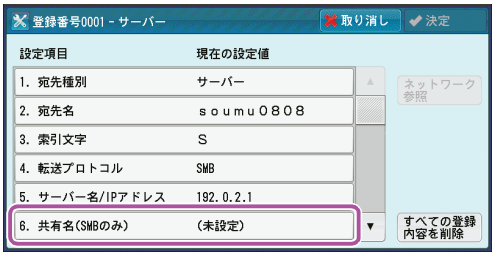
12 ［サーバー名 /IP アドレス］を選択します。



13 コンピューターの IP アドレスを入力し、［決定］を押します。



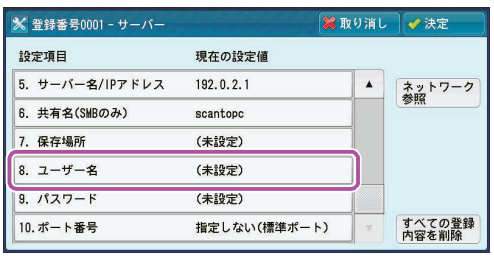
14 手順 11 で［SMB］を選択した場合は、［共有名（SMB のみ)］を選択します。



15 コンピューターに作成した共有フォルダーの名前を入力し、［決定］を押します。



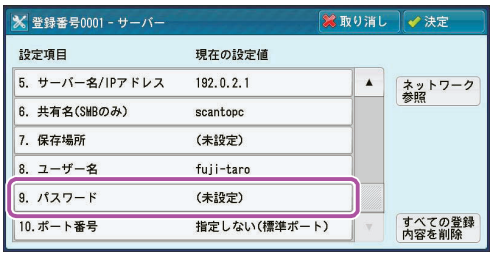
16 ▼ を押し、［ユーザー名］を選択します。



17 共有フォルダーにアクセスするための、ユーザー名を入力し、［決定］を押します。



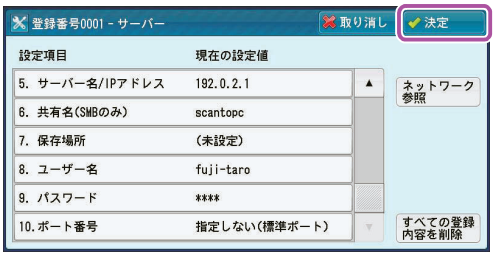
18 ［パスワード］を選択します。



19 共有フォルダーにアクセスするための、パスワードを入力し、［決定］を押します。



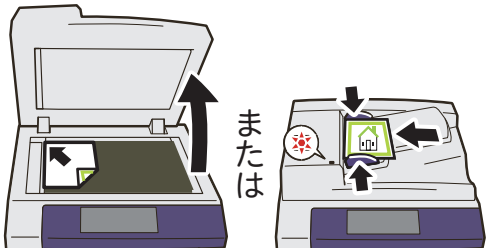
20 ［決定］を押します。



21 メニュー画面が表示されるまで、繰り返し［閉じる］を押します。

文書をスキャンして、コンピューターに保存する

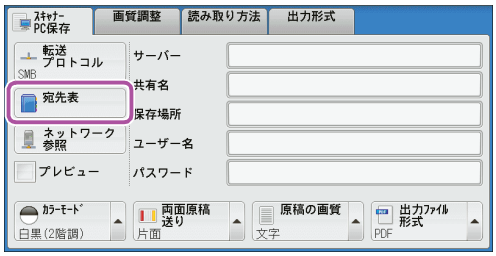
1 スキャンする文書をセットします。



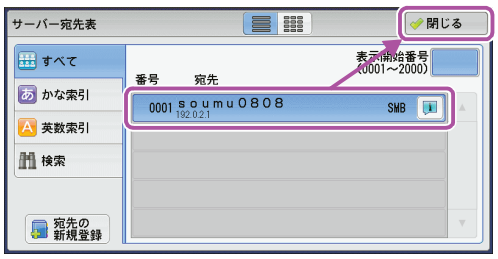
2 ［スキャナー（PC 保存）］を押します。



3 ［宛先表］を選択します。



4 「コンピューターの保存先を、本機の宛先表に登録する」（P.112）で作成した宛先を選択し、［閉じる］を押します。



5 必要に応じて、[カラーモード]、[両面原稿送り]、[原稿の画質]、[出力ファイル形式] などの項目を設定します。

文書に合わせて、カラー / モノクロや、片面 / 両面などを設定します。



6 〈スタート〉ボタンを押します。

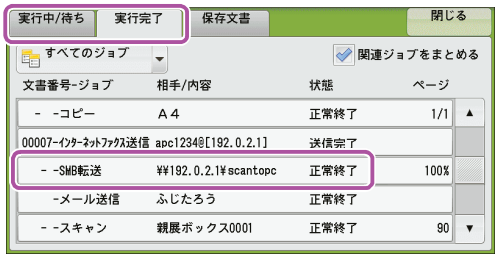


スキャンした文書がコンピューターに送られたか確認する

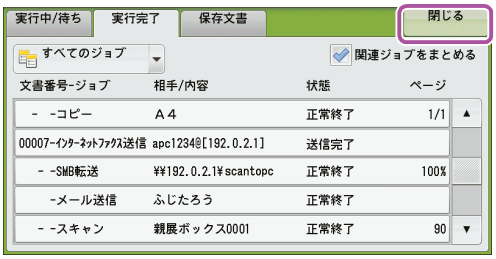
1 〈ジョブ確認〉ボタンを押します。



2 [実行中 / 待ち] タブ、または [実行完了] タブを選択し、コンピューターに転送した文書の [状態] を確認します。

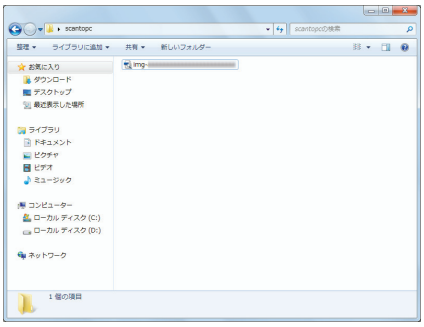


3 ［閉じる］を押します。



保存した文書をコンピューターで確認する

1 共有フォルダーを開き、文書をダブルクリックします。

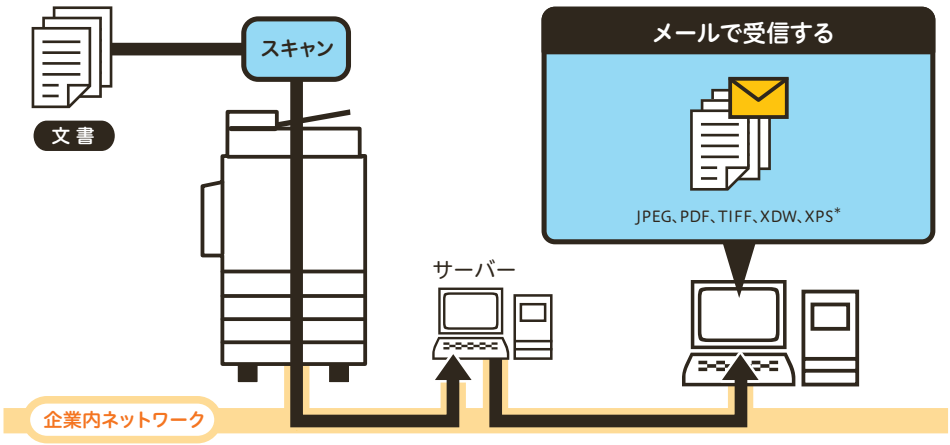


スキャンした文書をメールに添付して送信する(メール送信)オプション

スキャンした文書を PDF や DocuWorks 文書などに変換して、メールに添付して送信できます。

補足

- スキャン機能は、お使いの機種によっては利用できません。利用するにはオプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。



*:「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。

送信先のメールアドレスを指定する方法には、本機のパネルで直接メールアドレスを入力する方法と、事前に登録してある宛先表から選択する方法があります。よく使うメールアドレスは、宛先表に登録しておくと便利です。

次の流れで設定します。

- 「本機を設定する」(P.120)
- 「本機の宛先表にメールアドレスを登録する」(P.129)
- 「スキャンした文書をメール送信する」(P.131)
- 「メールが送信されたかを確認する」(P.134)
- 「受信した文書をコンピューターで確認する」(P.135)

ここでは、次の情報が必要です。

- 送信先のメールアドレス

本機を設定する

スキャン文書をメール送信するためには、次の設定が必要です。

設定項目　参照頁	*
「メールポートを起動する」(P.121)	○
「IP アドレスを設定する」(P.123)	○
サブネットマスク	△
ゲートウェイアドレス	△
DNS サーバーアドレス	△
「本体メールアドレスを登録する」(P.125)	○

設定項目　参照頁	*
「メール受信プロトコルを設定する」(P.125)	○
POP3 サーバーアドレス	△
POP3 ログイン名 / パスワード	○
「SMTP サーバーを設定する」(P.128)	○
SMTP AUTH ログイン名 / パスワード	△

* ○ : 設定が必要です。△ : 必要に応じて設定します。

メールポートを起動する

1 〈認証〉ボタンを押します。



2 機械管理者 ID を入力し、［確定］を押します。

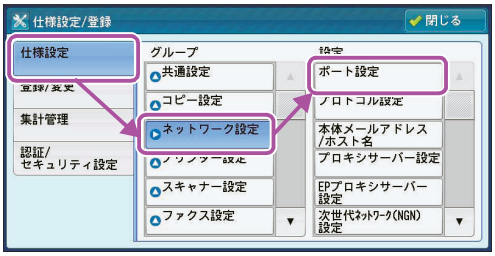
- 機械管理者 ID およびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。
- 認証中は、〈認証〉ボタンが点灯します。



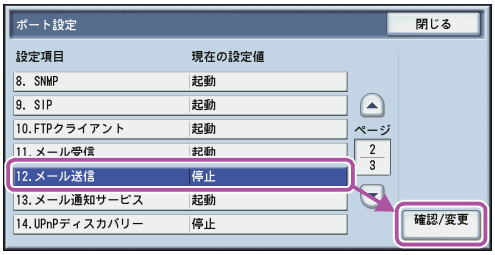
3 ［仕様設定 / 登録］を押します。



4 ［仕様設定］>［ネットワーク設定］>［ポート設定］を選択します。



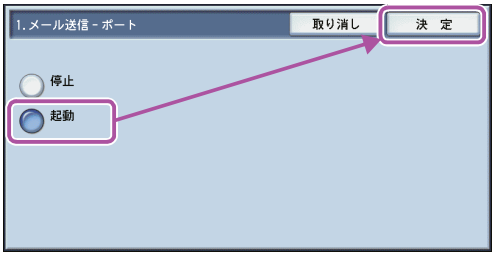
5 ［メール送信］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



6 ［確認 / 変更］を押します。



7 ［起動］を選択し、［決定］を押します。



8 ［閉じる］を選択します。

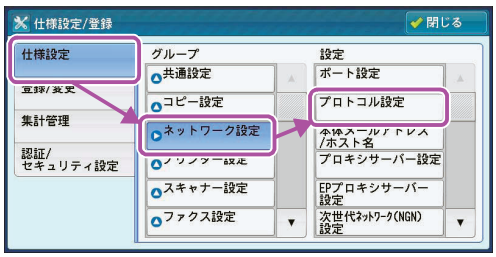
補足

- メールプリントを使用する場合は、同様に［メール受信］の［メール受信 - ポート］を［起動］に設定します。

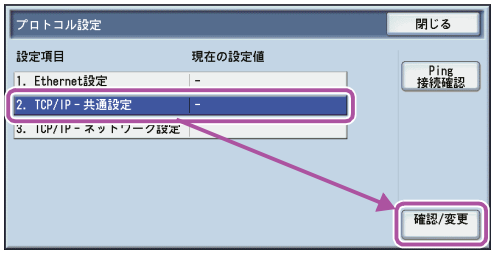
9 ［仕様設定 / 登録］画面が表示されるまで、［閉じる］を押します。

IP アドレスを設定する

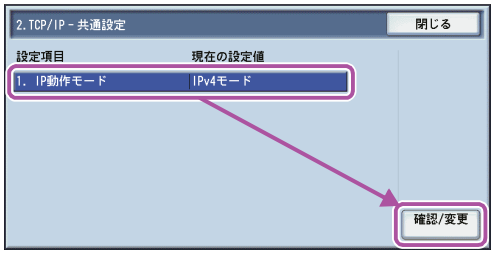
1 ［仕様設定］>［ネットワーク設定］>［プロトコル設定］を選択します。



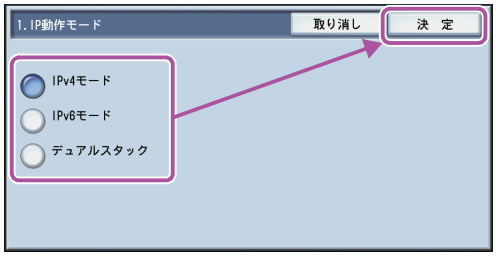
2 ［TCP/IP- 共通設定］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



3 ［IP 動作モード］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



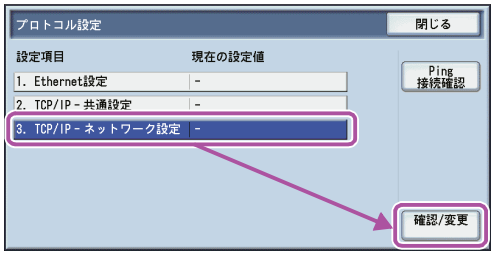
4 ネットワーク環境に合わせ動作モードを選択し、［決定］を押します。



補足

- 以降、IPv4 モードの場合を例に説明します。

5 ［TCP/IP- ネットワーク設定］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



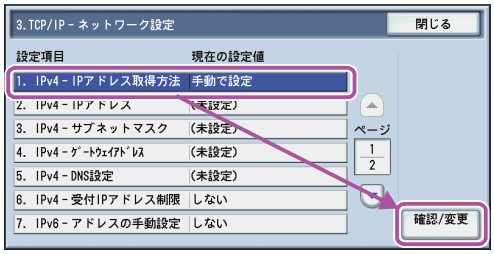
注記

- セカンダリーイーサネット（オプション）を装着している場合、Ethernet インターフェースが 2 回線利用できるようになり、本設定の項目名は［TCP/IP 設定（Ethernet1）］、および［TCP/IP 設定（Ethernet2）］が表示されます。IP アドレスを設定するときは、［TCP/IP 設定（Ethernet1）］を選択してください。詳しくは、『管理者ガイド』の「5 仕様設定」>「ネットワーク設定」>「プロトコル設定」を参照してください。

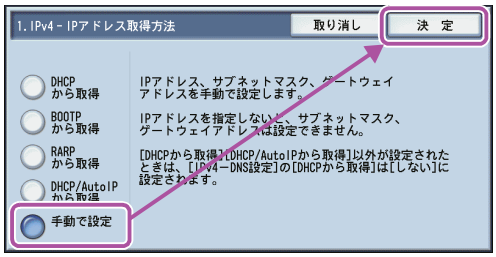
補足

- 本設定の項目名はEthernetインターフェースが1回線のとき［TCP/IP-ネットワーク設定］のみ表示されます。

6 ［IPv4-IP アドレス取得方法］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



7 ［手動で設定］を選択し、［決定］を押します。



8 ［IPv4 - IP アドレス］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



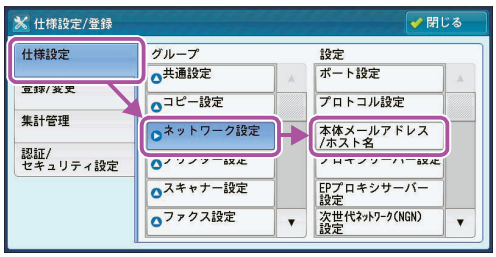
9 表示されたキーボードで、IP アドレスを入力し、［決定］を押します。

10 同様に、［IPv4 - サブネットマスク］と［IPv4 - ゲートウェイアドレス］を設定します。

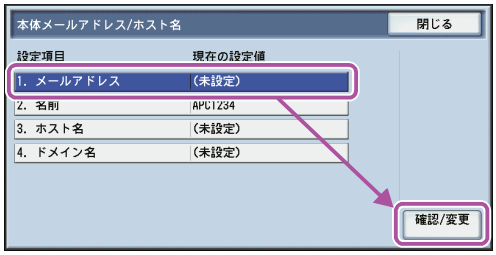
11 ［仕様設定 / 登録］画面が表示されるまで、［閉じる］を押します。

本体メールアドレスを登録する

1 [仕様設定]>[ネットワーク設定]>[本体メールアドレス/ホスト名]を選択します。



2 [メールアドレス] を選択し、[確認 / 変更] を押します。



3 表示されたキーボードで、メールアドレスを入力し、[決定] を押します。

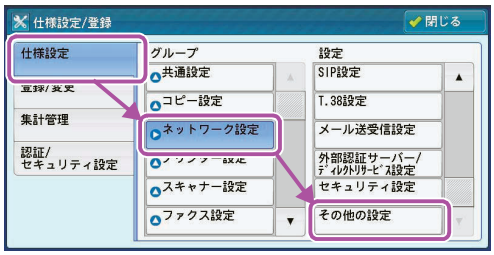
補足

- メールアドレスは、半角 128 文字以内で入力します。
  - アカウント（@マークの左側）は、任意の文字列を設定できます。
    アドレス部（@マークの右側）には、ホスト名とドメイン名を組み合わせたものを設定します。エイリアスは設定できません。
    たとえば、
    アカウント名：mymail
    ホスト名：myhost
    ドメイン名：example.com
    の場合、メールアドレスは、
    mymail@myhost.example.com となります。
- 必要に応じ、[名前]、[ホスト名]、および [ドメイン名] を設定します。

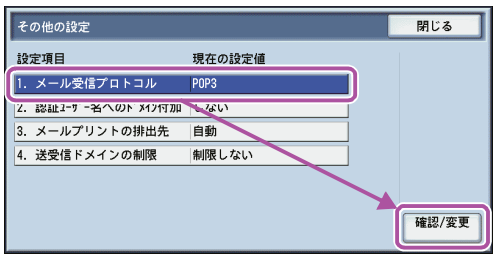
4 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を選択します。

メール受信プロトコルを設定する

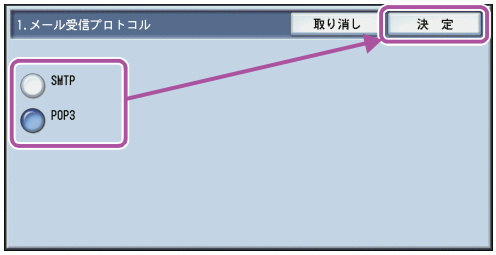
1 [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [その他の設定] を選択します。



2 ［メール受信プロトコル］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



3 環境に合わせて［SMTP］または［POP3］を選択し、［決定］を押します。

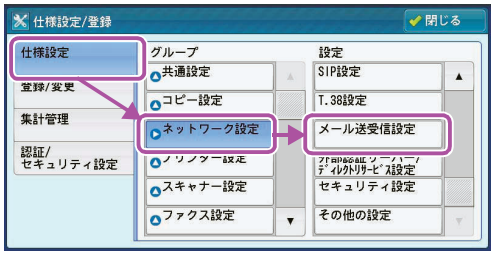


4 ［仕様設定 / 登録］画面が表示されるまで、［閉じる］を押します。

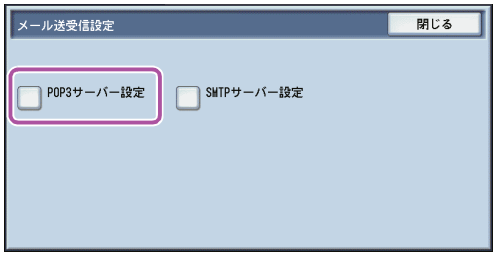
［SMTP］に設定した場合は、「SMTP サーバーを設定する」(P.128) に進んでください。

POP3 サーバーを設定する

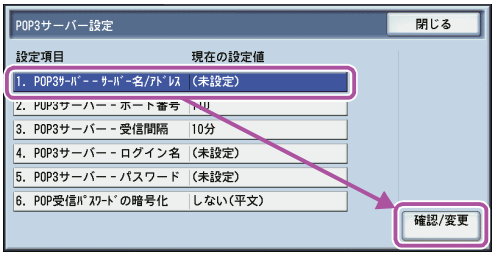
1 ［仕様設定］>［ネットワーク設定］>［メール送受信設定］を選択します。



2 ［POP3 サーバー設定］を選択します。

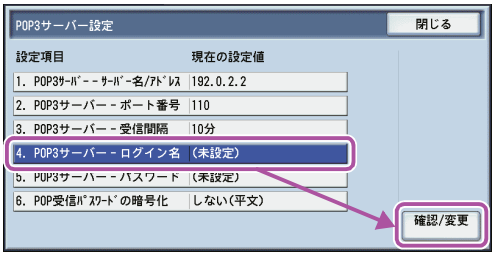


3 ［POP3 サーバー - サーバー名 / アドレス］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



4 表示されたキーボードで、サーバー名または IP アドレスを入力し、［決定］を押します。

5 ［POP3 サーバー - ログイン名］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

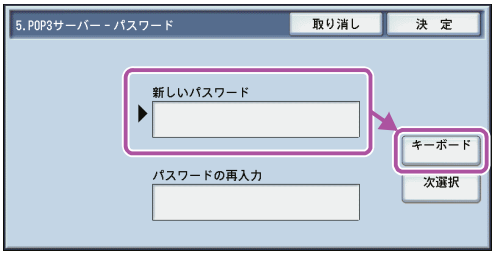


6 表示されたキーボードで、ログイン名を入力し、［決定］を押します。

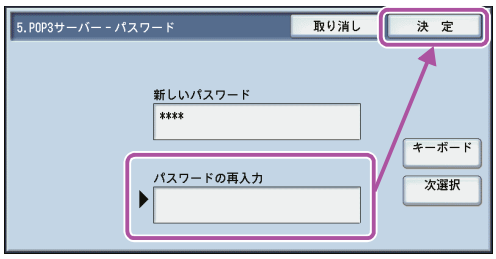
7 ［POP3 サーバー - パスワード］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



8 ［新しいパスワード］を入力します。［キーボード］を押して、［新しいパスワード］画面を表示し、パスワードを入力します。



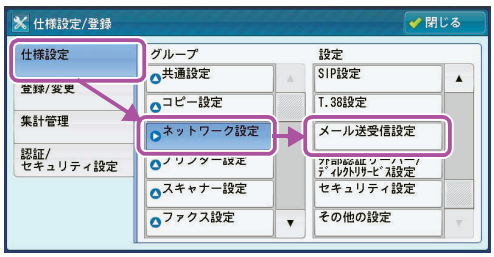
9 続いて［パスワードの再入力］を入力し、［決定］を押します。



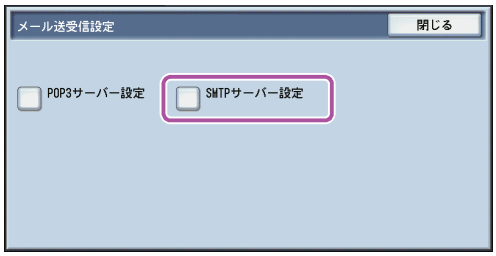
10 ［仕様設定 / 登録］画面が表示されるまで、［閉じる］を押します。

SMTP サーバーを設定する

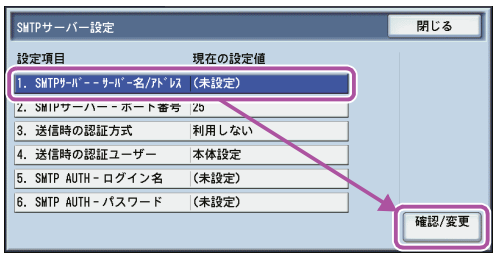
1 ［仕様設定］>［ネットワーク設定］>［メール送受信設定］を選択します。



2 ［SMTP サーバー設定］を選択します。



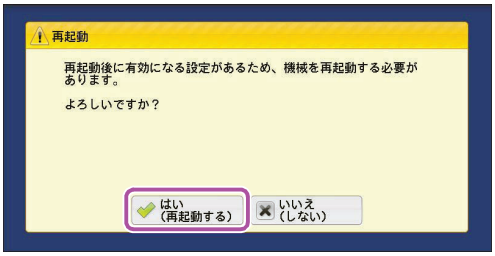
3 ［SMTP サーバー - サーバー名 / アドレス］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



4 表示されたキーボードで、サーバー名または IP アドレスを入力し、［決定］を押します。

5 ［仕様設定 / 登録］画面が表示されるまで、［閉じる］を押します。

6 ［閉じる］を押すと、［再起動］画面が表示されるので、［はい（再起動する）］を選択します。

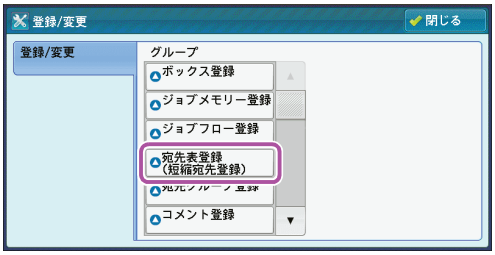


本機の宛先表にメールアドレスを登録する

1 ［登録 / 変更］を選択します。



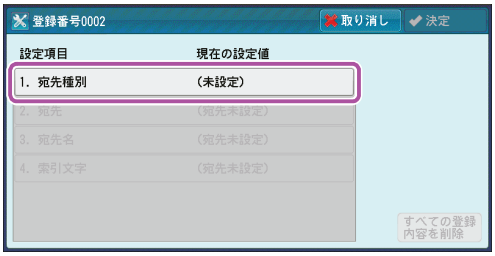
2 ［宛先表登録（短縮宛先登録）］を選択します。



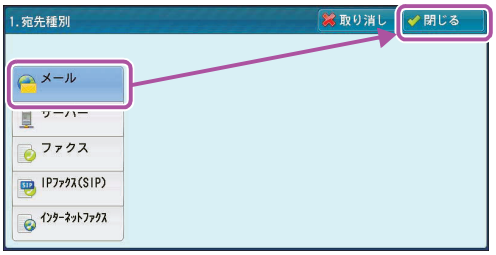
3 任意の［(未登録)］を選択します。



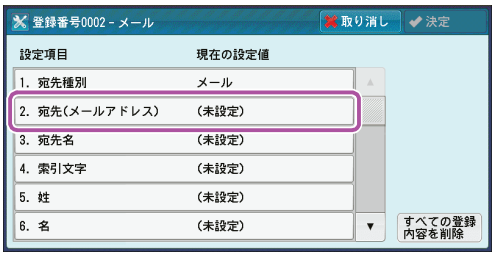
4 ［宛先種別］を選択します。



5 ［メール］を選択し、［閉じる］を押します。



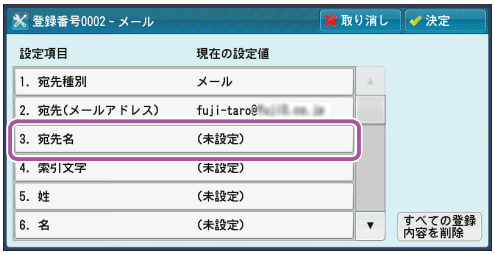
6 ［宛先（メールアドレス)］を選択します。



7 送信先のメールアドレスを入力し、［決定］を押します。

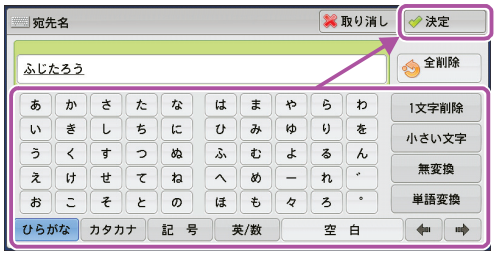


8 ［宛先名］を選択します。



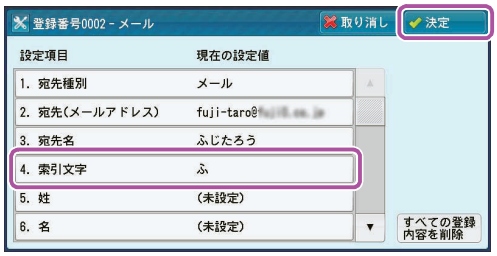
9 送信相手の名前を入力し、［決定］を押します。

ここで入力した名前は、スキャン文書の送信先を選択する画面で、［宛先名 / メールアドレス］に表示されます。



10 ［決定］を押します。

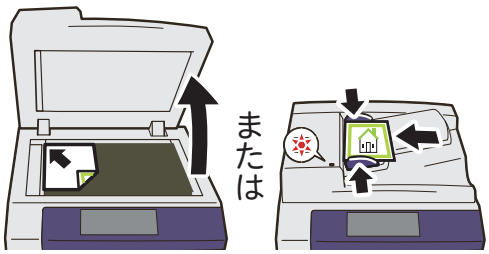
索引文字を設定しておくと、宛先表で検索するときに便利です。



11 メニュー画面が表示されるまで、繰り返し［閉じる］を押します。

スキャンした文書をメール送信する

1 スキャンする文書をセットします。

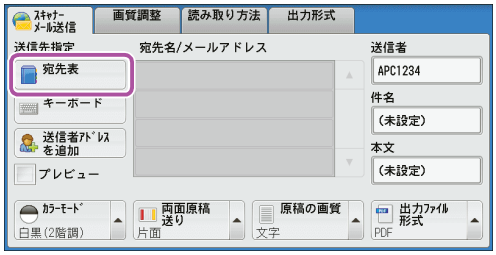


2 ［スキャナー（メール送信）］を押します。



3 ［宛先表］を選択します。

直接メールアドレスを入力する場合は、［キーボード］を選択します。



4 「本機の宛先表にメールアドレスを登録する」（P.129）で作成した宛先を選択します。

必要に応じて、ドロップダウンリストから［宛先］、［Cc］、［Bcc］を選択します。

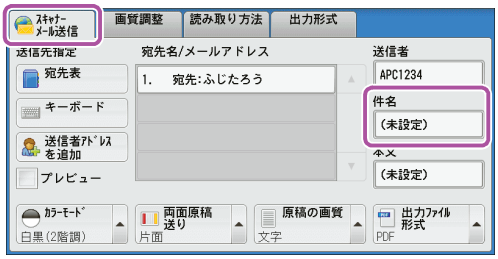


5 ［閉じる］を押します。

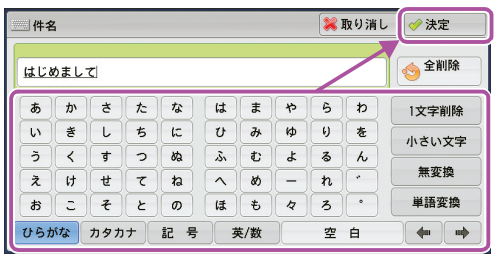


6 ［スキャナー メール送信］タブを選択し、［件名］を選択します。

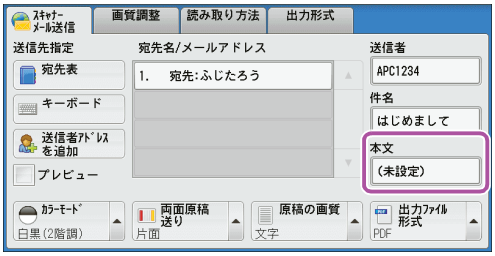
［送信者］には、本機のメールアドレスや認証ユーザーのメールアドレスなどが表示されます。



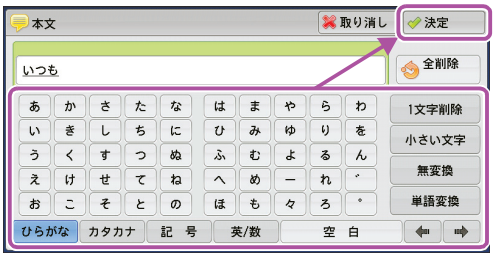
7 メールの件名を入力し、［決定］を押します。



8 ［本文］を選択します。

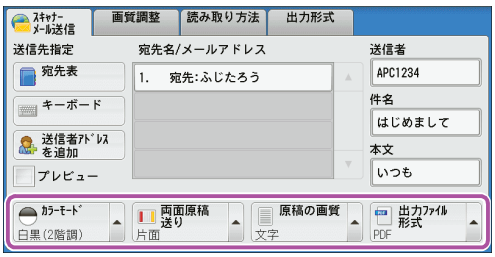


9 メールの本文を入力し、［決定］を押します。



10 必要に応じて、[カラーモード]、[両面原稿送り]、[原稿の画質]、[出力ファイル形式]などの項目を設定します。

文書に合わせて、カラー / モノクロや、片面 / 両面などを設定します。



11 〈スタート〉ボタンを押します。

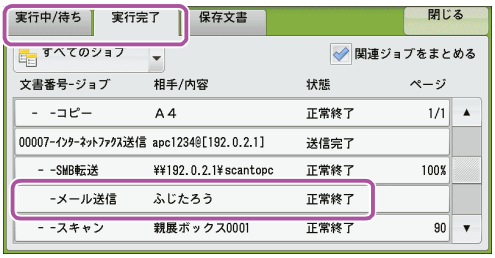


メールが送信されたかを確認する

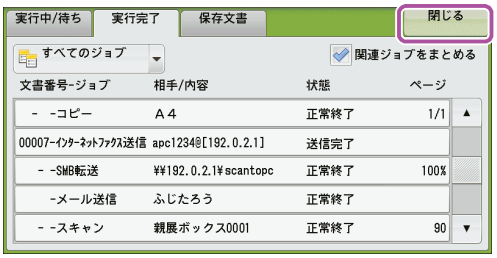
1 〈ジョブ確認〉ボタンを押します。



2 [実行完了]タブまたは[実行中 / 待ち]タブを選択し、メール送信した文書の[状態]を確認します。

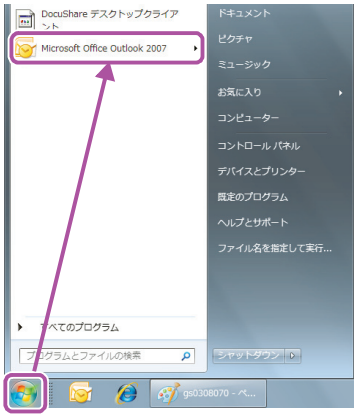


3 ［閉じる］を押します。



受信した文書をコンピューターで確認する

1 コンピューターで、本機のアドレスから送られているメールを開き、添付文書を確認します。



スキャンした文書を処理するとき、メール送信と PC 保存を同時に実行する（ジョブフロー）オプション

ジョブフローとは、本体機器のインプット、アウトプットの複数の機能を組み合わせ、一連の作業として登録しておくものです。インプットとなる作業を開始すると、自動的に登録してある作業を実行できます。

ジョブフローには、親展ボックスに関連付けて登録しておくものと、スキャン文書を対象とするもの（ApeosPort のみ）の 2 種類があります。前者のジョブフローは、本機でも作成できますが、後者は ApeosWare EasyAdmin（有償）や、Device Setup（デバイス設定ツール）などのアプリケーションソフトウエアで作成します。また、これらのアプリケーションソフトウエアを使うと、複数の作業を同時に行うジョブフローを作成できます。

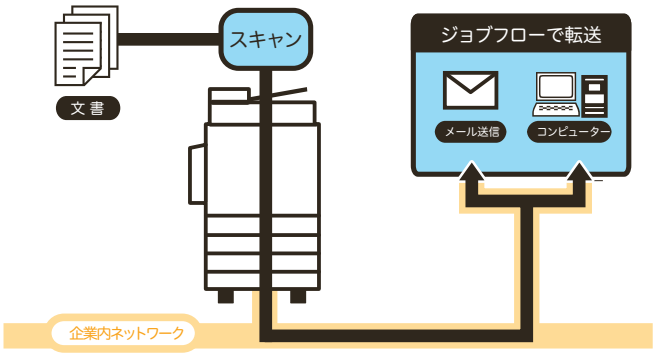
本書では、スキャン文書をメールに添付して、指定した宛先に送付すると同時に、指定したコンピューターの共有フォルダーに保存するジョブフローを作成して実行します。

注記

- この機能は、ApeosPort のみ使用できます。

補足

- スキャン機能は、お使いの機種によっては利用できません。利用するにはオプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。



次の流れで設定します。

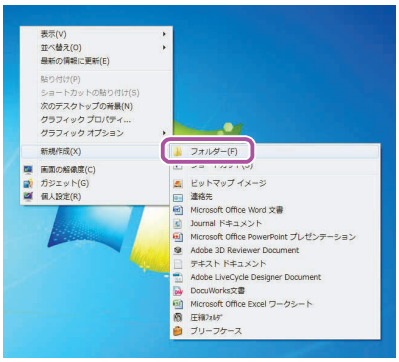
- 「Device Setup（デバイス設定ツール）をインストールする」(P.137)
- 「Device Setup（デバイス設定ツール）に本機を登録する」(P.141)
- 「ジョブフローを作成して本機に登録する」(P.142)
- 「ジョブフローを使う」(P.147)
- 「共有フォルダーに保存できたか確認する」(P.148)

ここでは、スキャンした文書の送信先に関する次の情報が必要です。

- 本機の機種名
- 本機の IP アドレス
- 送信先のメールアドレス
- 送信先のコンピューター名
- 送信先のコンピューターに作成した共有フォルダーの名前
- Windows にログオンするためのユーザー名
- Windows にログオンするためのパスワード

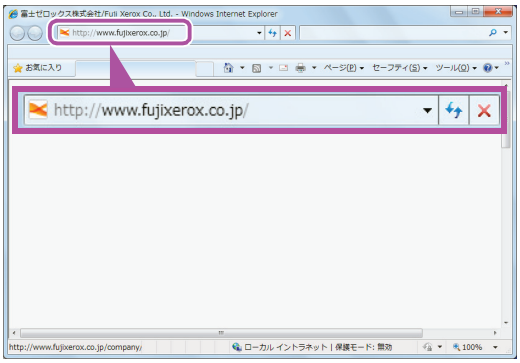
Device Setup（デバイス設定ツール）をインストールする

1 デスクトップ上の任意の場所に、ダウンロード用のフォルダーを作成し、任意の名前を付けます。



2 Microsoft Internet Explorer（Web ブラウザー）の［アドレス］に次の URL を入力し、〈Enter〉キーを押します。

http://www.fujixerox.co.jp/



3 ［商品情報］をクリックし、［ソフトウェア］をクリックします。

弊社公式サイトの構成やデザインは、予告なく変更されることがあります。



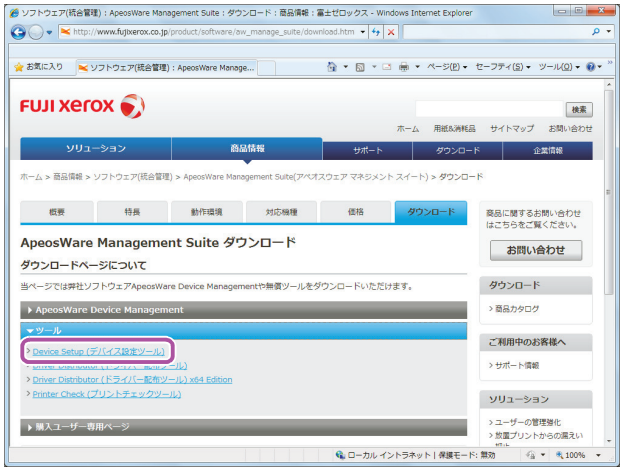
4 ［ApeosWare ManagementSuite］をクリックします。



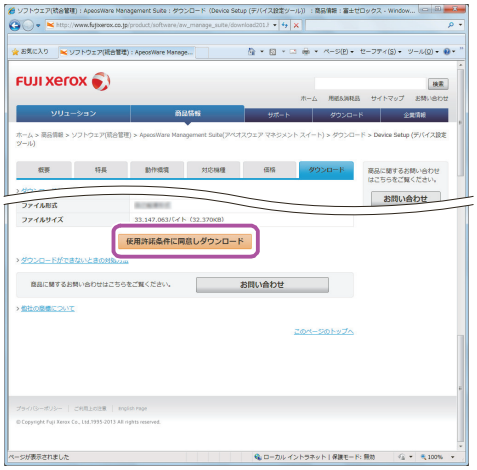
5 ［ダウンロード］をクリックします。



6 ［Device Setup（デバイス設定ツール）］をクリックします。



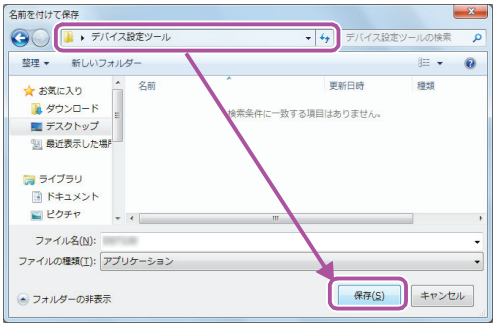
7 ［使用許諾条件に同意しダウンロード］をクリックします。



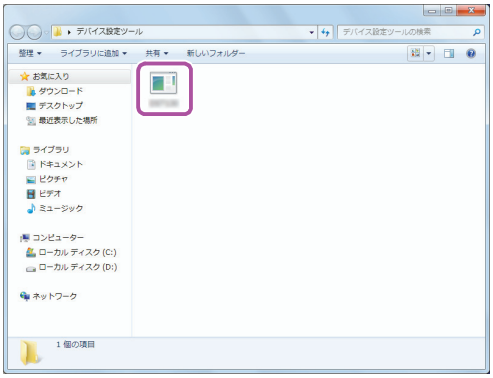
8 ［保存］をクリックします。



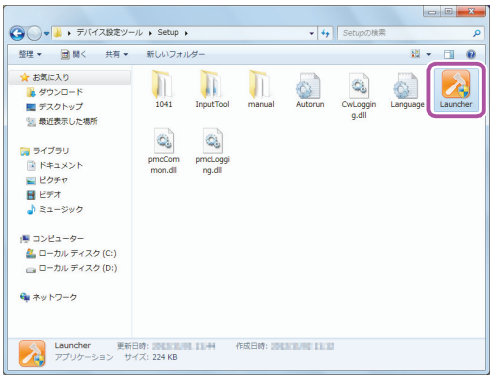
9 ファイルの保存先を、「Device Setup（デバイス設定ツール）をインストールする」（P.137）の手順 1 で作成したフォルダーに指定し、［保存］をクリックします。



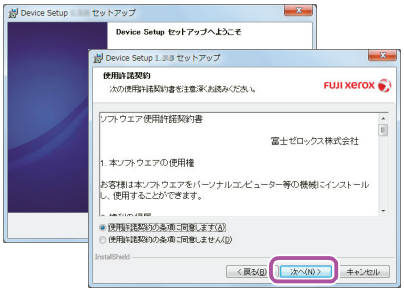
10 ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。



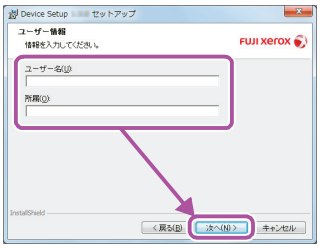
11 ［Setup］フォルダーを開き、［Launcher.exe］をダブルクリックします。



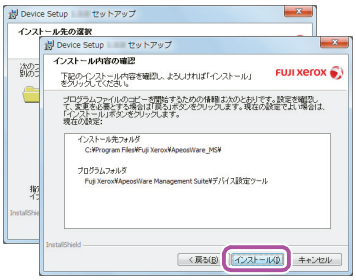
12 画面の指示に従って［次へ］をクリックします。



13 ［ユーザー名］、［所属］を入力し、［次へ］をクリックします。

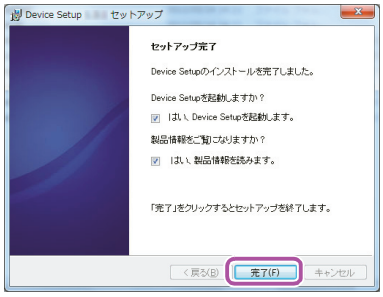


14 画面の指示に従って［次へ］をクリックし、最後に［インストール］をクリックします。



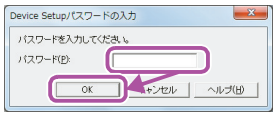
15 ［完了］をクリックします。

Device Setup（デバイス設定ツール）が起動します。続いて Device Setup（デバイス設定ツール）に本機を登録します。

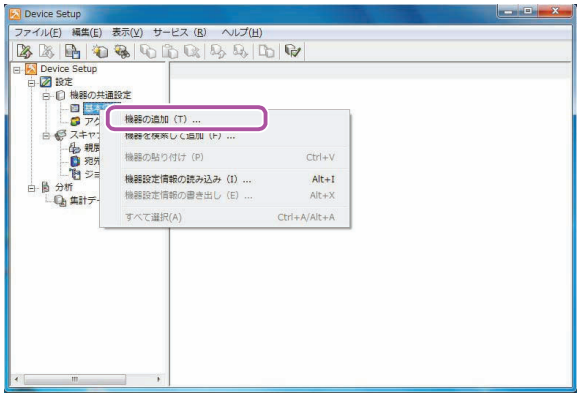


Device Setup（デバイス設定ツール）に本機を登録する

1 Device Setup（デバイス設定ツール）のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

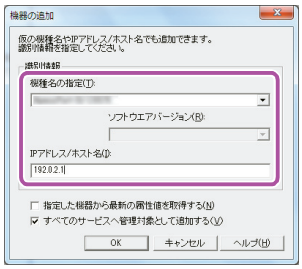


2 ［基本情報］を右クリックし、［機器の追加］を選択します。

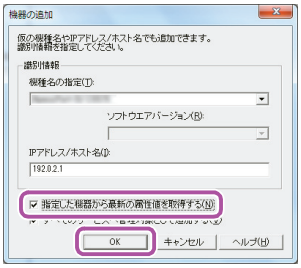


3 ［機種名の指定］で、機種名を選択します。

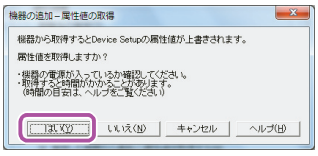
［IP アドレス / ホスト名］に、IP アドレスを入力します。



4 ［指定した機器から最新の属性値を取得する］にチェックし、［OK］をクリックします。

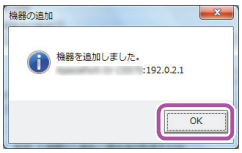


5 ［はい］をクリックします。



6 ［OK］をクリックします。

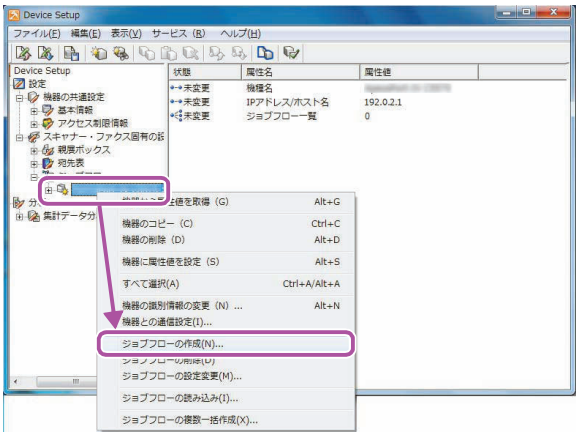
本機が Device Setup（デバイス設定ツール）に登録され、本機の情報が Device Setup（デバイス設定ツール）に取り込まれました。



ジョブフローを作成して本機に登録する

メールを送信するための設定をする

1 本機を右クリックし、［ジョブフローの作成］を選択します。



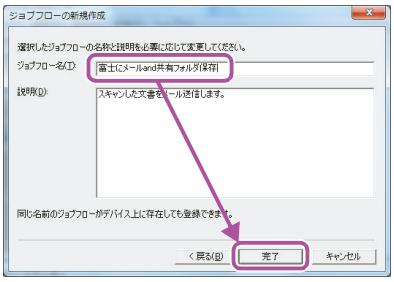
2 スキャン文書をメール送信するジョブフローのアイコンをクリックし、[次へ] をクリックします。

アイコンを選択すると、右側の説明欄に「スキャンした文書にメール送信します。」と表示されます。



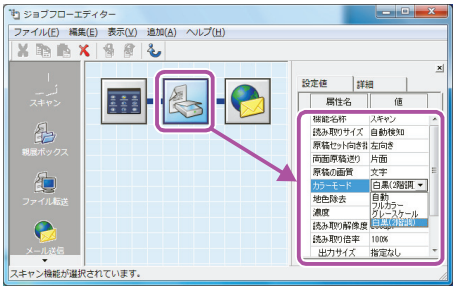
3 [ジョブフロー名] にわかりやすい名前を入力し、[完了] をクリックします。

入力した名前は、本機でジョブフローを選択する画面で表示されます。



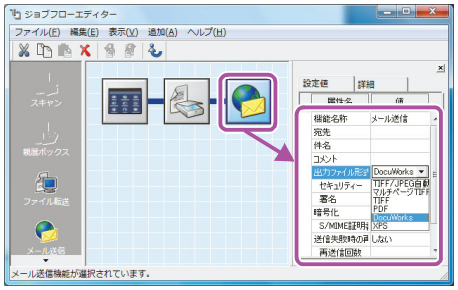
4 スキャンのアイコンをクリックし、スキャンするときのカラーモードや解像度、片面 / 両面などを設定します。

[値] の項目は、ドロップダウンメニューから選択できます。



5 メール送信のアイコンをクリックし、宛先や件名、コメント、ファイル形式などを設定します。

[値] の項目は、ドロップダウンメニューから選択できます。



「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。

共有フォルダーに転送するための設定をする

6 スキャンのアイコンをクリックします。



7 画面の左側にあるアイコン一覧から［ファイル転送］をドラッグして、右側にある［スキャン］のアイコンにドロップします。



8 ファイル転送のアイコンをクリックします。



9 ［転送先］を設定します。

［転送方式］が［SMB］の場合は、コンピューター名と共有フォルダーの名前を、「￥￥コンピューター名￥共有フォルダーの名前」という形式で入力します。

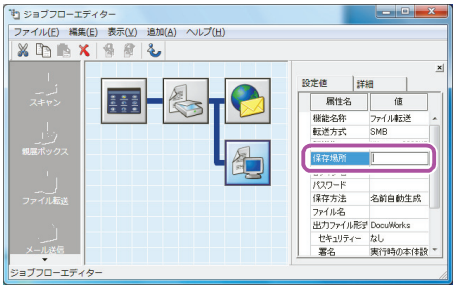
本書では例として、「￥￥Soumu0808￥ScantoPC」を入力します。



10 ［保存場所］を設定します。

- 共有フォルダー内にサブフォルダーがある場合は、そのフォルダー名を入力すると、ファイルの格納先に指定できます。

- 共有フォルダーの直下に保存する場合は、この項目を設定する必要はありません。



11 ［ログイン名］に、ユーザー名を入力します。



12 ［パスワード］に、パスワードを入力します。



13 ［保存方法］を設定します。



14 ［ファイル名］に、転送されるファイルの名前を設定します。

［保存方法］を［名前自動生成］に設定した場合は、この項目を設定する必要はありません。

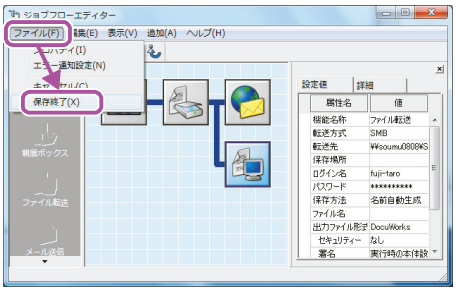


15 [出力ファイル形式] を設定します。

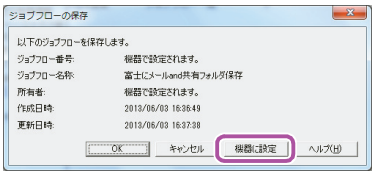


「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。

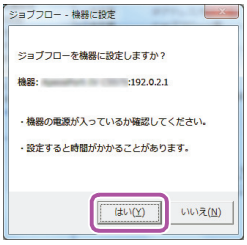
16 [ファイル] メニューから [保存終了] を選択します。



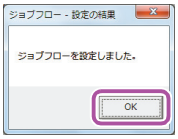
17 [機器に設定] をクリックします。



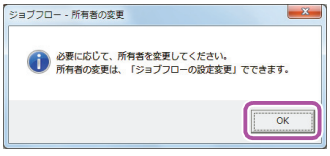
18 [はい] をクリックします。



19 [OK] をクリックします。

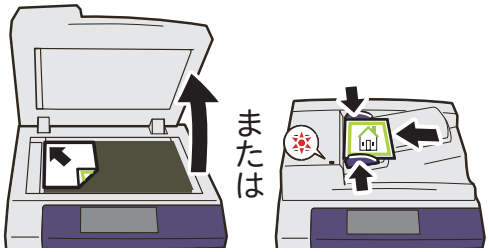


20 [OK] をクリックします。

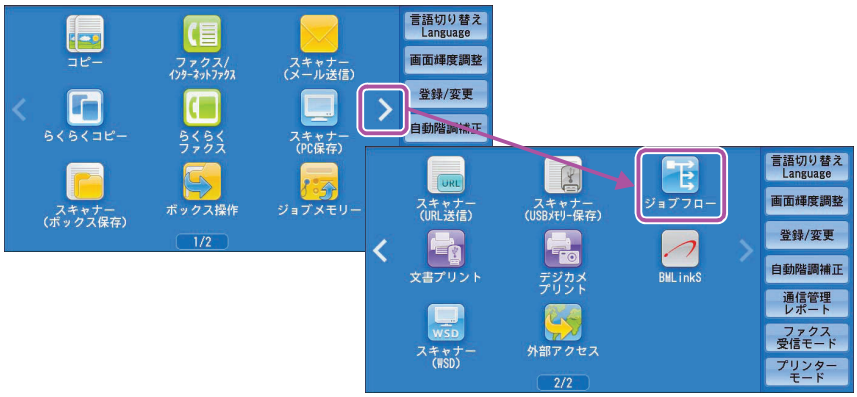


ジョブフローを使う

1 本機に文書をセットします。

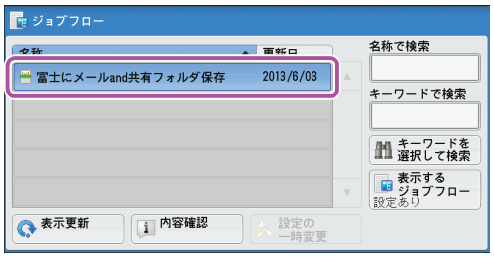


2 を押し、［ジョブフロー］を押します。



「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

3 実行したい登録したジョブフローを選択します。



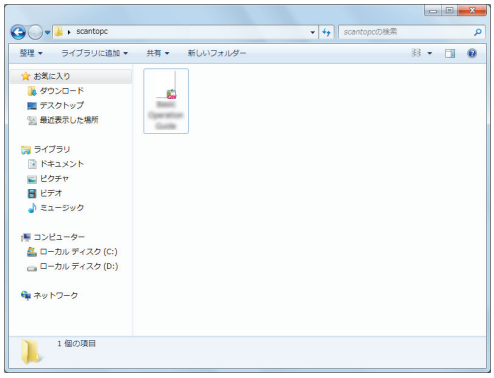
4 〈スタート〉ボタンを押します。

スキャン文書が、ジョブフローの設定どおりにメールに添付され、送信されます。さらに、作成した共有フォルダーに保存されます。



共有フォルダーに保存できたか確認する

1 ジョブフローで登録した共有フォルダーやメールを確認し、文書があることを確認します。



プリント機能

- Windows からプリントする 150
- Mac OS X からプリントする 163
- プライベートプリントでプリントする（プライベートプリント） 173

補足

- 使用しているコンピューターの画面イメージは、2014 年 4 月現在のものです。各種ドライバーやユーティリティソフトウエアのバージョンアップによって、本書に記載している内容が、お客様がお使いのものと異なる場合があります。

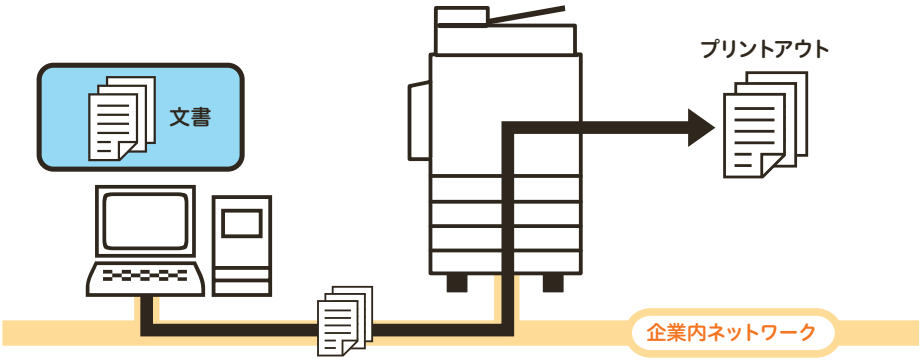
Windows からプリントする

本機のプリンター機能を使うには、お使いのコンピューターに、プリンタードライバーをインストールする必要があります。

プリンタードライバーとは、コンピューターに接続されているプリンターを管理するプログラムです。

プリンタードライバーを使うことで、用紙のサイズや向き、プリントする部数を設定できます。また、複数のページをまとめて 1 枚にプリント（N アップ）したり、両面でプリント、カラー複合機の場合はカラー文書を白黒でプリントといった、本機の様々な機能を活用できます。

ここでは、Windows でのプリント方法について説明します。



次の流れで設定します。

- 「プリント用の標準ドライバーをダウンロードする」(P.151)
- 「プリント用の標準ドライバーをインストールする」(P.154)
- 「カスタムセットアップでプリンターをインストールする」(P.160)
- 「コンピューターからプリントを指示する」(P.161)

ここでは、次の情報が必要です。

- 本機の機種名
- 本機の IP アドレス

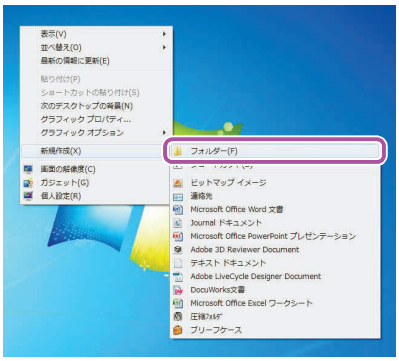
プリント用の標準ドライバーをダウンロードする

プリンタードライバーの入手方法は、次の 2 つがあります。

- 本機に同梱されているドライバー CD キットの CD-ROM を使う。
- 弊社公式サイトからダウンロードする。

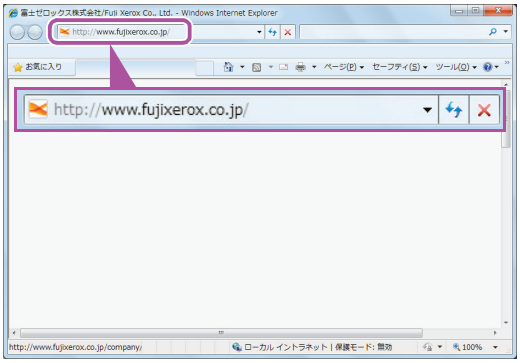
ここでは、弊社公式サイトから標準ドライバー（ART EX ドライバー）をダウンロードしてインストールする方法を説明します。

1 デスクトップ上の任意の場所に、ダウンロード用のフォルダーを作成し、任意の名前を付けます。



2 Microsoft Internet Explorer（Web ブラウザー）の［アドレス］に次の URL（ホームページアドレス）を入力し、〈Enter〉キーを押します。

http://www.fujixerox.co.jp/

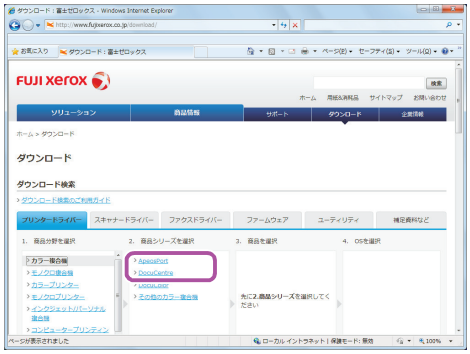


3 ［ダウンロード］をクリックし、［プリンタードライバー］から、［カラー複合機］または［モノクロ複合機］をクリックします。

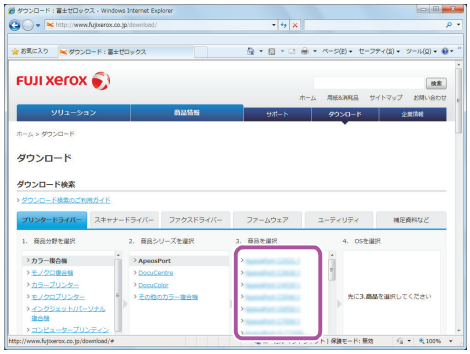
弊社公式サイトの構成やデザインは、予告なく変更されることがあります。



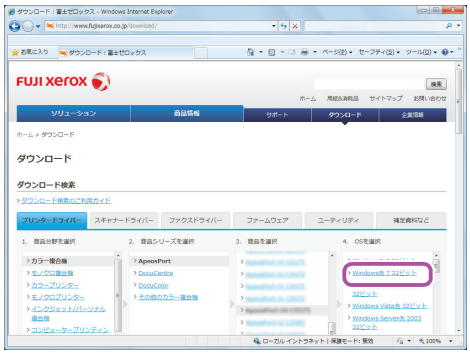
4 本機の商品シリーズ（[ApeosPort] または［DocuCentre]）をクリックします。



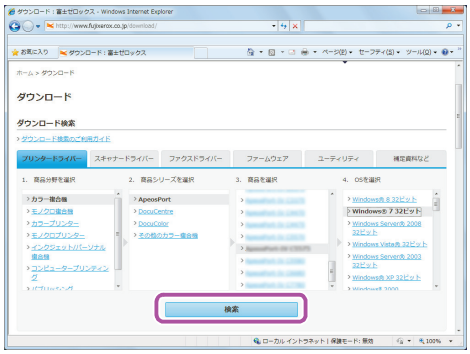
5 本機の機種名をクリックします。



6 お使いのコンピューターの OS（オペレーティングシステム）をクリックします。



7 ［検索］をクリックします。



8 ART EX ドライバーのダウンロードページに進みます。



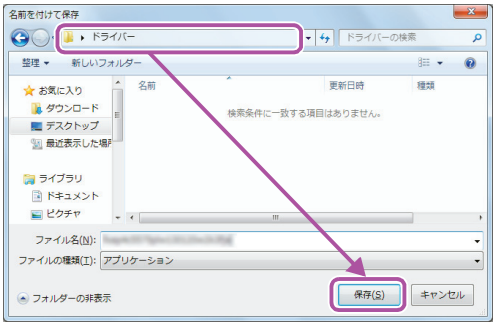
9 ［使用許諾条件に同意しダウンロード］をクリックします。



10 ［保存］をクリックします。



11 ファイルの保存先を、「プリント用の標準ドライバーをダウンロードする」(P.151) の手順 1 で作成したフォルダーに指定し、［保存］をクリックします。

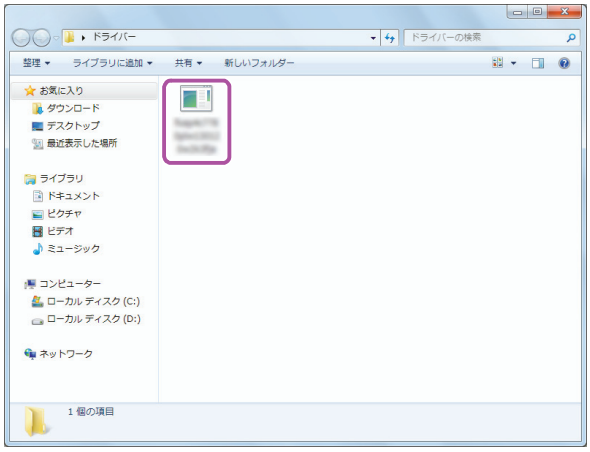


プリント用の標準ドライバーをインストールする

プリンタードライバーのインストール（プリンターのセットアップ）方法には、「標準セットアップ」と「カスタムセットアップ」があります。

ここでは、本機がコンピューターと同じサブネットに TCP/IP で接続されている場合と、USB で接続されている場合を例に、「標準セットアップ」でインストールする方法を説明します。

1 ダウンロードした標準ドライバーを、ダブルクリックします。

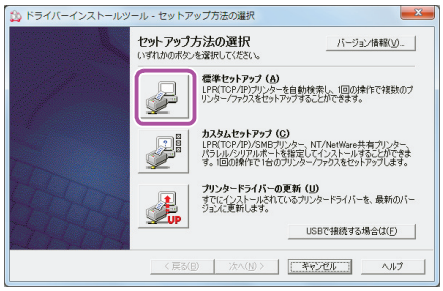


2 [解凍先フォルダ] が、「プリント用の標準ドライバーをダウンロードする」(P.151) の手順 1 で作成したフォルダー名になっていることを確認し、[OK] をクリックします。



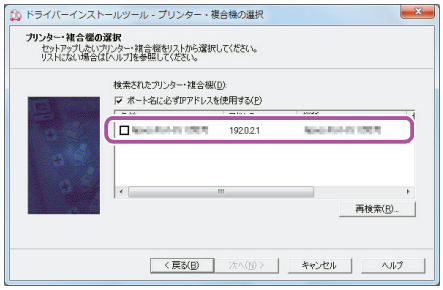
3 [標準セットアップ] ボタンをクリックします。

本機が、コンピューターと同じサブネットに TCP/IP で接続されていない場合は、[カスタムセットアップ] ボタンをクリックしてください。

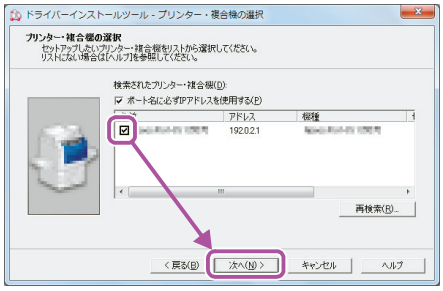


4 お使いのコンピューターと同じサブネット内にある TCP/IP 接続されている機器が、リスト表示されます。［アドレス］に表示された IP アドレスが、本機の IP アドレスと合っていることを確認します。

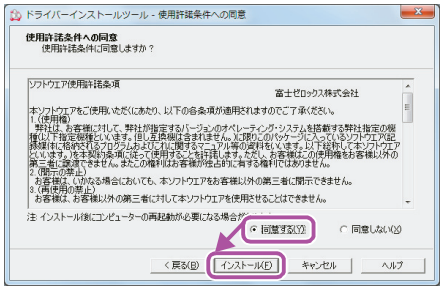
本機が表示されない場合は、［戻る］をクリックし、［カスタムセットアップ］ボタンをクリックしてください。



5 本機をチェックし、［次へ］をクリックします。

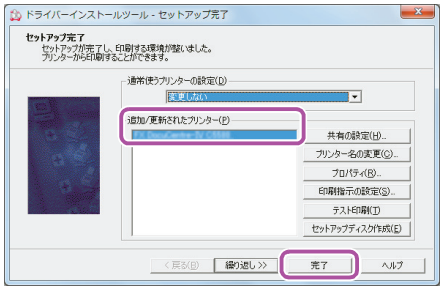


6 使用許諾条件を確認して、［同意する］をチェックし、［インストール］をクリックします。

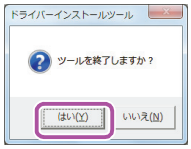


7 セットアップ完了画面が表示されたら、［追加 / 更新されたプリンター］に、本機が表示されていることを確認し、［完了］をクリックします。

警告画面が表示されたら、［続行］ボタンをクリックして、インストール作業を続行してください。



8 [はい] をクリックします。



USB 接続の場合

1 付属のドライバーCD キットを利用する場合は、CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
弊社公式サイトからダウンロードしたプリンタードライバーを利用する場合は、ダウンロードしたファイルを解凍します(「プリント用の標準ドライバーをインストールする」(P.154) の手順 1、2)。

補足

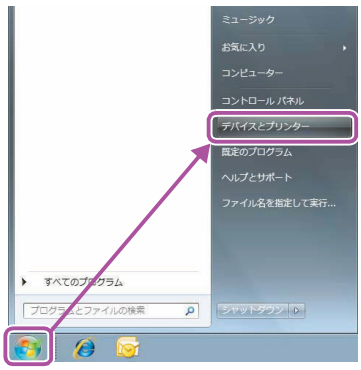
- [セットアップ方法の選択] 画面が表示されたら、[キャンセル] をクリックします。そのあと、ダイアログボックスが表示されるので、[はい] をクリックして閉じてください。

2 本機とコンピューターを、USB ケーブルで接続します。

補足

- ドライバーが正しくインストールされないことを知らせるメッセージが表示されます。

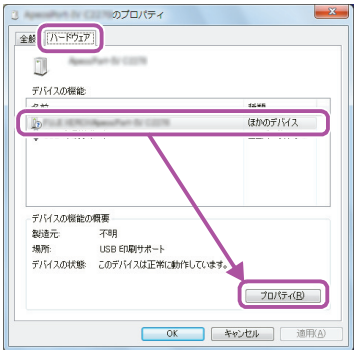
3 [スタート] をクリックし、表示されるメニューから [デバイスとプリンター] を選択します。



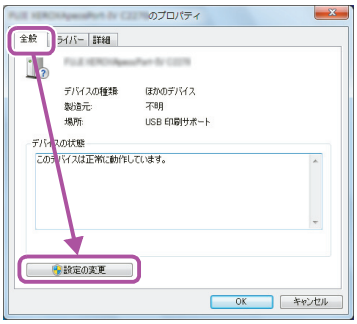
4 [未指定] に追加されたプリンターアイコンを右クリックし、表示されるメニューから [プロパティ] を選択します。



5 ［ハードウェア］タブを開き、［デバイスの機能］から追加された本機を選択し、［プロパティ］をクリックします。



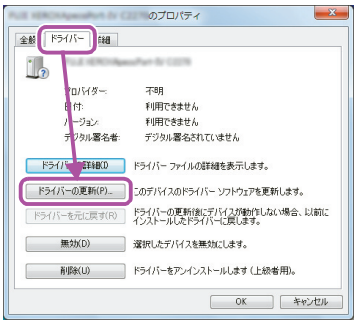
6 ［全般］タブを開き、［設定の変更］をクリックします。



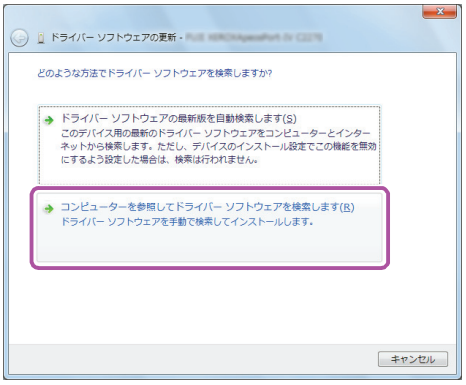
補足

- ［設定の変更］が表示されないときは、手順 7 に進んでください。

7 ［ドライバー］タブを開き、［ドライバーの更新］をクリックします。



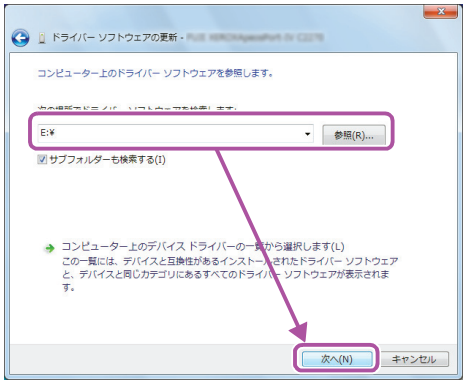
8 ［コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します］をクリックします。



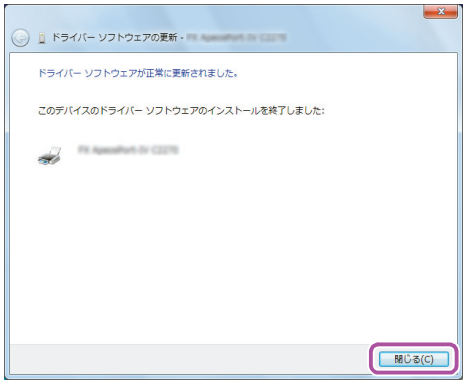
9 ［参照］をクリックし、ドライバーソフトウエアのありかを指定し、［次へ］をクリックします。

補足

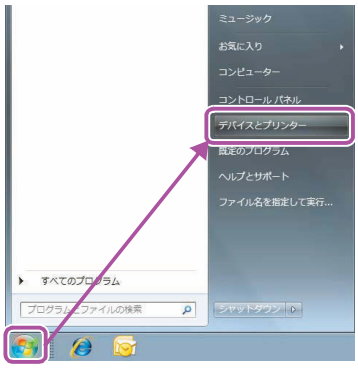
- ［ドライバーソフトウェアの発行元を検証できません］画面が表示された場合は、［このドライバーソフトウェアをインストールします］を選択し、ドライバーソフトウェアをインストールします。



10 ［閉じる］をクリックします。



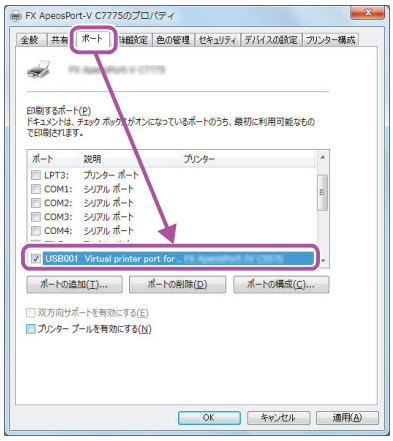
11 ［スタート］をクリックし、表示されるメニューから［デバイスとプリンター］を選択します。



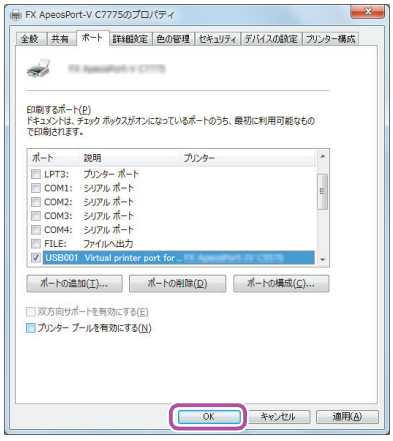
12 本機のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから［プリンターのプロパティ］を選択します。



13 ［ポート］タブを開き、［印刷するポート］で USB ポートが設定されていることを確認します。



14 ［OK］をクリックします。



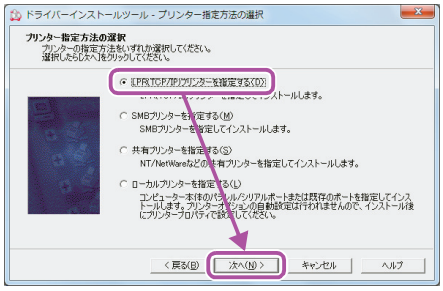
カスタムセットアップでプリンターをインストールする

「標準セットアップ」（「プリント用の標準ドライバーをインストールする」(P.154)）でインストールができないときや、本機が、コンピューターと同じサブネットに TCP/IP で接続されていない場合は、「カスタムセットアップ」でインストールしてください。

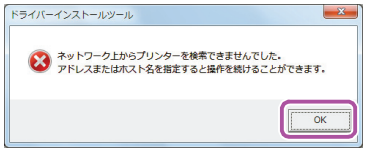
1 ［カスタムセットアップ］ボタンをクリックします。



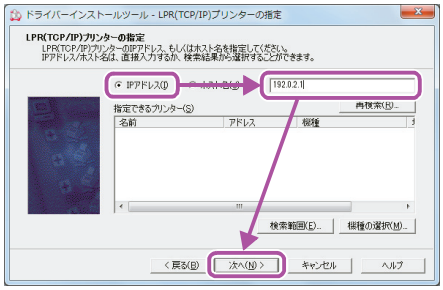
2 ［LPR（TCP/IP）プリンターを指定する］を選択し、［次へ］をクリックします。



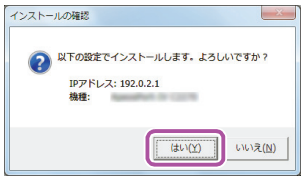
3 ［OK］をクリックします。



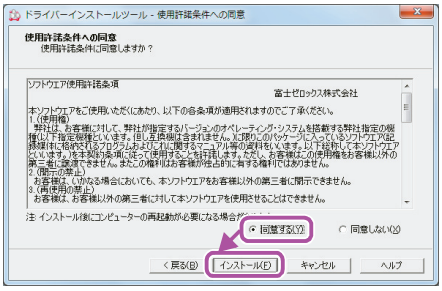
4 ［IP アドレス］を選択して IP アドレスを入力し、［次へ］クリックします。



5 ［はい］クリックします。

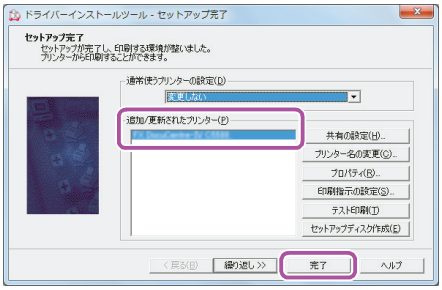


6 使用許諾条件を確認して、［同意する］をチェックし、［インストール］をクリックします。

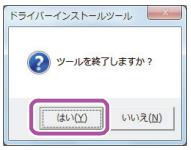


7 セットアップ完了画面が表示されたら、［追加 / 更新されたプリンター］に、本機が表示されていることを確認し、［完了］をクリックします。

警告画面が表示されたら、［続行］ボタンをクリックして、インストール作業を続行してください。



8 ［はい］をクリックします。



コンピューターからプリントを指示する

1 プリントする文書を表示します。

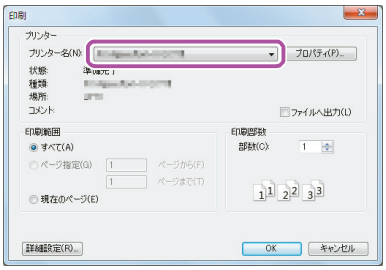
2 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

補足

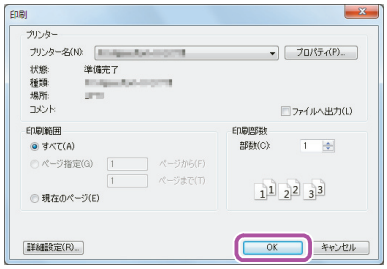
- アプリケーションソフトウエアによっては、メニューの呼びかたが異なることがあります。

3 ［プリンター名］で本機を選択します。

必要に応じて、［プロパティ］で設定を変更します。



4 ［OK］をクリックします。



Mac OS X からプリントする

本機のプリンター機能を使うには、お使いのコンピューターに、プリンタードライバーをインストールする必要があります。

プリンタードライバーとは、コンピューターに接続されているプリンターを管理するプログラムです。プリンタードライバーを使うことで、用紙のサイズや向き、プリントする部数を設定できます。また、複数のページをまとめて 1 枚にプリント（N アップ）したり、両面でプリント、カラー文書を白黒でプリントといった、本機の様々な機能を活用できます。

ここでは、Macintosh でのプリント方法について説明します。



次の流れで設定します。

- 「プリント用の標準ドライバーをインストールする」(P.163)
- 「プリンターを追加する」(P.167)
- 「コンピューターからプリントを指示する」(P.171)

プリント用の標準ドライバーをインストールする

プリンタードライバーの入手方法は、次の 2 つがあります。

- 本機に同梱されているドライバー CD キットの CD-ROM を使う。
- 弊社公式サイトからダウンロードする。

ここでは、ドライバー CD キットの CD-ROM から標準ドライバー（Mac OS X 用プリンタードライバー）をインストールする方法を説明します。

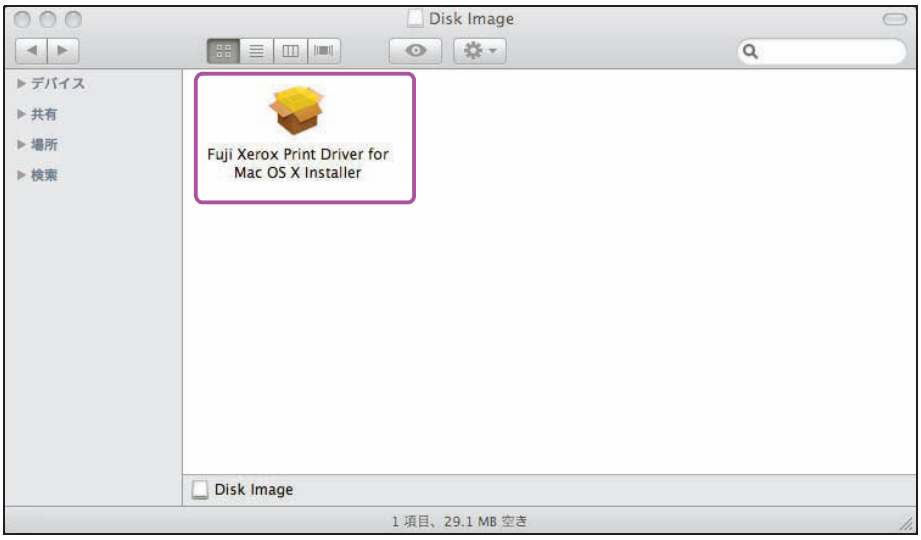
注記

- Mac OS X 用プリンタードライバーは、Mac OS X 10.5 / 10.6、Mac OS X 10.7 Lion、OS X 10.8 Mountain Lion、OS X 10.9 Mavericks に対応しています。
- Mac OS X にプリンタードライバーをインストールする場合は、管理者権限のあるユーザーでログインしてください。

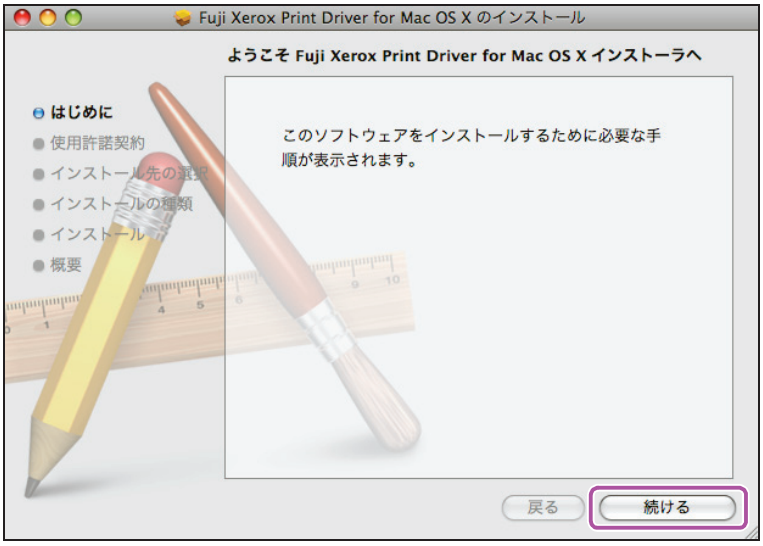
ここでは、次の情報が必要です。

- 本機の IP アドレス

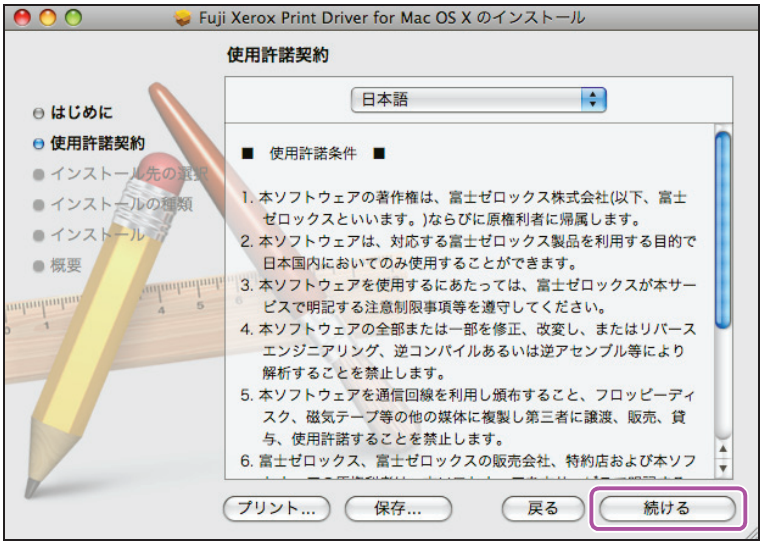
1 ［Jpn > MacDrivr］ボリューム内にある、［Fuji Xerox Print Driver for Mac OS X Installer］アイコンを、ダブルクリックします。



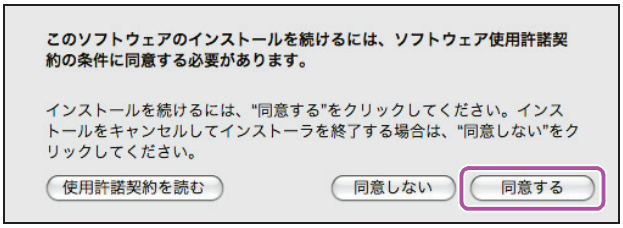
2 ［続ける］をクリックします。



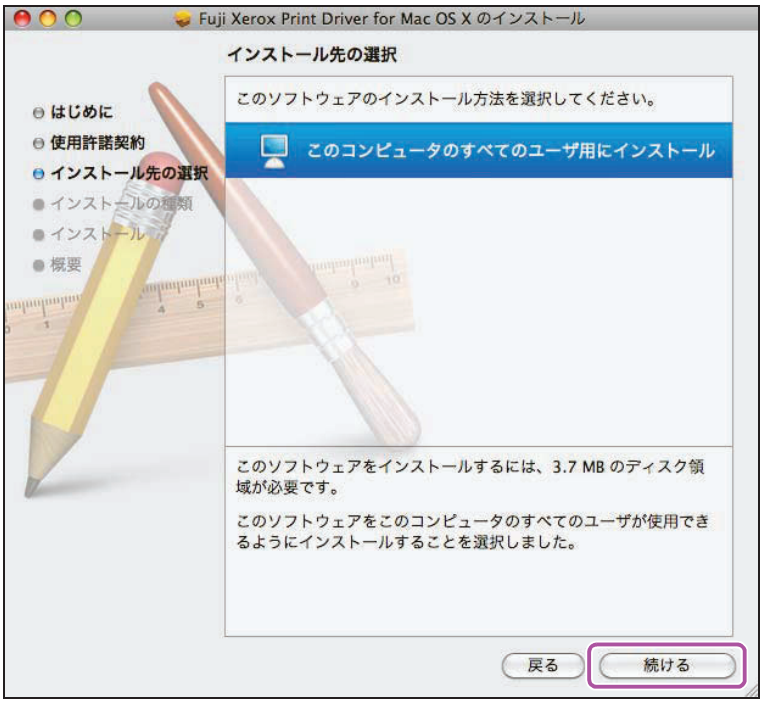
3 使用許諾条件を確認し、［続ける］をクリックします。



4 ［同意する］をクリックします。



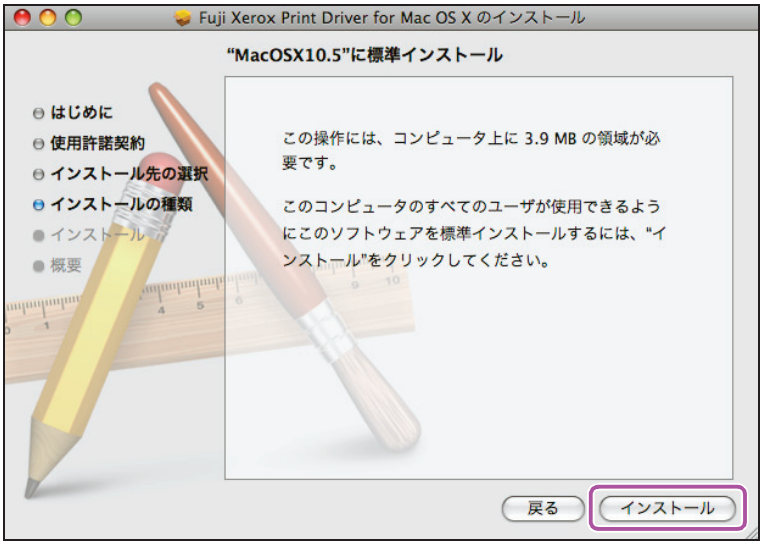
5 ［続ける］をクリックします。



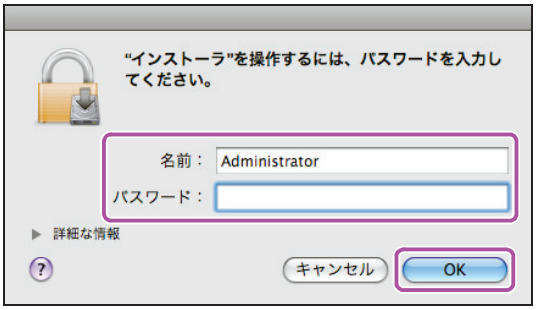
補足

- 2 回目以降のインストールの場合は、この画面は表示されません。次の手順に進んでください。なお、コンピューターを再起動してからインストールした場合は、2 回目以降であってもこの画面は表示されます。

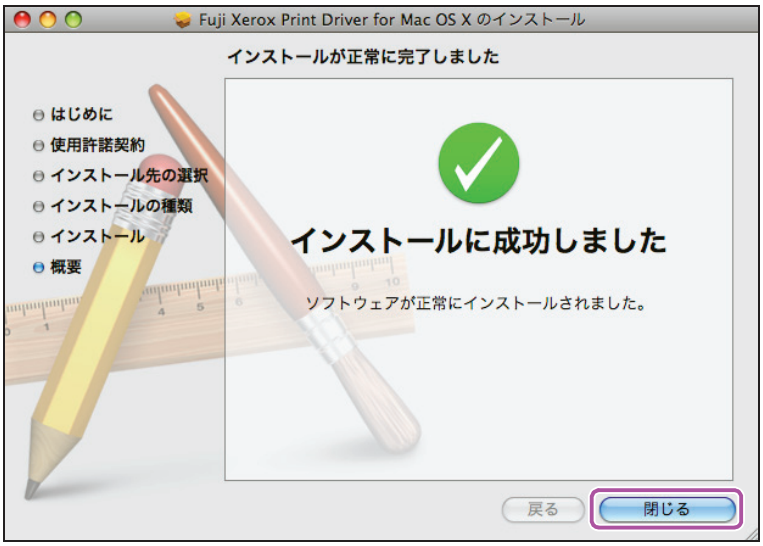
6 ［インストール］をクリックします。



7 ［名前］と［パスワード］を入力して、［OK］をクリックします。



8 ［閉じる］をクリックします。



プリンターを追加する

プリンターの一覧に、本機を追加します。

注記

- 本機と Macintosh の接続の方法によって、操作手順は異なります。ここでは、LPR 接続の場合について説明します。

1 本機の電源が入っていることを確認します。

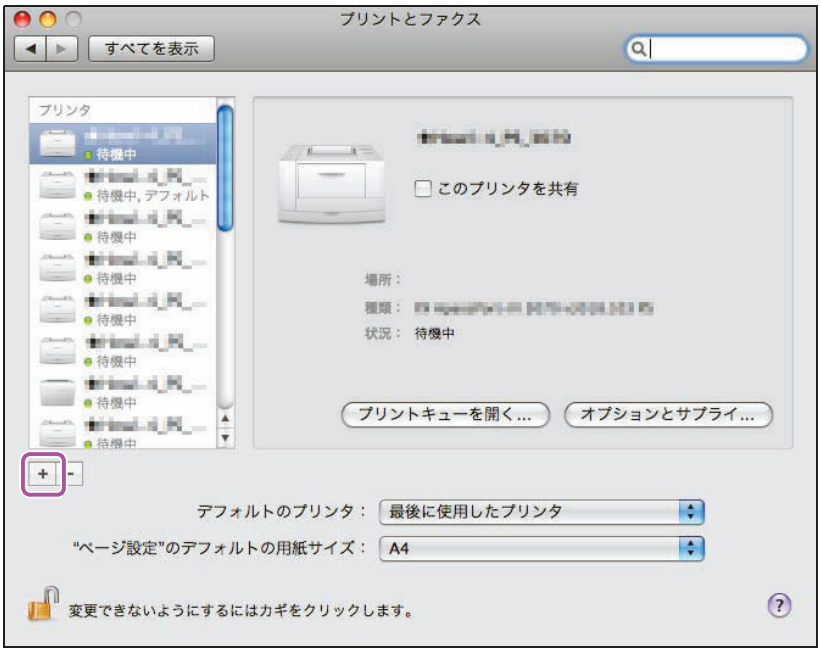
2 [Apple] メニューから［システム環境設定］を開き、［プリントとファクス］を選択します。

補足

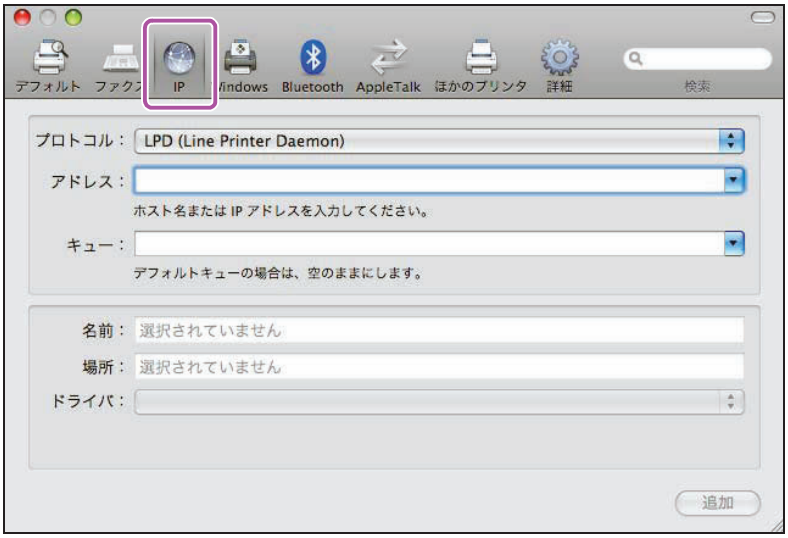
- アプリケーションソフトウエアによっては、メニューの呼びかたが異なることがあります。



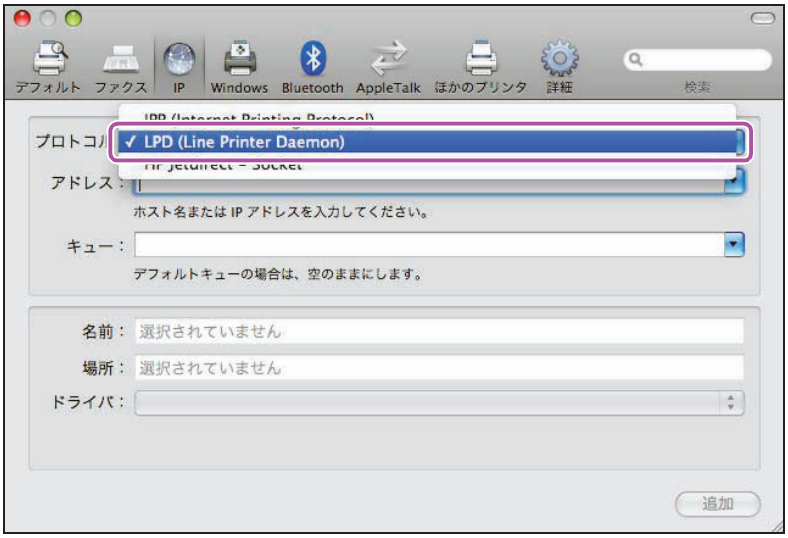
3 ［プリントとファクス］ウィンドウにある左下の［+］ボタンをクリックします。



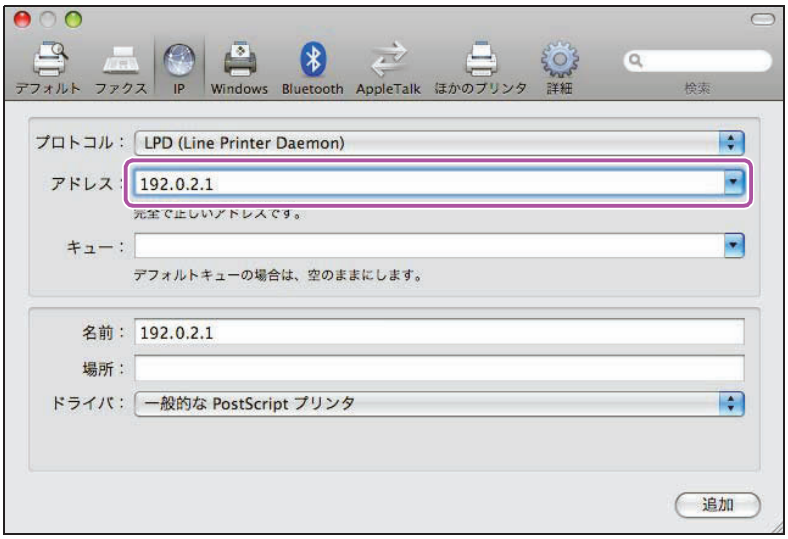
4 表示されたウィンドウにある［IP］をクリックします。



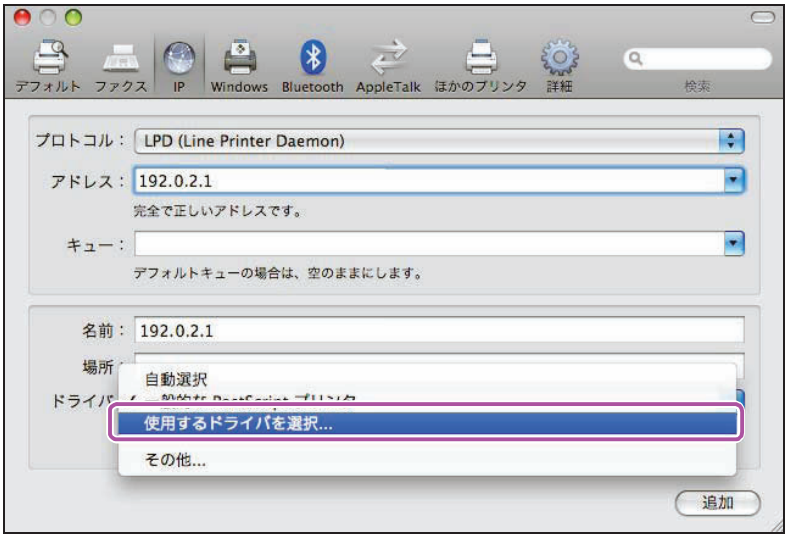
5 ［プロトコル］プルダウンメニューで［LPD（Line Printer Daemon）］を選択します。



6 ［アドレス］に、本機の IP アドレスを入力します。



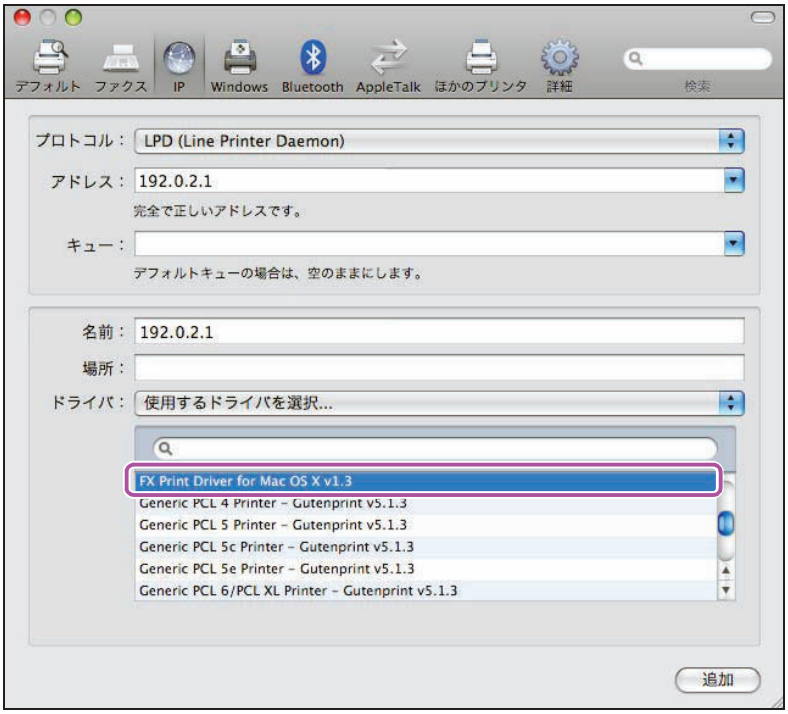
7 ［ドライバ］から［使用するドライバを選択 ...］を選択します。



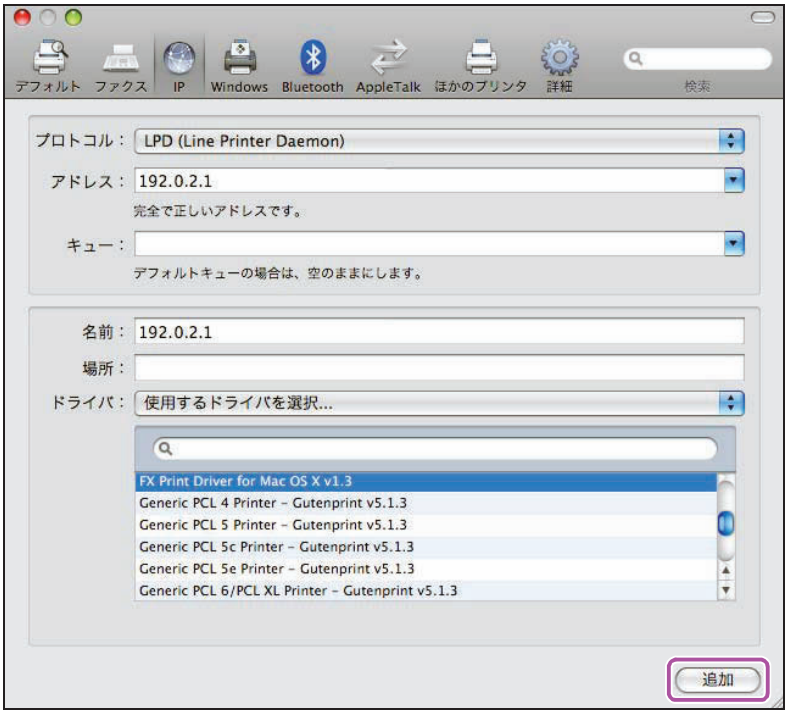
8 表示されたドライバの一覧から、「FX Print Driver for Mac OS X vX.X」を選択します。

補足

- 「X.X」は、バージョンを表します。



9 ［追加］をクリックします。

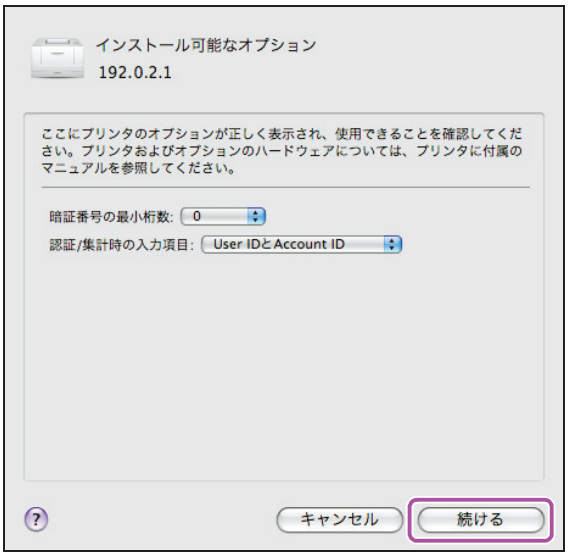


10 ［インストール可能なオプション］ウィンドウで、オプションの設定をします。

オプションの設定は、インストール後でも変更できます。



11 ［続ける］をクリックします。



コンピューターからプリントを指示する

1 プリントする文書を表示します。

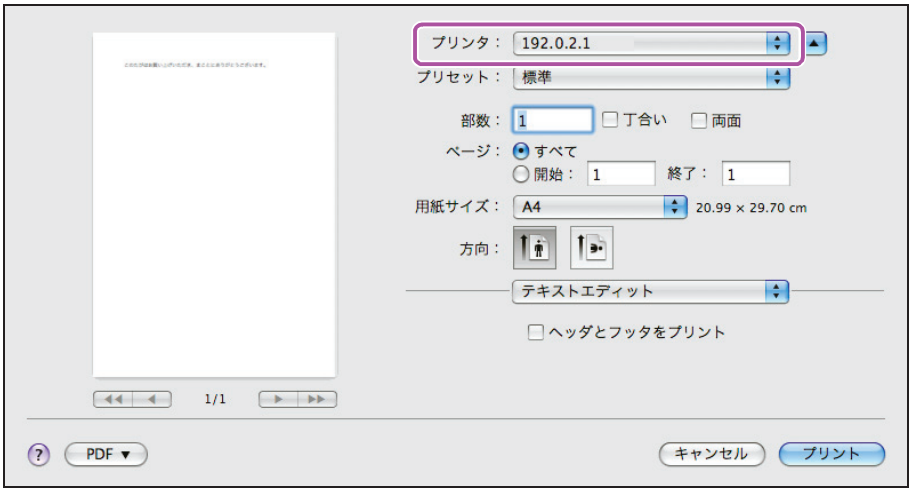
2 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

補足

- アプリケーションソフトウエアによっては、メニューの呼びかたが異なることがあります。

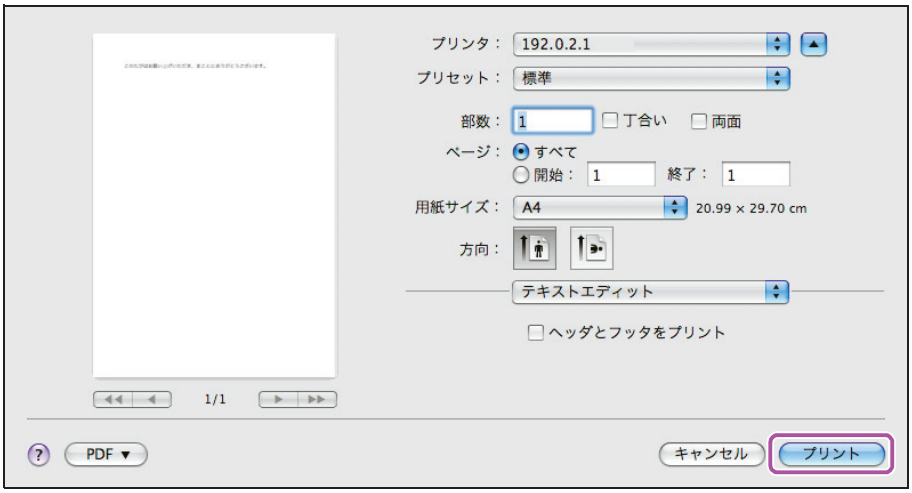
3 ［プリンタ］で本機を選択します。

必要に応じて、各設定を変更します。



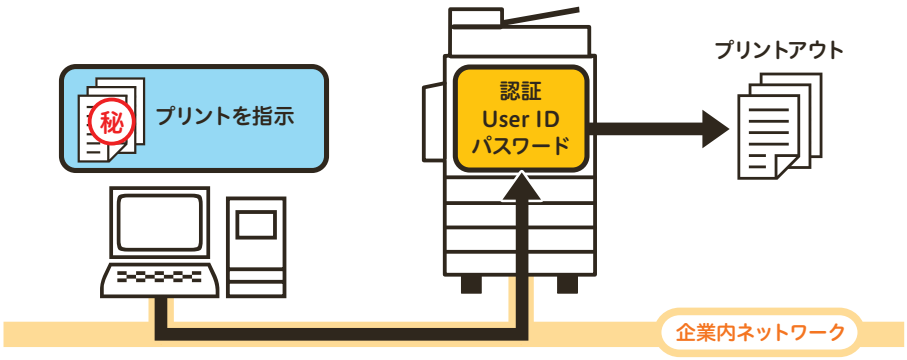
4 ［プリント］をクリックします。

お使いのアプリケーションによって、表示される内容が異なります。



プライベートプリントでプリントする（プライベートプリント）

プライベートプリントとは、プリント指示の際に User ID を設定し、本機で認証操作を行うことで、自分がプリント指示した文書だけを出力できる機能です。これにより、機密文書を第三者に見られる危険性を減らすとともに、放置プリントを減らすことによるコスト削減が可能になります。



本書では、本機に登録したユーザーから送信された文書を認証してプライベートプリントに保存して、本機で User ID を入力することでプリントアウトできるように設定する方法を説明します。

次の流れで設定します。

- 「本機の認証を「本体認証」に設定する」(P.173)
- 「パスワードを運用する」(P.175)
- 「本機にユーザーを登録する」(P.176)
- 「本機でプライベートプリントを設定する」(P.178)
- 「[プライベートプリント] ボタンを表示するように設定する」(P.180)
- 「コンピューターを設定する」(P.182)
- 「コンピューターからプリントを指示する」(P.184)
- 「本機からプリントする」(P.185)

本機の認証を「本体認証」に設定する

1 〈認証〉ボタンを押します。



2 機械管理者 ID を入力し、［確定］を押します。

補足

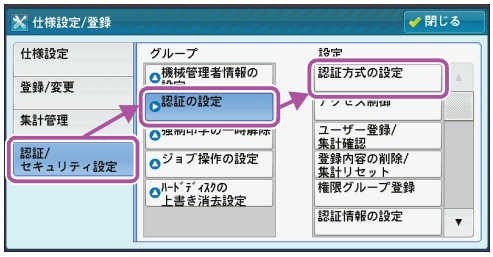
- 機械管理者 ID およびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。
- 認証中は、〈認証〉ボタンが点灯します。



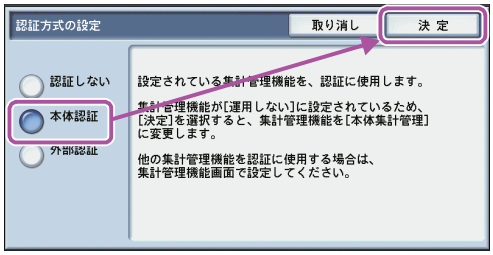
3 ［仕様設定 / 登録］を押します。



4 ［認証 / セキュリティ設定］>［認証の設定］>［認証方式の設定］を選択します。



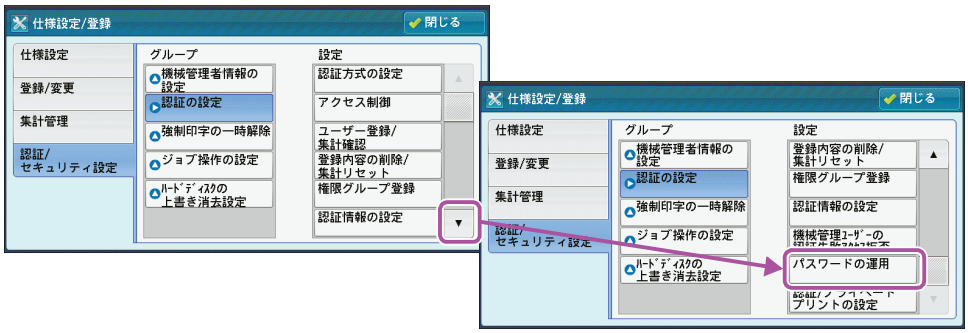
5 ［本体認証］を選択し、［決定］を押します。



パスワードを運用する

ユーザーが本機のパネルで認証をするときに、パスワードを入力するかどうかを設定します。
セキュリティーを強化するためにも、パスワードの運用をお勧めします。

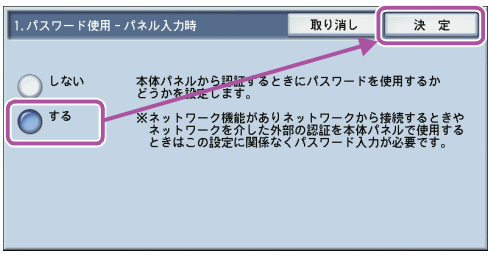
1 ▼ を押し、［パスワードの運用］を選択します。



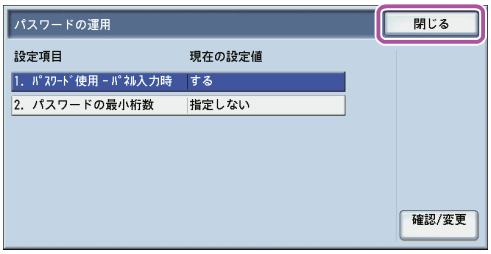
2 ［パスワード使用 - パネル入力時］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



3 ［する］を選択し、［決定］を押します。

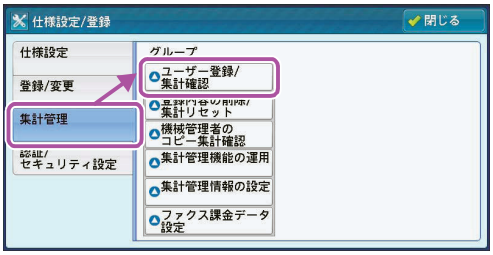


4 ［閉じる］を押します。

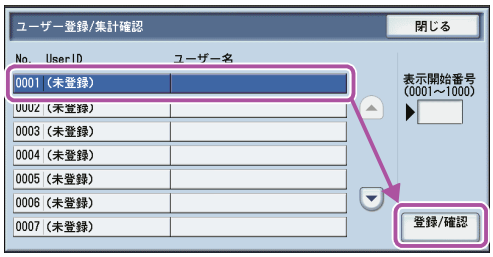


本機にユーザーを登録する

1 ［集計管理］を選択し、［ユーザー登録 / 集計確認］を選択します。



2 登録したい番号を選択し、［登録 / 確認］を押します。

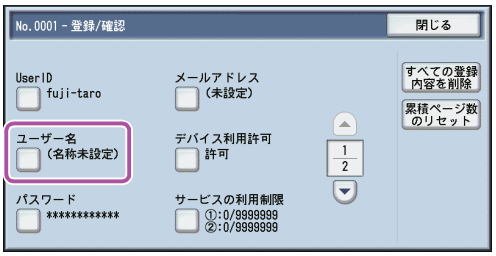


3 登録する User ID を入力し、［決定］を押します。

User ID は半角英数字 32 文字以内で設定します。

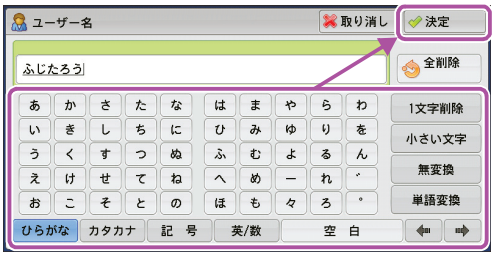


4 ［ユーザー名］を選択します。

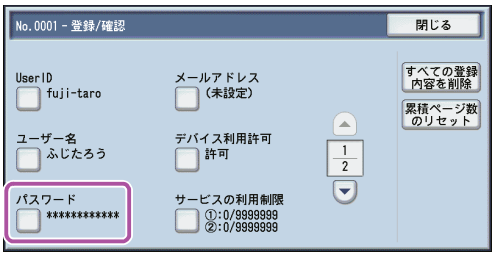


5 登録するユーザー名を入力し、［決定］を押します。

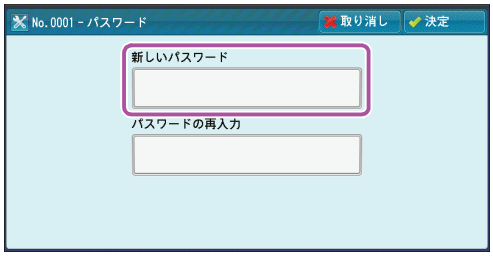
ユーザー名は全角 16 文字以内、半角 32 文字以内で設定します。



6 ［パスワード］を選択します。



7 ［新しいパスワード］を選択します。

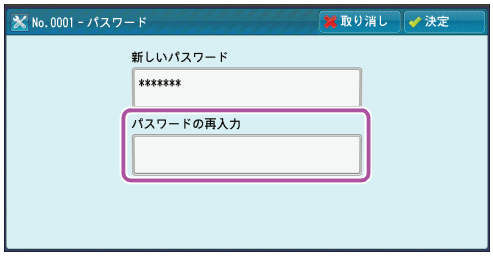


8 登録するパスワードを入力し、［決定］を押します。

パスワードは、4 ～ 12 桁の範囲で設定します。



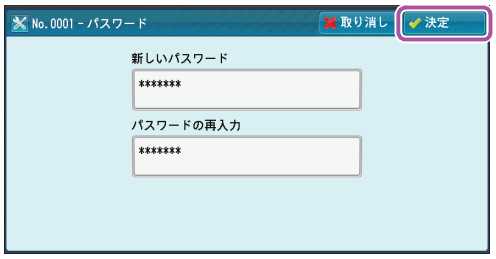
9 ［パスワードの再入力］を選択します。



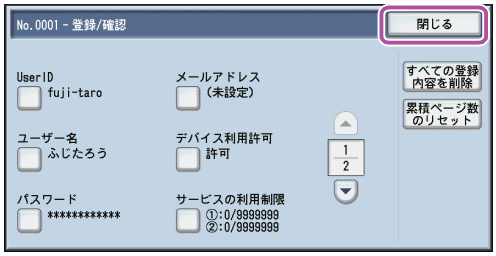
10 手順 8 で入力したパスワードを再度入力し、［決定］を押します。



11 ［決定］を押します。



12 ［閉じる］を押します。

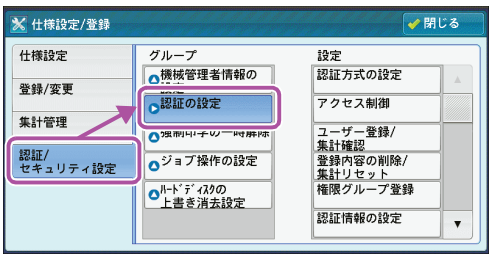


13 手順 2 の［ユーザー登録 / 集計確認］画面から繰り返し、必要なユーザーを登録します。

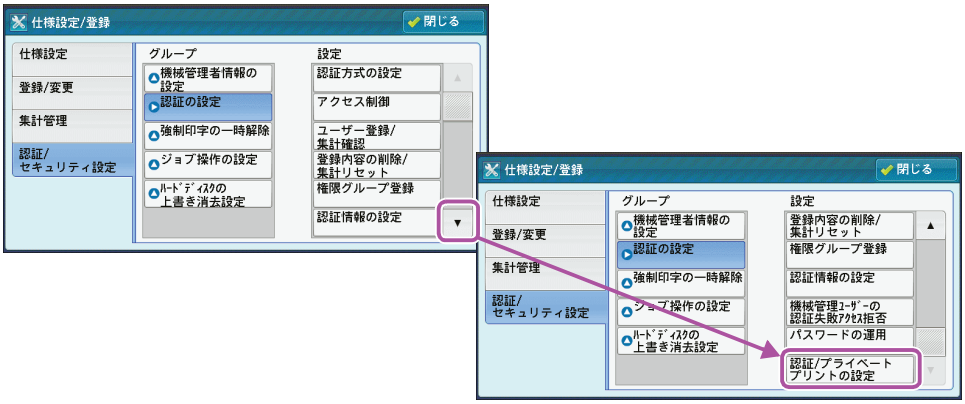


本機でプライベートプリントを設定する

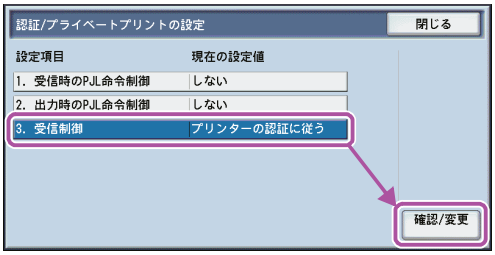
1 ［認証 / セキュリティ設定］>［認証の設定］を選択します。



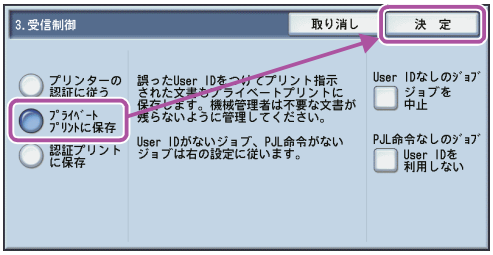
2 ▼ を押し、［認証 / プライベートプリントの設定］を選択します。



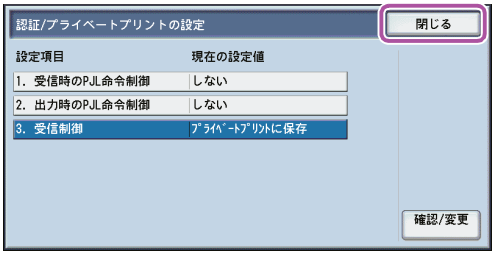
3 ［受信制御］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



4 ［プライベートプリントに保存］を選択し、［決定］を押します。



5 ［閉じる］を押します。



［プライベートプリント］ボタンを表示するように設定する

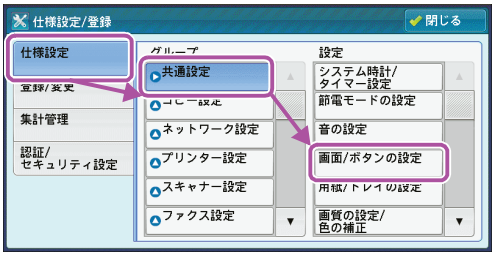
メニュー画面に［プライベートプリント］ボタンを表示させる場合は、以降の手順で設定します。必要に応じて設定してください。

ここでは、メニュー画面の補助機能ボタンに設定する方法する方法について説明します。

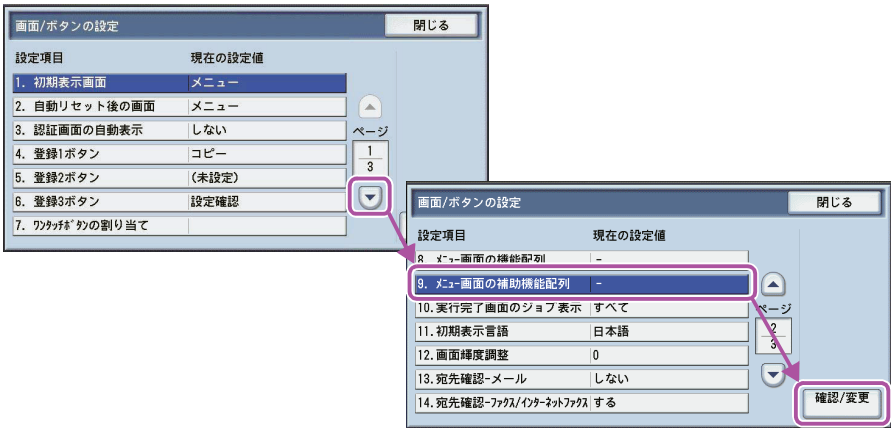
参照

- メニュー画面の機能ボタンに設定する方法については、『管理者ガイド』の「1 お使いいただく前に」>「操作パネルの設定変更について」>「機能ボタン / 補助機能ボタンの配列を変更する」を参照してください。

1 ［仕様設定］>［共通設定］>［画面 / ボタンの設定］を選択します。

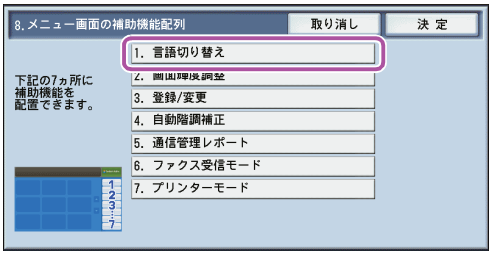


2 を押し、［メニュー画面の補助機能配列］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

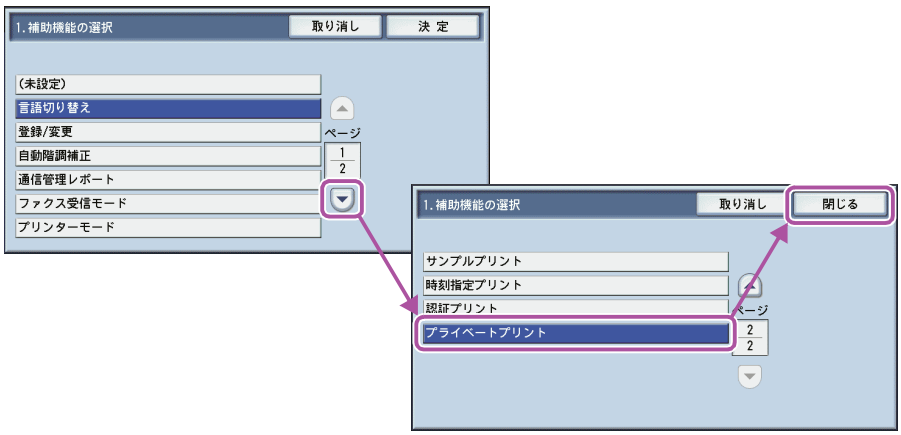


3 ボタンを配置したい場所を選択します。

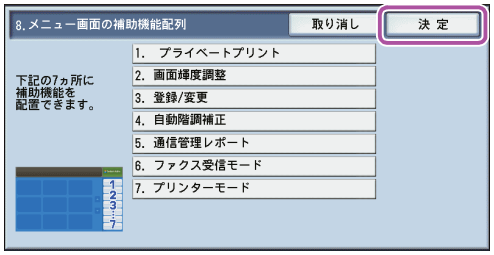
ここでは、［言語切り替え］を［プライベートプリント］に変更します。



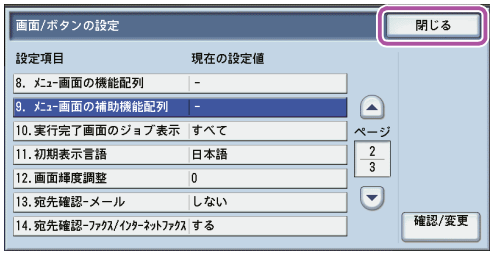
4 を押し、［プライベートプリント］を選択し、［閉じる］を選択します。



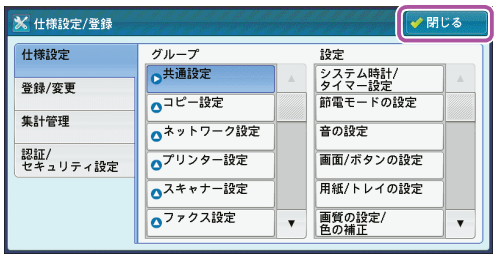
5 ［決定］を選択します。



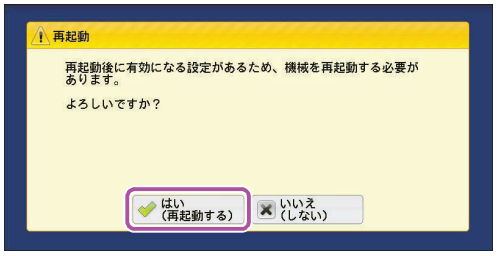
6 ［閉じる］を選択します。



7 ［閉じる］を選択します。



8 ［はい（再起動する）］を選択します。



9 メニュー画面で、各機能に鍵のマークがついていることと、［プライベートプリント］ボタンが表示されていることを確認します。

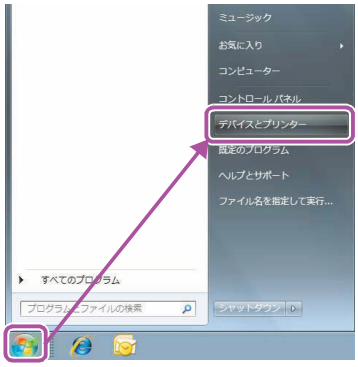


注記

- 以降、本機を操作するときは、User ID とパスワードが必要になります。

コンピューターを設定する

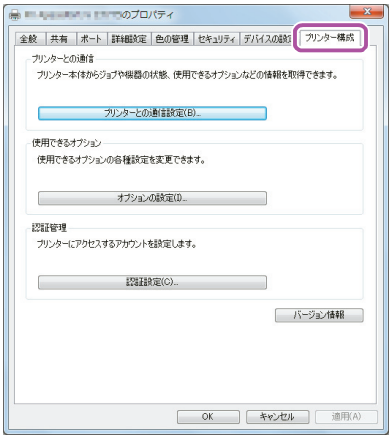
1 ［スタート］をクリックし、表示されるメニューから［デバイスとプリンター］を選択します。



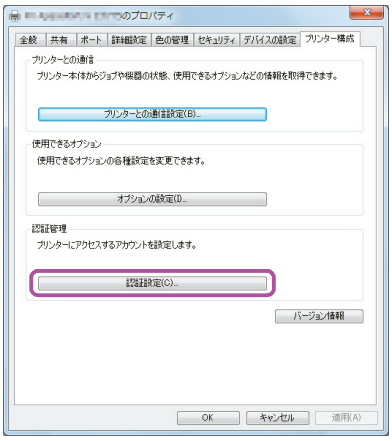
2 本機のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから［プリンターのプロパティ］を選択します。



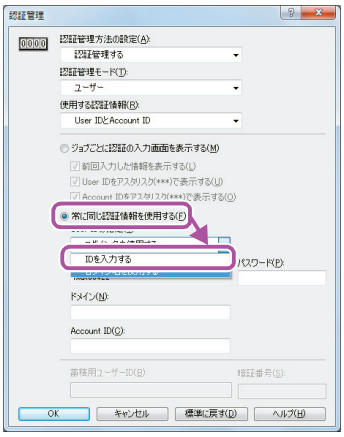
3 ［プリンター構成］タブをクリックします。



4 ［認証設定］をクリックします。



5 ［常に同じ認証情報を使用する］がチェックされていることを確認し、［User ID の指定］から［ID を入力する］を選択します。

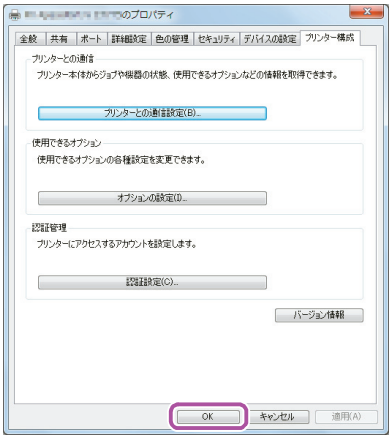


6 「本機にユーザーを登録する」(P.176) で登録したUser IDを入力し、[OK]をクリックします。

パスワードを設定した場合は、［パスワード］も入力します。



7 ［OK］をクリックします。



コンピューターからプリントを指示する

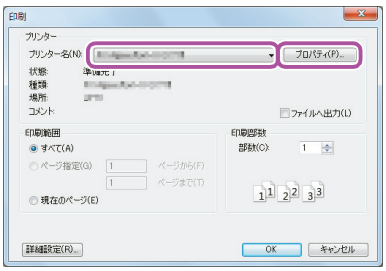
1 プリントしたい文書を表示します。

2 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

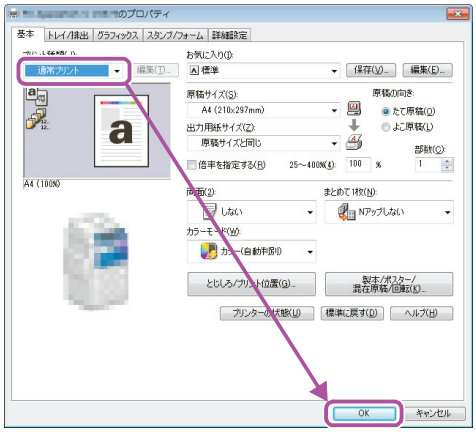
補足

- アプリケーションソフトウエアによっては、メニューの呼びかたが異なることがあります。

3 ［プリンター名］で本機を選択し、［プロパティ］をクリックします。

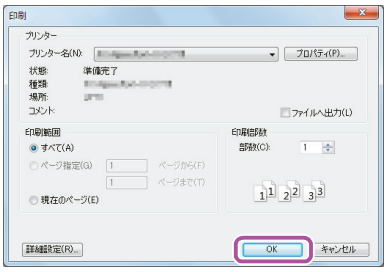


4 ［プリント種類］で［通常プリント］を選択し、［OK］をクリックします。



5 ［OK］をクリックします。

プリントを指示した文書が、本機のプライベートプリントに保存されます。続いて、本機の前に移動して、保存された文書をプリントします。



本機からプリントする

1 〈認証〉ボタンを押します。



2 「本機にユーザーを登録する」(P.176) で登録した User ID を入力し、[次へ]を選択します。



3 「本機にユーザーを登録する」(P.176) で登録したパスワードを入力し、[確定]を選択します。



4 [プライベートプリント]を選択します。

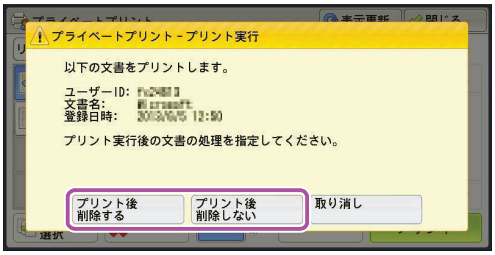


5 蓄積した文書の一覧から、プリントする文書を選択し、[プリント]を選択します。

一度に複数の文書を選択できます。



6 プリントしたあと、蓄積した文書を削除するかどうかを選択します。



7 〈認証〉ボタンを押します。

認証が解除されて、〈認証〉ボタンが消灯していることを確認します。



認証、集計機能

- ユーザーごとに枚数管理、機能利用制限を設定する（集計管理 / ユーザー登録 / 利用制限の設定）.....190

補足

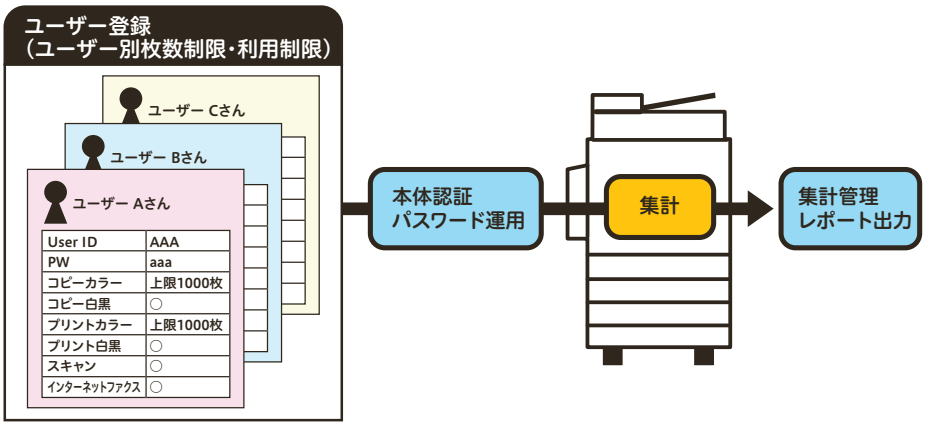
- 使用しているコンピューターの画面イメージは、2014 年 4 月現在のものです。各種ドライバーやユーティリティソフトウエアのバージョンアップによって、本書に記載している内容が、お客様がお使いのものと異なる場合があります。

ユーザーごとに枚数管理、機能利用制限を設定する（集計管理 / ユーザー登録 / 利用制限の設定）

ユーザーごとに、コピー、ファクス、スキャナー、プリンターの利用量を集計したり、各機能の利用を制限することができます。

この機能を利用すると、オフィスのプリントやコピーを節約するときの参考にできます。

集計管理や利用制限の機能を利用するためには、本機を認証モードに設定し、利用するユーザーを識別させる必要があります。



ユーザーごとの利用設定例を、次に記載します。各ケースに応じて、本書の操作手順を参照してください。

■ ユーザーごとに各機能の集計管理を行いたい

本体認証を設定	•「本体認証を設定する」(P.192)
パスワードを運用	•「パスワードを運用する」(P.193)
集計管理を設定	•「集計管理を設定する」(P.194)
ユーザーを登録	•「ユーザーを登録し、機能の利用制限を設定する」(P.195)

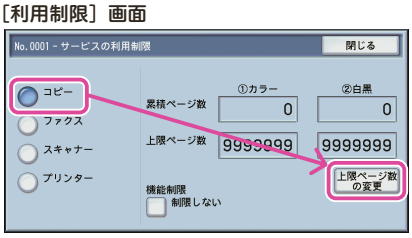
■ ユーザーごとに集計管理を行うと同時に、カラーコピー * の上限枚数を設定したい

注記

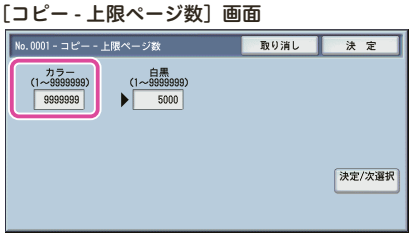
- ファクス機能は上限ページ数を設定できません。

本体認証を設定	•「本体認証を設定する」(P.192)
パスワードを運用	•「パスワードを運用する」(P.193)
集計管理を設定	•「集計管理を設定する」(P.194)
ユーザーを登録	•「ユーザーを登録し、機能の利用制限を設定する」(P.195)
利用制限を設定	•「機能の利用制限を設定する」(P.198)

［利用制限］画面



［コピー - 上限ページ数］画面



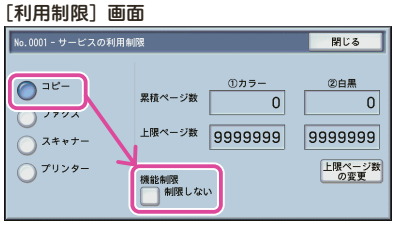
カラー / 白黒 * でコピー（スキャン / プリント）できる上限ページ数を、1 ～ 9999999 の範囲で 1 ページごとに〈数字〉ボタンで入力します。カラー複合機の場合、入力場所を切り替えるときは、［決定 / 次選択］を選択して▲を移動します。上記の画面は［コピー - 上限ページ数］画面の例です。

* コピー / プリントは、カラー複合機のみ

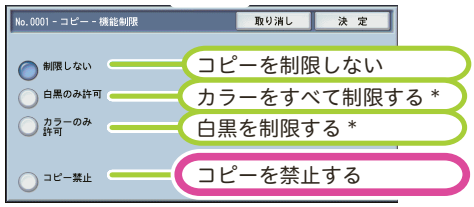
■ ユーザーごとに集計管理を行うと同時に、使える機能を制限したい

本体認証を設定	•「本体認証を設定する」(P.192)
パスワードを運用	•「パスワードを運用する」(P.193)
集計管理を設定	•「集計管理を設定する」(P.194)
ユーザーを登録	•「ユーザーを登録する」(P.195)
利用制限を設定	•「機能の利用制限を設定する」(P.198)

［利用制限］画面



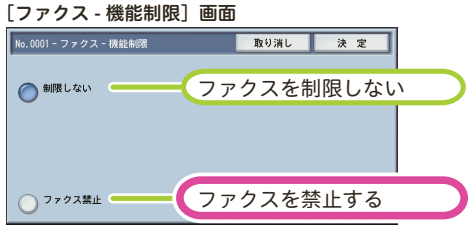
［コピー - 機能制限］画面



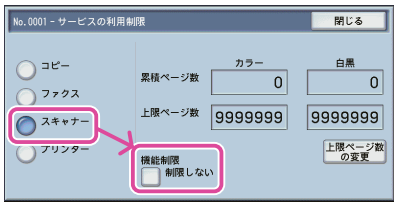
［利用制限］画面



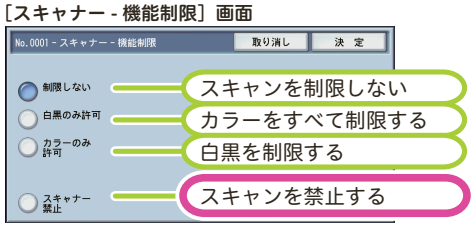
［ファクス - 機能制限］画面



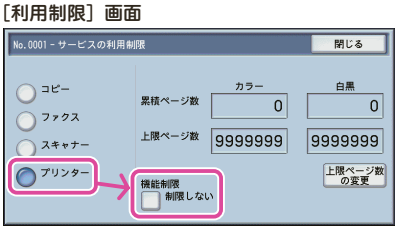
［利用制限］画面



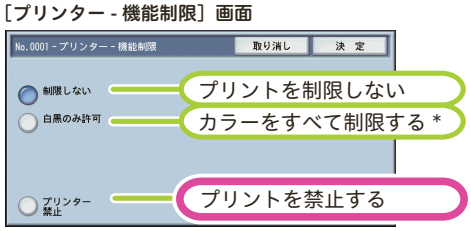
［スキャナー - 機能制限］画面



［利用制限］画面



［プリンター - 機能制限］画面



* カラー複合機のみ

本体認証を設定する

本機を利用するユーザーを識別するために、本体を認証モードにします。

1 〈認証〉ボタンを押します。



2 機械管理者 ID を入力し、［確定］を選択します。



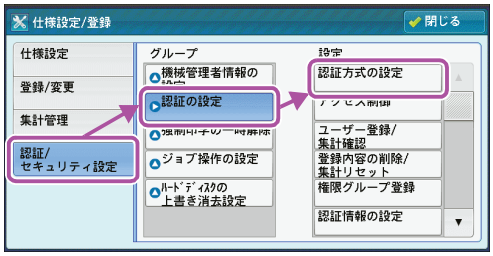
補足

- 機械管理者 ID およびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。
- 認証中は、〈認証〉ボタンが点灯します。

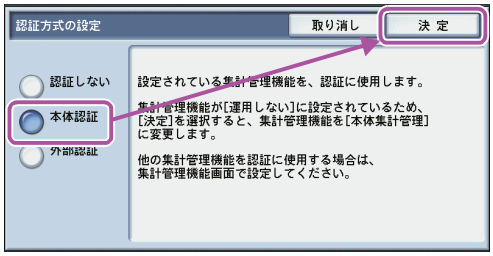
3 ［仕様設定 / 登録］を押します。



4 ［認証 / セキュリティ設定］>［認証の設定］>［認証方式の設定］を選択します。



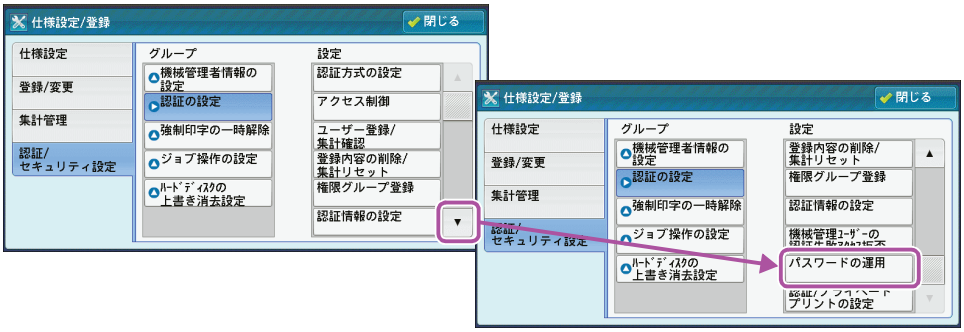
5 ［本体認証］を選択し、［決定］を押します。



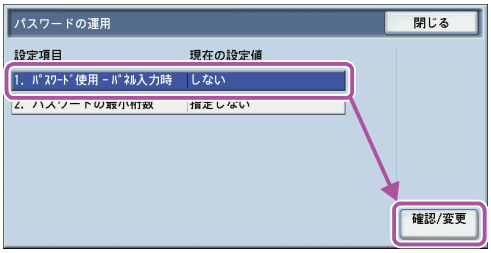
パスワードを運用する

ユーザーが本機のパネルで認証をするときに、パスワードを入力するかどうかを設定します。
セキュリティーを強化するためにも、パスワードの運用をお勧めします。

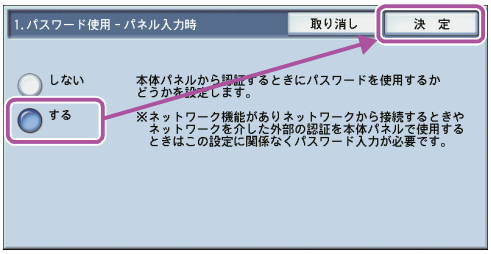
1 ▼ を押し、［パスワードの運用］を選択します。



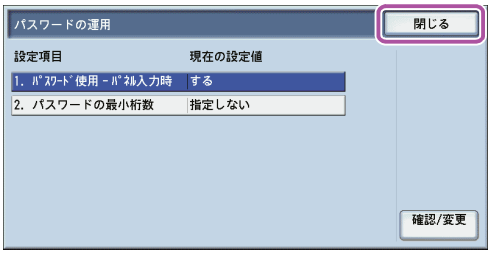
2 ［パスワード使用 - パネル入力時］を選択し、［確認 / 変更］を押します。



3 ［する］を選択し、［決定］を押します。



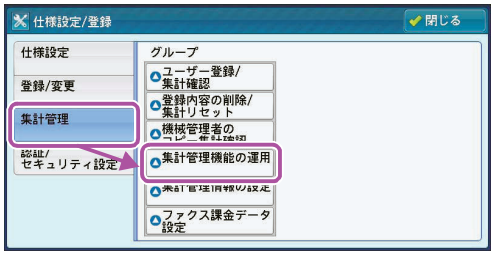
4 ［閉じる］を押します。



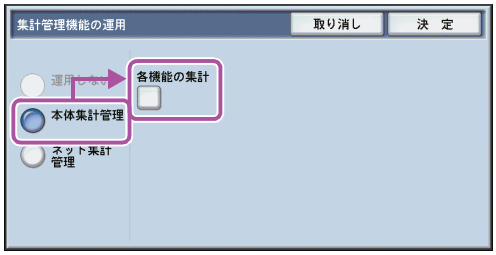
集計管理を設定する

ユーザー別集計管理レポートを本機で出力させる場合に、集計する各機能を［集計する］に設定します。

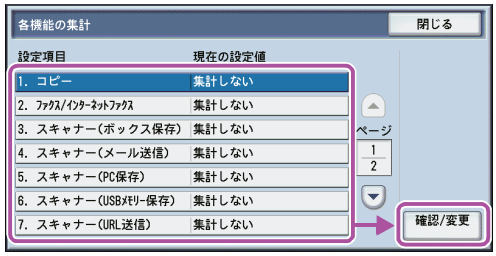
1 ［集計管理］ > ［集計管理機能の運用］を選択します。



2 ［本体集計管理］が選択されていることを確認し、［各機能の集計］を選択します。

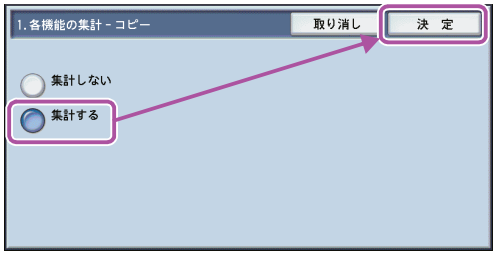


3 集計したい機能を選択し、［確認 / 変更］を押します。



4 ［集計する］を選択し、［決定］を押します。

ここでは、設定項目にコピーを選択したときの画面を例に説明します。



5 必要に応じて、手順 3、4 を繰り返して集計したい機能を設定し、［閉じる］を押します。



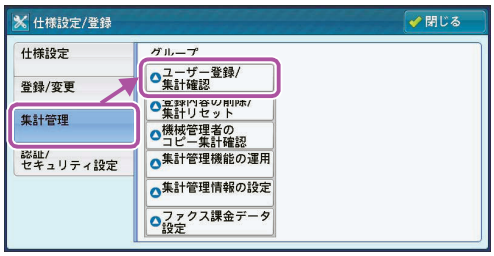
6 ［決定］を押します。



ユーザーを登録し、機能の利用制限を設定する

ユーザーを登録する

1 ［集計管理］を選択し、［ユーザー登録 / 集計確認］を選択します。



2 登録したい番号を選択し、［登録 / 確認］を押します。

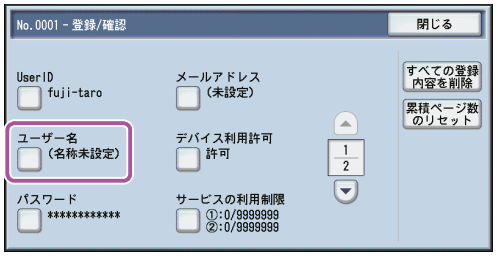


3 登録する User ID を入力し、［決定］を押します。

User ID は半角英数字 32 文字以内で設定します。

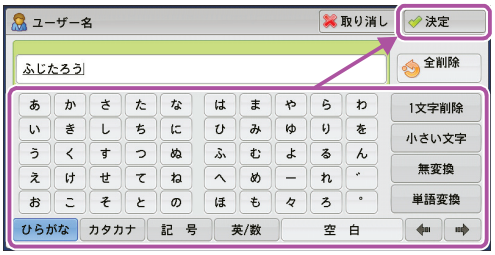


4 ［ユーザー名］を選択します。

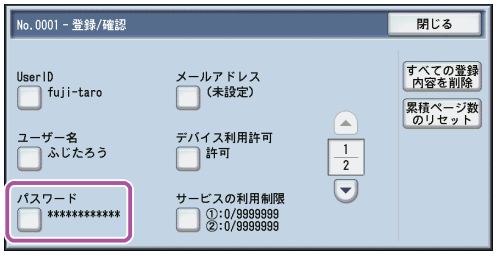


5 登録するユーザー名を入力し、［決定］を押します。

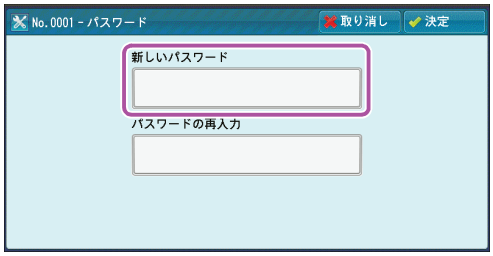
ユーザー名は全角 16 文字以内、半角 32 文字以内で設定します。



6 ［パスワード］を選択します。



7 ［新しいパスワード］を選択します。

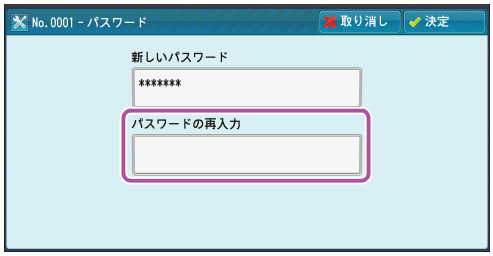


8 登録するパスワードを入力し、［決定］を押します。

パスワードは、4 ～ 12 桁の範囲で設定します。



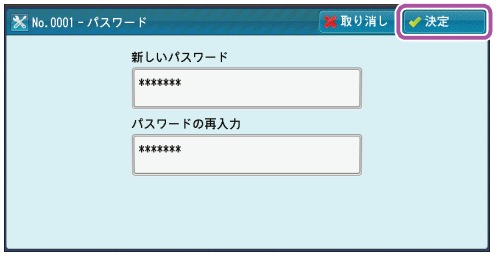
9 ［パスワードの再入力］を選択します。



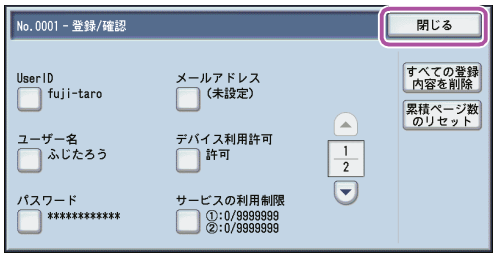
10 手順 8 で入力したパスワードを再度入力し、［決定］を押します。



11 ［決定］を押します。



12 [閉じる] を押します。



13 手順 2 の [ユーザー登録 / 集計確認] 画面から繰り返し、必要なユーザーを登録します。



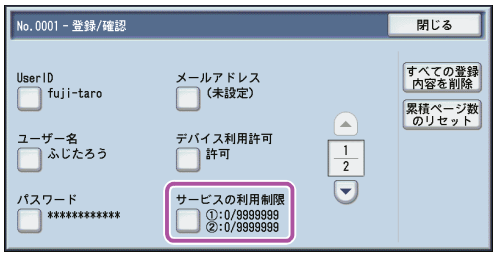
機能の利用制限を設定する

登録したユーザーに利用制限をつける場合は、以降の手順で設定します。

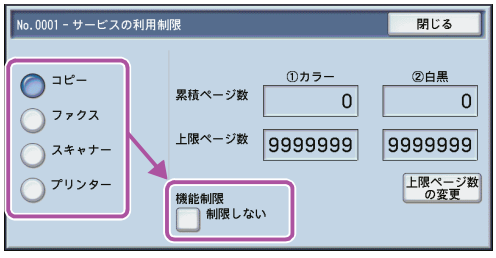
14 [ユーザー登録 / 集計確認] 画面から利用制限を設定するユーザーを選択し、[登録 / 確認] を押します。



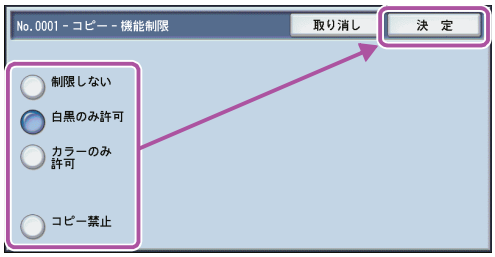
15 [サービスの利用制限] を選択します。



16 制限する機能を選択し、[機能制限] を選択します。

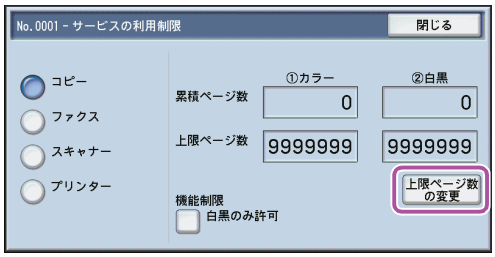


17 制限する内容を選択し、［決定］を押します。



18 ［上限ページ数の変更］を選選択します。

コピー、スキャナー、プリンター機能を選択した場合は、上限ページ数を変更できます。



19 カラー複合機の場合、［決定 / 次選択］を押し、カラーまたは白黒の上限ページ数を設定します。



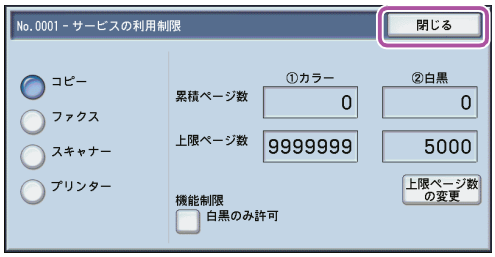
20 操作パネルの〈数字〉ボタンでページ数を入力します。



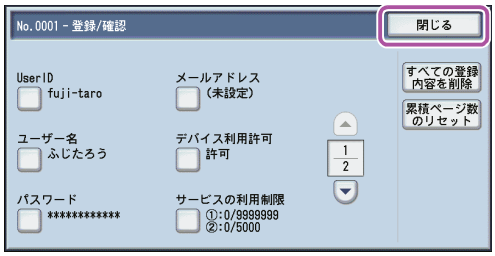
21 ［決定］を押します。



22 [閉じる] を押します。



23 [閉じる] を押します。



24 必要に応じて、手順 14 の [ユーザー登録 / 集計確認] 画面から繰り返し、ほかのユーザーの利用制限を設定します。

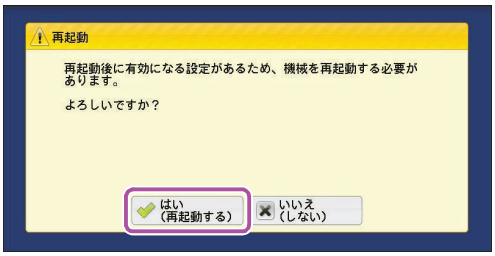


25 [閉じる] を押します。



26 メニュー画面が表示されるまで、繰り返し [閉じる] を押します。

27 [はい (再起動する)] を選択します。



注記

- 以降、本機を操作するときは、User ID とパスワードが必要になります。

ユーザー別集計管理レポートを出力する

ユーザー別集計管理レポートでは、ユーザーごとに、各機能で利用したページ数や枚数を集計した結果を、紙で出力できます。コピー、プリンター、スキャナー、ファクスの機能ごとの集計管理レポートを出力できます。

集計管理レポートの内容は、User ID ごとの各機能別の利用ページ数、カラー * 利用制限情報、ページ数制限情報です。

* カラー複合機の場合

1 〈認証〉ボタンを押します。



2 機械管理者 ID を入力し、［次へ］を押します。



3 パスワードを入力し、［確定］を押します。



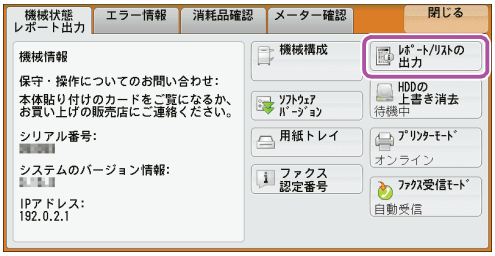
補足

- 機械管理者 ID およびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。
- 認証中は、〈認証〉ボタンが点灯します。

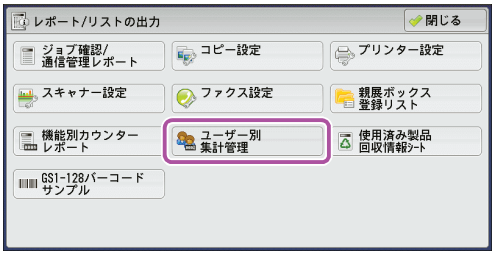
4 〈機械確認（メーター確認）〉ボタンを押します。



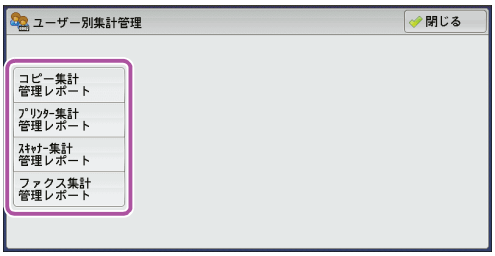
5 ［レポート / リストの出力］を選択します。



6 ［ユーザー別集計管理］を選択します。

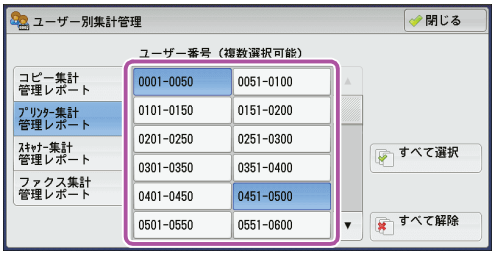


7 出力したい集計管理レポートのボタンを選択します。



8 ［ユーザー番号（複数選択可）］で、出力したいユーザーの User ID の範囲を選択します。

すべてのユーザーを選択したい場合は、［すべて選択］を選択します。



9 〈スタート〉ボタンを押します。

集計レポートが出力されます。



10 メニュー画面が表示されるまで、繰り返し［閉じる］を押します。

11 〈認証〉ボタンを押します。

認証が解除されて、〈認証〉ボタンが消灯していることを確認します。



ユーザー別集計カウンターをリセットする

ユーザー別の集計管理データや上限ページ数などのデータを削除することができます。必要に応じてリセットをしてください。

1 〈認証〉ボタンを押します。



2 機械管理者 ID を入力し、［次へ］を押します。



3 パスワードを入力し、［確定］を押します。



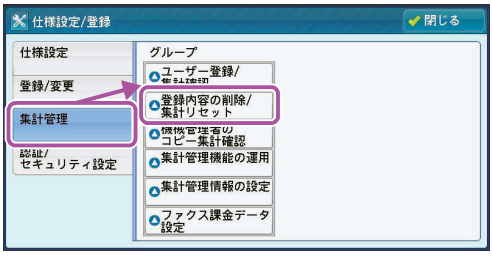
補足

- 機械管理者 ID およびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。
- 認証中は、〈認証〉ボタンが点灯します。

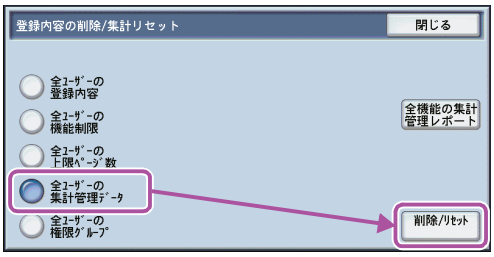
4 ［仕様設定 / 登録］を選択します。



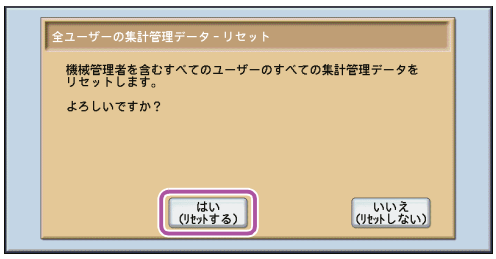
5 ［集計管理］ > ［登録内容の削除 / 集計リセット］を選択します。



6 ［全ユーザーの集計管理データ］を選択し、［削除 / リセット］を押します。



7 データリセットの確認画面で、［はい（リセットする）］を選択します。



8 メニュー画面が表示されるまで、繰り返し［閉じる］を押します。

9 〈認証〉ボタンを押します。

認証が解除されて、〈認証〉ボタンが消灯していることを確認します。



さくいん

記号・英数

Device Setup 137
PC 保存 111
TIFF Viewer 103

ア

宛先表（サーバー）.....112
宛先表（メールアドレス）.....129

イ

インターネットファクスダイレクト 70

カ

カスタムセットアップ
　インストール（プリント用）.....160

シ

集計管理 190
ジョブフロー 136

ス

スキャン（PC 保存）.....111
スキャン（ボックス保存）.....94
スキャン（メール送信）.....120

タ

ダイレクトファクス 30, 40

テ

デバイス設定ツール 137

ネ

ネットワークスキャナユーティリティ 98

ヒ

標準ドライバー
　インストール（プリント用）.....154, 163
標準ドライバー ダウンロード（プリント用）..151

フ

プライベートプリント 173
プリンタードライバー 151
プリント 150, 163

ホ

ボックス保存 94

メ

メール送信 120

ユ

ユーザー登録 190

リ

利用制限の設定 190

ApeosPort-V
DocuCentre-V
設定がわかる本

著作者 ― 富士ゼロックス株式会社
発行者 ― 富士ゼロックス株式会社

発行年月 ― 2014 年　4 月　第 1 版

（帳票 No:ME6905J1-1）

「困った！」が解決しないときは

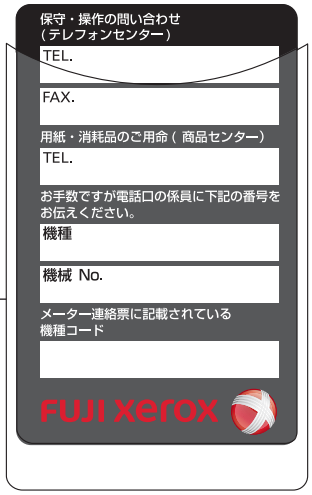
保守・操作・修理（内容・期間・費用など）のお問い合わせ、
消耗品（トナー、ドラムなど）のご注文は、カストマーコンタクトセンターまたは販売店へ。

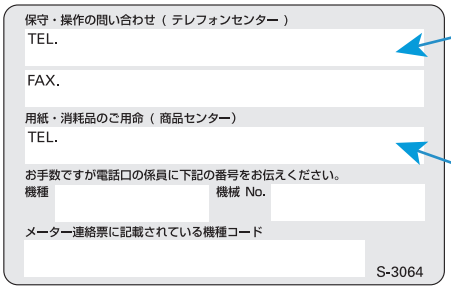
電話番号は、機械本体に貼付のカードやシールに書かれています。

受付時間　土曜、日曜、祝日を除く　**9時 ～ 17時30分**（一部の地域では異なります）

電話番号　機械本体に「貼付のカード」をご確認ください。

カードの例 ❶





ここに書いてあります
電話番号

トナーなど
消耗品
のご注文は

カードの例 ❷



- カードは、名刺くらいの大きさです。
- 色やイメージが、イラストと異なる場合もあります。
- 問い合わせ先がわからない場合は、お客様相談センターで電話番号を確認してください。

操作、保守（内容、期間、費用など）のお問い合わせは ▶ カストマーコンタクトセンターまたは販売店へ	
TEL.	
機種	アペオスポート ☐ ApeosPort　／　ドキュセンター ☐ DocuCentre
機械 No.	

お問い合わせ時に、機種と機械 No. をおうかがいします。メモとしてご利用ください。

本機を廃棄する場合は、弊社の営業担当者にご連絡ください。

ご意見やご相談の受付窓口

お客様相談センター　フリーダイヤル 0120-27-4100　土、日、祝日および弊社指定休業日を除く、9時～12時、13時～17時

フリーダイヤルは、携帯電話・PHS および海外からはご利用いただけません。また、一部の IP 電話からはつながらない場合があります。

お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

商品全般に関する情報

ホームページアドレス　URL http://www.fujixerox.co.jp/　商品全般に関する情報、最新ソフトウエアなどを提供しています。

◎ この取扱説明書は、再生紙を使用しリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は回収、リサイクルに出しましょう。

富士ゼロックス株式会社

2014年 4月　帳票番号：ME6905J1-1　1版